

2023(令和5)年度
事業報告

社会福祉法人 光塩福祉会
本部

令和5年度 事業報告（本部）

月 日	事業内容及び報告
令和5年 5月17日	監事会
5月23日	第1回理事会 第1号議案 令和4年度本部・塩山愛育園・クローバー学園決算書審議・事業報告について 第2号議案 理事、監事の推薦について 第3号議案 定時評議員会の招集について 第4号議案 次回理事会招集について 第5号議案 報告事項その他
6月 9日	定時評議員会 第1号議案 令和4年度本部・塩山愛育園・クローバー学園決算書審議・事業報告について 第2号議案 理事、監事の選任について 第3号議案 報告事項（令和5年度事業計画及び当初予算他）
6月 9日	第2回理事会 第1号議案 理事長の選定について
令和6年 3月 22日	第3回理事会 第1号議案 塩山愛育園、クローバー学園補正予算案審議について 第2号議案 令和6年度本部、塩山愛育園、クローバー学園予算案、事業計画について 第3号議案 塩山愛育園給与規程、クローバー学園給与規程、就業規則の変更について 第4号議案 職員の新退任について 第5号議案 報告事項その他

社会福祉法人光塩福祉会

令和5年度 事業報告

「塩山愛育園」

2020年から世界中を「新型コロナウイルス」という予測されない病気の蔓延の中で保育が行われた。この間の約3年間は毎日が感染防止と、感染拡大の恐怖と不安の中で緊張を緩めることが一切出来ずにいた。0歳児からの施設として絶対に園内から感染拡大させてはいけないという思いから、職員は当然のことながら、保護者の皆さまにもたくさんのご協力とご理解を頂いた。今年度5月より5類に移行となり、周囲から感染の話題は大分聞かれてこなくなったが、完全消滅したわけではない為、引き続き注意をしていく必要があると考えての日々となった。

今年度はここ数年の自粛、縮小、延期等々余儀なくされていた園行事もコロナ前の状態に戻して行うことが出来た。

各行事等については、塩山愛育園の事業報告による。

今年度、新たな事業としては看護師兼保健師を1名新たに採用出来たことにより、「体調不良児対応型保育」を実施することが出来た。

登園した後で急に体調が悪くなったとき、場合より職場に連絡を入れてお迎えを依頼するが、直ぐには仕事の中断が出来ないことがあるため、その間の看護を専門で看ることが出来るようになった。これは、保護者支援の大きな一歩となったと思う。

又、新しい行事として以上児クラスで年に一度、クラスごとの給食試食会を実施した。毎日子どもたちが食べている給食（昼食・おやつ）を保護者の方に試食していただき、味付け、量、栄養価等についても栄養士から話を聞いて食育の一環としての行事とした。

0歳から6歳までの子ども達が異年齢の交流を日頃の保育活動の中でも積極的にとりいれた。

運動会やお遊戯会等の様々な行事を通して思いやりの心や、責任感、協調性、自己実現、達成感等の心を養った

コロナウイルスの関係で今年度も出向いての研修は殆ど実施されず、リモートにより県、県保協、日保協その他の研修に参加し自己啓発に努めた。

キャリアアップ研修にも参加をし、専門分野を広げていくことが出来た。

園内研修、リーダー研修により一人ひとりの子ども達の状態を全職員で共通理解した。

年間計画による毎月の避難訓練の実施。12月1日は引き渡し訓練を実施する。
6月には、夏を前にしての年長児着衣泳を実施して、水の危険と対処法を学ぶ。
全国的にバスの置き去り事故、食品の誤飲事故等正しい知識と安全管理の徹底で防ぐことが出来た事故が多発した1年であった。当園においても、毎日の朝会と職員会議、園内研修等を通してヒヤリハットを全職員で徹底し、毎日環境整備を行った。

「クローバー学園」

令和2年度には分園型小規模グループケアを開設するための検討を重ねた。
その結果、塩山上曽北小学区、塩中学区に適した物件があった為、県担当課とも相談をしながら、賃貸借契約を締結した経緯があるが、今年度2か所目となる分園型小規模グループケア「かえで」を開設し、地域に密着するとともに、より家庭に近い養育環境を整えることができた。
又、個人の方より多額のご寄付を頂くこととなり、心より感謝を申し上げたいと思う。お受けしたこの浄財を子どもたちの自立支援や退園生支援のための「ヒーロー支援金」という名称で創設し、感謝の元で活用させていただくこととした。

環境面では、園舎外壁の大規模な塗り替え工事を行った。

研修等についてはクローバー学園の事業報告による。

塩山愛育園同様、新型コロナウイルスに対しては、衛生管理の徹底に努めた感染予防を行う。

令和6年度については、全体レクリエーションとして、ディズニーランドを予定していきたい。

令和6年度も両施設ともに子どもたちの安全を第一にまた、働く職員の環境も整えながら努力を惜しまず頑張っていきたいと思う。

法人單位貸借對照表

(單位：日)

令和6年3月31日現在

令和 5年 3月31日現在															
資 産				負 債				部 部				増 減			
の		の		の		の		の		の		の		の	
当年度末	前年度末	増	減	当年度末	前年度末	増	減	当年度末	前年度末	増	減	当年度末	前年度末	増	減
流動資産															
現金預金	157,746,699	139,897,664	17,849,035	流動負債	27,953,082	21,908,506	6,044,476								
事業未収金	101,762,885	82,464,997	19,297,888	事業未払金	12,564,827	8,906,465	3,658,362								
未収補助金	52,068,570	42,530,303	9,538,267	その他の未払金	0	0	0								
立替金	3,915,244	14,902,864	-10,987,120	1年以内返済予定設備資金借入金	9,240,000	9,240,000	0								
前払費用	0	0	0	未払費用	0	0	0								
仮払金	0	0	0	預り金	6,148,255	3,762,141	2,386,114								
貯蔵品	0	0	0	職員預り金	0	0	0								
固定資産	671,126,004	662,156,890	8,969,114	仮受金	0	0	0								
基本財産	405,439,041	421,898,749	-16,459,708	固定負債	86,030,590	94,669,700	-8,639,110								
土地	97,858,800	97,858,800	0	設備資金借入金	61,810,000	71,050,000	-9,240,000								
建物	307,580,241	324,039,949	-16,459,708	退職給付引当金	24,220,590	23,619,700	600,890								
その他の固定資産	265,686,963	240,258,141	25,428,822	負債の部合計	113,983,672	116,578,306	-2,594,634								
土地	2,451	2,451	0	純 資 産											
建物	1,359,505	505,051	854,454	基本金	122,871,134	122,871,134	0								
構築物	10,788,193	10,346,235	441,958	国庫補助金等特別積立金	177,752,663	189,574,607	-11,821,944								
機械及び装置	0	0	0	その他の積立金	212,149,592	192,149,592	20,000,000								
車両運搬具	2,800,531	1,598,034	1,202,497	保育所繰越積立金	13,000,000	13,000,000	0								
器具及び備品	13,705,341	11,383,548	2,321,793	人件費積立金	13,000,000	13,000,000	0								
建設仮勘定	0	0	0	修繕積立金	0	0	0								
権利	0	0	0	備品等購入積立金	56,000,000	56,000,000	0								
ソフトウェア	0	0	0	保育所施設整備等積立金	143,149,592	123,149,592	20,000,000								
退職給付引当資産	24,220,590	23,619,700	600,890	措置施設繰越積立金	78,500,000	78,500,000	0								
保育所繰越積立資産	13,000,000	13,000,000	0	人件費積立金	0	0	0								
人件費積立資産	13,000,000	13,000,000	0	修繕積立金	0	0	0								
修繕積立資産	0	0	0	備品等購入積立金	64,649,592	44,649,592	20,000,000								
備品等購入積立資産	0	0	0	設備整備等積立金	202,115,642	180,880,915	21,234,727								
長期前払費用	0	0	0	次期繰越活動増減差額	41,234,727	30,063,118	11,171,609								
その他の固定資産	60,760	53,530	7,230	(うち当期活動増減差額)											
保育所施設整備等積立資産	56,000,000	55,000,000	0												
措置施設繰越積立資産	143,149,592	123,149,592	20,000,000												
人件費積立資産	78,500,000	78,500,000	0												
修繕積立資産	0	0	0												
備品等購入積立資産	0	0	0												
設備整備等積立資産	64,649,592	44,649,592	20,000,000												
差入保証金	600,000	600,000	0												
資産の部合計	828,872,703	802,054,554	26,818,149	純 資 産 の 部 合 計	714,889,031	685,476,248	29,412,783								
				負債及び純資産の部合計	828,872,703	802,054,554	26,818,149								

計算書類に対する注記(法人全体)

1. 継続事業の前提に関する注記
該当事項はありません。
2. 重要な会計方針
 - (1) 有価証券の評価基準及び評価方法
該当事項はありません。
 - (2) 棚卸資産の評価基準及び評価方法
該当事項はありません。
 - (3) 固定資産の減価償却の方法
 - ・ 有形固定資産 定額法(平成19年3月31日以前に取得したものについては旧定額法)
 - ・ 無形固定資産 定額法
 - ・ リース資産 該当事項はありません
 - (4) 引当金の計上基準
退職給付引当金
 - ・ 山梨県社会福祉協議会の実施する県退職共済制度に加入している職員に係る掛金納付額のうち法人の負担額に相当する金額を計上しています。
 - ・ 塩山愛育園拠点で実施する退職金制度に加入している職員に係る園負担額に相当する金額を計上しています。
 賞与引当金
 - ・ 該当事項はありません。
3. 重要な会計方針の変更
該当事項はありません。
4. 法人で採用する退職給付制度
 - ・ 山梨県社会福祉協議会の実施する山梨県民間社会福祉事業従事者退職手当等共済制度に加入しています。
 - ・ 塩山愛育園拠点の退職金規程に基づく制度を採用しています。
 - ・ 独立行政法人福祉医療機構の実施する社会福祉施設職員等退職手当共済制度に加入しています。
5. 法人が作成する計算書類と拠点区分、サービス区分
 - ・ 当法人の作成する計算書類は以下のとおりとなっています。
 - (1) 法人全体の計算書類(会計基準省令第1号第1様式、第2号第1様式、第3号第1様式)
 - (2) 事業区分別内訳表(会計基準省令第1号第2様式、第2号第2様式、第3号第2様式)
当法人では社会福祉事業のみを実施しているため作成していません。
 - (3) 社会福祉事業における拠点区分別内訳表(会計基準省令第1号第3様式、第2号第3様式、第3号第3様式)
 - (4) 公益事業における拠点区分別内訳表(会計基準省令第1号第3様式、第2号第3様式、第3号第3様式)
当法人では公益事業を実施していないため作成していません。
 - (5) 収益事業における拠点区分別内訳表(会計基準省令第1号第3様式、第2号第3様式、第3号第3様式)
当法人では収益事業を実施していないため作成していません。
 - ・ 各拠点区分におけるサービス区分の内容
 - (1) 本部拠点(社会福祉事業)
 - (2) 塩山愛育園拠点(社会福祉事業)
 - (3) クローバー学園拠点(社会福祉事業)
 ※各拠点においてサービス区分は設けておりません。
6. 基本財産の増減の内容及び金額
基本財産の増減の内容及び金額は以下のとおりです。
なお、当期減少額は減価償却費です。

(単位:円)

基本財産の種類	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
土地	97,858,800	0	0	97,858,800
建物	324,039,949	0	16,459,708	307,580,241
合計	421,898,749	0	16,459,708	405,439,041

7. 基本金又は固定資産の売却若しくは処分に係る国庫補助金等特別積立金の取崩し
該当事項はありません。

8. 担保に供している資産
担保に供されている資産は、以下のとおりです。

89,661,496円
307,580,241円
計 397,241,737円

担保している債務の種類及び金額は、以下のとおりです。
設備資金借入金(1年以内返済予定額を含む)

71,050,000円
計 71,050,000円

9. 有形固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高
有形固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は以下のとおりです。
(単位:円)

	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
土地(基本財産)	97,858,800	0	97,858,800
建物(基本財産)	540,829,700	233,249,459	307,580,241
土地(その他の固定資産)	2,451	0	2,451
建物(その他の固定資産)	1,694,422	334,917	1,359,505
構築物	40,147,057	29,358,864	10,788,193
機械及び装置	0	0	0
車輛運搬具	11,564,060	8,763,529	2,800,531
器具及び備品	57,172,944	43,467,603	13,705,341
有形リース資産	0	0	0
合 計	749,269,434	315,174,372	434,095,062

10. 債権額、徴収不能引当金の当期末残高、債権の当期末残高
債権額、徴収不能引当金の当期末残高、債権の当期末残高は以下のとおりです。
(単位:円)

	債権額	徴収不能引当金の当期末残高	債権の当期末残高
事業未収金	52,068,570	0	52,068,570
未収補助金	3,915,244	0	3,915,244

11. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益
該当事項はありません。

12. 関連当事者との取引の内容
該当事項はありません。

13. 重要な偶発債務
該当事項はありません。

14. 重要な後発事象
該当事項はありません。

15. 合併及び事業の譲渡若しくは事業の譲受け
該当事項はありません。

16. その他社会福祉法人の資金収支及び純資産増減の状況並びに資産、負債及び純資産の状態を明らかにするために必要な事項
該当事項はありません。

法人単位資金収支計算書

(自)令和 5年 4月 1日 (至)令和 6年 3月31日

(単位:円)

勘 定 科 目		予算(A)	決算(B)	差異(A)-(B)	備 考
事業活動による収支	収入				
	児童福祉事業収入	250,440,000	250,183,073	256,927	
	保育事業収入	188,480,000	188,636,670	-156,670	
	借入金利息補助金収入	491,564	491,564	0	
	経常経費寄附金収入	21,200,000	21,172,480	27,520	
	受取利息配当金収入	12,536	5,103	7,433	
	その他の収入	2,827,680	2,830,346	-2,666	
	事業活動収入計(1)	463,451,780	463,319,236	132,544	
	支出				
	人件費支出	333,988,000	332,463,116	1,524,884	
施設整備等による収支	事業費支出	45,056,090	43,601,925	1,454,165	
	事務費支出	32,682,536	31,277,387	1,405,149	
	支払利息支出	503,714	503,714	0	
	その他の支出	2,560,000	2,548,220	11,780	
	流動資産評価損等による資金減少額	0	0	0	
	事業活動支出計(2)	414,790,340	410,394,362	4,395,978	
	事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)	48,661,440	52,924,874	-4,263,434	
	収入				
	施設整備等補助金収入	0	0	0	
	施設整備等寄附金収入	0	0	0	
その他の活動による収支	設備資金借入金収入	0	0	0	
	その他の施設整備等による収入	0	0	0	
	施設整備等収入計(4)	0	0	0	
	支出				
	設備資金借入金元金償還支出	9,240,000	9,240,000	0	
	固定資産取得支出	11,900,000	10,089,965	1,810,035	
	固定資産除却・廃棄支出	0	0	0	
	ファイナンス・リース債務の返済支出	0	0	0	
	その他の施設整備等による支出	0	0	0	
	施設整備等支出計(5)	21,140,000	19,329,965	1,810,035	
その他の活動による収支	施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)	-21,140,000	-19,329,965	-1,810,035	
	収入				
	積立資産取崩収入	976,320	969,050	7,270	
	その他の活動による収入	0	0	0	
	その他の活動収入計(7)	976,320	969,050	7,270	
	支出				
	積立資産支出	22,797,760	22,759,400	38,360	
	その他の活動による支出	0	0	0	
	その他の活動支出計(8)	22,797,760	22,759,400	38,360	
	その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8)	-21,821,440	-21,790,350	-31,090	
予備費支出(10)		0	0	0	
当期資金収支差額合計(11)=(3)+(6)+(9)-(10)		5,700,000	11,804,559	-6,104,559	
前期末支払資金残高(12)		-5,700,000	127,229,058	-132,929,058	
当期末支払資金残高(11)+(12)		0	139,033,617	-139,033,617	

法人単位事業活動計算書

(自)令和 5年 4月 1日 (至)令和 6年 3月31日

(単位：円)

社会福祉法人 光塩福祉会

勘 定 科 目		当年度決算 (A)	前年度決算 (B)	増減 (A) - (B)
サービス活動増減の部	収益			
	児童福祉事業収益	250,183,073	236,777,858	13,405,215
	保育事業収益	188,636,670	166,522,591	22,114,079
	経常経費寄附金収益	21,172,480	2,406,956	18,765,524
	その他の収益	0	843,060	-843,060
	サービス活動収益計(1)	459,992,223	406,550,465	53,441,758
	費用			
	人件費	334,253,466	303,771,210	30,482,256
	事業費	43,601,925	44,263,645	-661,720
	事務費	31,277,387	23,630,309	7,647,078
サービス活動外増減の部	減価償却費	21,721,732	21,324,214	397,518
	国庫補助金等特別積立金取崩額(減価償却)	-11,821,944	-15,770,374	3,948,430
	徴収不能額	0	0	0
	徴収不能引当金繰入	0	0	0
	その他の費用	0	0	0
	サービス活動費用計(2)	419,032,566	377,219,004	41,813,562
	サービス活動増減差額(3)=(1)-(2)	40,959,657	29,331,461	11,628,196
	収益			
	借入金利息補助金収益	491,564	542,636	-51,072
	受取利息配当金収益	5,103	4,504	599
サービス活動外増減の部	その他のサービス活動外収益	2,830,346	2,712,064	118,282
	サービス活動外収益計(4)	3,327,013	3,259,204	67,809
	費用			
	支払利息	503,714	556,718	-53,004
	その他のサービス活動外費用	2,548,220	1,933,327	614,893
	サービス活動外費用計(5)	3,051,934	2,490,045	561,889
	サービス活動外増減差額(6)=(4)-(5)	275,079	769,159	-494,080
	経常増減差額(7)=(3)+(6)	41,234,736	30,100,620	11,134,116
	収益			
	施設整備等補助金収益	0	8,149,316	-8,149,316
特別増減の部	施設整備等寄附金収益	0	0	0
	固定資産受贈増	0	0	0
	その他の特別収益	0	0	0
	特別収益計(8)	0	8,149,316	-8,149,316
	費用			
	基本金組入額	0	0	0
	資産評価損	0	0	0
	固定資産売却損・処分損	9	37,502	-37,493
	国庫補助金等特別積立金取崩額(除却等)	0	0	0
	国庫補助金等特別積立金積立額	0	8,149,316	-8,149,316
繰越活動増減差額の部	その他の特別損失	0	0	0
	特別費用計(9)	9	8,186,818	-8,186,809
	特別増減差額(10)=(8)-(9)	-9	-37,502	37,493
	当期活動増減差額(11)=(7)+(10)	41,234,727	30,063,118	11,171,609
	前期繰越活動増減差額(12)	180,880,915	160,817,797	20,063,118
	当期末繰越活動増減差額(13)=(11)+(12)	222,115,642	190,880,915	31,234,727
	基本金取崩額(14)	0	0	0
	その他の積立金取崩額(15)	0	0	0
	その他の積立金積立額(16)	20,000,000	10,000,000	10,000,000
	次期繰越活動増減差額(17)=(13)+(14)+(15)-(16)	202,115,642	180,880,915	21,234,727

社会福祉事業区分 貸借対照表内訳表

令和 6年 3月31日現在

(単位：円)

社会福祉法人 光塩福祉会

勘 定 科 目	法人本部	塩山愛育園	クローバー学園	合 計	内部取引消去	事業区分合計
流動資産	1,467,065	76,068,081	80,211,553	157,746,699		157,746,699
現金預金	1,467,065	43,153,072	57,142,748	101,762,885		101,762,885
事業未収金	0	29,510,045	22,558,525	52,068,570		52,068,570
未収補助金	0	3,404,964	510,280	3,915,244		3,915,244
立替金	0	0	0	0		0
前払費用	0	0	0	0		0
拠点区分間貸付金	0	0	0	0		0
仮払金	0	0	0	0		0
貯蔵品	0	0	0	0		0
固定資産	0	278,742,821	392,383,183	671,126,004		671,126,004
基本財産	0	185,889,820	219,549,221	405,439,041		405,439,041
土地	0	55,219,036	42,639,764	97,858,800		97,858,800
建物	0	130,670,784	176,909,457	307,580,241		307,580,241
その他の固定資産	0	92,853,001	172,833,962	265,686,963		265,686,963
土地	0	0	2,451	2,451		2,451
建物	0	0	1,359,505	1,359,505		1,359,505
構築物	0	3,011,477	2,776,716	10,788,193		10,788,193
機械及び装置	0	0	0	0		0
車輛運搬具	0	2	2,800,529	2,800,531		2,800,531
器具及び備品	0	6,020,992	7,684,349	13,705,341		13,705,341
建設仮勘定	0	0	0	0		0
権利	0	0	0	0		0
ソフトウェア	0	0	0	0		0
退職給付引当資産	0	9,798,830	14,421,760	24,220,590		24,220,590
保育所繰越積立資産	0	13,000,000	0	13,000,000		13,000,000
人件費積立資産	0	13,000,000	0	13,000,000		13,000,000
修繕積立資産	0	0	0	0		0
備品等購入積立資産	0	0	0	0		0
長期前払費用	0	0	0	0		0
その他の固定資産	0	21,700	39,060	60,760		60,760
保育所施設設備整備等積立	0	56,000,000	0	56,000,000		56,000,000
措置施設繰越積立資産	0	0	143,149,592	143,149,592		143,149,592
差入保証金	0	0	600,000	600,000		600,000
資 産 の 部 合 計	1,467,065	354,810,902	472,594,736	828,872,703	0	828,872,703
流動負債	0	15,955,013	11,998,069	27,953,082		27,953,082
事業未払金	0	7,650,391	4,914,436	12,564,827		12,564,827
その他の未払金	0	0	0	0		0
1年以内返済設備資金借入	0	5,376,000	3,864,000	9,240,000		9,240,000
未払費用	0	0	0	0		0
預り金	0	0	0	0		0
職員預り金	0	2,928,622	3,219,633	6,148,255		6,148,255
拠点区分間借入金	0	0	0	0		0
仮受金	0	0	0	0		0
固定負債	0	53,254,830	32,775,760	86,030,590		86,030,590
設備資金借入金	0	43,456,000	18,354,000	61,810,000		61,810,000
退職給付引当金	0	9,798,830	14,421,760	24,220,590		24,220,590
負 債 の 部 合 計	0	69,209,843	44,773,829	113,983,672	0	113,983,672
基本金	0	75,267,884	47,603,250	122,871,134		122,871,134
国庫補助金等特別積立金	0	50,784,200	126,968,463	177,752,663		177,752,663
その他の積立金	0	69,000,000	143,149,592	212,149,592		212,149,592
保育所繰越積立金	0	13,000,000	0	13,000,000		13,000,000
人件費積立金	0	13,000,000	0	13,000,000		13,000,000
修繕積立金	0	0	0	0		0
備品等購入積立金	0	0	0	0		0
保育所施設設備整備等積立	0	56,000,000	0	56,000,000		56,000,000
措置施設繰越積立金	0	0	143,149,592	143,149,592		143,149,592
人件費積立金	0	0	78,500,000	78,500,000		78,500,000
修繕積立金	0	0	0	0		0
備品等購入積立金	0	0	0	0		0
設備整備等積立金	0	0	64,649,592	64,649,592		64,649,592
次期繰越活動増減差額	1,467,065	90,548,975	110,099,802	202,115,642		202,115,642
(うち当期活動増減差額)	139,977	9,270,409	31,824,341	41,234,727		41,234,727

社会福祉事業区分 貸借対照表内訳表

社会福祉法人 光塩福祉会

令和 6年 3月31日現在

（単位：円）

勘 定 科 目	法人本部	塩山愛育園	クローバー学園	合 計	内部取引消去	事業区分合計
純 資 産 の 部 合 計	1,467,065	285,601,059	427,820,907	714,889,031	0	714,889,031
負債及び純資産の部合計	1,467,065	354,810,902	472,594,736	828,872,703	0	828,872,703

社会福祉事業区分 資金収支内訳表

社会福祉法人 光塩福祉会

(自)令和 5年 4月 1日 (至)令和 6年 3月31日

(単位: 円)

勘 定 科 目		法人本部	塩山愛育園	クローバー学園	合 計	内部取引消去	事業区分合計
事業活動による収入	児童福祉事業収入	0	0	250,183,073	250,183,073		250,183,073
	保育事業収入	0	188,636,670	0	188,636,670		188,636,670
	借入金利息補助金収入	0	491,564	0	491,564		491,564
	経常経費寄附金収入	0	0	21,172,480	21,172,480		21,172,480
	受取利息配当金収入	12	2,030	3,061	5,103		5,103
	その他の収入	0	121,500	2,708,846	2,830,346		2,830,346
	事業活動収入計(1)	12	189,251,764	274,067,460	463,319,236	0	463,319,236
	人件費支出	0	142,421,359	190,041,757	332,463,116		332,463,116
	事業費支出	0	17,627,604	25,974,321	43,601,925		43,601,925
	事務費支出	60,035	12,831,502	18,385,850	31,277,387		31,277,387
事業活動による支出	支払利息支出	0	491,564	12,150	503,714		503,714
	その他の支出	0	647,370	1,900,850	2,548,220		2,548,220
	資産評価損等資金減少額	0	0	0	0		0
	事業活動支出計(2)	60,035	174,019,399	236,314,928	410,394,362	0	410,394,362
	事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)	-60,023	15,232,365	37,752,532	52,924,874	0	52,924,874
施設整備等による収入	施設整備等補助金収入	0	0	0	0		0
	施設整備等寄附金収入	0	0	0	0		0
	設備資金借入金収入	0	0	0	0		0
	その他の施設整備等収入	0	0	0	0		0
	施設整備等収入計(4)	0	0	0	0	0	0
	設備資金借入金元金償還	0	5,376,000	3,864,000	9,240,000		9,240,000
	固定資産取得支出	0	5,342,536	4,747,429	10,089,965		10,089,965
	固定資産除却・廃棄支出	0	0	0	0		0
	ファイナンス・リース債務の返済支出	0	0	0	0		0
	その他の施設整備等支出	0	0	0	0		0
施設整備等による支出	施設整備等支出計(5)	0	10,718,536	8,611,429	19,329,965	0	19,329,965
	施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)	0	-10,718,536	-8,611,429	-19,329,965	0	-19,329,965
その他の活動による収入	積立資産取崩収入	0	940,600	28,450	969,050		969,050
	拠点区分間繰入金収入	200,000	0	0	200,000	-200,000	0
	その他の活動による収入	0	0	0	0		0
	その他の活動収入計(7)	200,000	940,600	28,450	1,169,050	-200,000	969,050
	積立資産支出	0	1,269,660	21,489,740	22,759,400		22,759,400
	拠点区分間繰入金支出	0	100,000	100,000	200,000	-200,000	0
	その他の活動による支出	0	0	0	0		0
	その他の活動支出計(8)	0	1,369,660	21,589,740	22,959,400	-200,000	22,759,400
	その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8)	200,000	-429,060	-21,561,290	-21,790,350	0	-21,790,350
	当期資金収支差額合計(10)=(3)+(6)+(9)	139,977	4,084,769	7,579,813	11,804,559	0	11,804,559
前期末支払資金残高(11)		1,327,088	61,404,299	64,497,671	127,229,058	0	127,229,058
当期末支払資金残高(10)+(11)		1,467,065	65,489,068	72,077,484	139,033,617	0	139,033,617

社会福祉事業区分 事業活動内訳表

(自)令和 5年 4月 1日 (至)令和 6年 3月31日

(単位: 円)

社会福祉法人 光塩福祉会

勘 定 科 目		法人本部	塩山愛育園	クローバー学園	合 計	内部取引消去	事業区分合計
サービス活動増減の部	収益	0	0	250,183,073	250,183,073		250,183,073
	児童福祉事業収益	0	188,636,670	0	188,636,670		188,636,670
	保育事業収益	0	0	21,172,480	21,172,480		21,172,480
	経常経費寄附金収益	0	0	0	0		0
	その他の収益	0	0	0	0		0
	サービス活動収益計(1)	0	188,636,670	271,355,553	459,992,223	0	459,992,223
	費用	0	142,750,419	191,503,047	334,253,466		334,253,466
	人件費	0	17,627,604	25,974,321	43,601,925		43,601,925
	事業費	60,035	12,831,502	18,385,850	31,277,387		31,277,387
	事務費	0	9,375,169	12,346,563	21,721,732		21,721,732
	減価償却費	0	-3,842,278	-7,979,666	-11,821,944		-11,821,944
	特別積立金取崩(減価償却)	0	0	0	0		0
	徴収不能額	0	0	0	0		0
サービス活動外増減の部	徴収不能引当金繰入	0	0	0	0		0
	その他の費用	0	0	0	0		0
	サービス活動費用計(2)	60,035	178,742,416	240,230,115	419,032,566	0	419,032,566
	サービス活動増減差額(3)=(1)-(2)	-60,035	9,894,254	31,125,438	40,959,657	0	40,959,657
	収益	0	491,564	0	491,564		491,564
	借入金利息補助金収益	12	2,030	3,061	5,103		5,103
	受取利息配当金収益	0	121,500	2,708,846	2,830,346		2,830,346
	その他サービス活動外収益						
	サービス活動外収益計(4)	12	615,094	2,711,907	3,327,013	0	3,327,013
	費用	0	491,564	12,150	503,714		503,714
	支払利息	0	647,370	1,900,850	2,548,220		2,548,220
	その他のサービス活動外費用						
	サービス活動外費用計(5)	0	1,138,934	1,913,000	3,051,934	0	3,051,934
	サービス活動外増減差額(6)=(4)-(5)	12	-523,840	798,907	275,079	0	275,079
特別増減の部	経常増減差額(7)=(3)+(6)	-60,023	9,370,414	31,924,345	41,234,736	0	41,234,736
	収益	0	0	0	0		0
	施設整備等補助金収益	0	0	0	0		0
	施設整備等寄附金収益	0	0	0	0		0
	固定資産受贈増	0	0	0	0		0
	拠点区分間繰入金収益	200,000	0	0	200,000	-200,000	0
	拠点区分間固定資産移管	0	0	0	0		0
	その他の特別収益	0	0	0	0		0
	特別収益計(8)	200,000	0	0	200,000	-200,000	0
	費用	0	0	0	0		0
	基本金組入額	0	0	0	0		0
	資産評価損	0	0	0	0		0
	固定資産売却損・処分損	0	5	4	9		9
	特別積立金取崩(除却等)	0	0	0	0		0
繰越活動増減差額の部	国庫補助特別積立金積立額	0	0	0	0		0
	拠点区分間繰入金費用	0	100,000	100,000	200,000	-200,000	0
	拠点間固定資産移管費用	0	0	0	0		0
	その他の特別損失	0	0	0	0		0
	特別費用計(9)	0	100,005	100,004	200,009	-200,000	9
	特別増減差額(10)=(8)-(9)	200,000	-100,005	-100,004	-9	0	-9
	当期活動増減差額(11)=(7)+(10)	139,977	9,270,409	31,824,341	41,234,727	0	41,234,727
	前期繰越活動増減差額(12)	1,327,088	81,278,566	98,275,261	180,880,915	0	180,880,915
	当期末繰越活動増減差額(13)=(11)+(12)	1,467,065	90,548,975	130,099,602	222,115,642	0	222,115,642
	基本金取崩額(14)	0	0	0	0	0	0
	その他の積立金取崩額(15)	0	0	0	0	0	0
	その他の積立金積立額(16)	0	0	20,000,000	20,000,000	0	20,000,000
	次期繰越活動増減差額(17)=(13)+(14)+(15)-(16)	1,467,065	90,548,975	110,099,602	202,115,642	0	202,115,642

＜社会福祉事業＞

令和6年3月31日現在

部

資 産		の 部		負 債		の 部		純 資 産		の 部	
	当年度末	前年度末	増 減		当年度末	前年度末	増 減		当年度末	前年度末	増 減
流動資産				流動負債							
現金預金	1,467,065	1,327,088	139,977	事業未払金	0	0	0	基本金	0	0	0
事業未収金	0	0	0	その他の未払金	0	0	0	国庫補助金等特別積立金	0	0	0
未収補助金	0	0	0	1年以内返済予定設備資金借入金	0	0	0	その他の積立金	0	0	0
立替金	0	0	0	未払費用	0	0	0	保育所繰越積立金	0	0	0
前払費用	0	0	0	預り金	0	0	0	人件費積立金	0	0	0
拠点区分間貸付金	0	0	0	職員預り金	0	0	0	修繕積立金	0	0	0
仮払金	0	0	0	拠点区分間借入金	0	0	0	備品等購入積立金	0	0	0
貯蔵品	0	0	0	仮受金	0	0	0	保育所施設設備整備等積立金	0	0	0
固定資産				固定負債	0	0	0	措置施設繰越積立金	0	0	0
基本財産				設備資金借入金	0	0	0	人件費積立金	0	0	0
土地	0	0	0	退職給付引当金	0	0	0	修繕積立金	0	0	0
建物	0	0	0	負債の部合計	0	0	0	備品等購入積立金	0	0	0
その他の固定資産	0	0	0	純 資 産				設備整備等積立金	0	0	0
土地	0	0	0	基本金	0	0	0	設備整備等積立金	0	0	0
建物	0	0	0	国庫補助金等特別積立金	0	0	0	設備整備等積立金	0	0	0
構築物	0	0	0	その他の積立金	0	0	0	設備整備等積立金	0	0	0
車輦運搬具	0	0	0	保育所繰越積立金	0	0	0	設備整備等積立金	0	0	0
器具及び備品	0	0	0	人件費積立金	0	0	0	設備整備等積立金	0	0	0
建設仮勘定	0	0	0	修繕積立金	0	0	0	設備整備等積立金	0	0	0
権利	0	0	0	備品等購入積立金	0	0	0	設備整備等積立金	0	0	0
ソフトウェア	0	0	0	保育所施設設備整備等積立金	0	0	0	設備整備等積立金	0	0	0
退職給付引当資産	0	0	0	措置施設繰越積立金	0	0	0	設備整備等積立金	0	0	0
保育所繰越積立資産	0	0	0	人件費積立金	0	0	0	設備整備等積立金	0	0	0
人件費積立資産	0	0	0	修繕積立金	0	0	0	設備整備等積立金	0	0	0
修繕積立資産	0	0	0	備品等購入積立金	0	0	0	設備整備等積立金	0	0	0
備品等購入積立資産	0	0	0	設備整備等積立金	0	0	0	設備整備等積立金	0	0	0
長期前払費用	0	0	0	設備整備等積立金	0	0	0	設備整備等積立金	0	0	0
その他の固定資産	0	0	0	設備整備等積立金	0	0	0	設備整備等積立金	0	0	0
保育所施設設備整備等積立資産	0	0	0	設備整備等積立金	0	0	0	設備整備等積立金	0	0	0
措置施設繰越積立資産	0	0	0	設備整備等積立金	0	0	0	設備整備等積立金	0	0	0
人件費積立資産	0	0	0	設備整備等積立金	0	0	0	設備整備等積立金	0	0	0
修繕積立資産	0	0	0	設備整備等積立金	0	0	0	設備整備等積立金	0	0	0
備品等購入積立資産	0	0	0	設備整備等積立金	0	0	0	設備整備等積立金	0	0	0
設備整備等積立資産	0	0	0	設備整備等積立金	0	0	0	設備整備等積立金	0	0	0
差入保証金	0	0	0	設備整備等積立金	0	0	0	設備整備等積立金	0	0	0
資産の部合計	1,467,065	1,327,088	139,977	純資産の部合計	1,467,065	1,327,088	139,977	純資産の部合計	1,467,065	1,327,088	139,977
				負債及び純資産の部合計	1,467,065	1,327,088	139,977	負債及び純資産の部合計	1,467,065	1,327,088	139,977

計算書類に対する注記(本部拠点区分)

1. 重要な会計方針
 - (1) 有価証券の評価基準及び評価方法
該当事項はありません。
 - (2) 棚卸資産の評価基準及び評価方法
該当事項はありません。
 - (3) 固定資産の減価償却の方法
該当事項はありません。
 - (4) 引当金の計上基準
退職給付引当金
該当事項はありません。

賞与引当金
該当事項はありません。
2. 重要な会計方針の変更
該当事項はありません。
3. 採用する退職給付制度
該当事項はありません。
4. 拠点が作成する計算書類とサービス区分
 - ・ 当拠点区分において作成する計算書類等は以下のとおりとなっています。
 - (1) 本部拠点計算書類(会計基準省令第1号第4様式、第2号第4様式、第3号第4様式)
 - (2) 本部拠点区分資金収支明細書(別紙3(㊸))
 - (3) 本部拠点区分事業活動明細書(別紙3(㊹))
 - ※当拠点区分においてはサービス区分を設けていないため、上記(2)及び(3)の作成は省略しております。
5. 基本財産の増減の内容及び金額
該当事項はありません。
6. 基本金又は固定資産の売却若しくは処分に係る国庫補助金等特別積立金の取崩し
該当事項はありません。
7. 担保に供している資産
該当事項はありません。
8. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高
該当事項はありません。
9. 債権額、徴収不能引当金の当期末残高、債権の当期末残高
該当事項はありません。
10. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益
該当事項はありません。
11. 重要な後発事象
該当事項はありません。
12. その他社会福祉法人の資金収支及び純資産増減の状況並びに資産、負債及び純資産の状態を明らかにするために必要な事項
該当事項はありません。

法人本部拠点区分資金収支計算書

社会福祉法人 光塩福祉会
＜社会福祉事業＞

（自）令和 5年 4月 1日 （至）令和 6年 3月31日

（単位：円）

勘 定 科 目		予算(A)	決算(B)	差異(A)-(B)	備 考
事業活動による収入	児童福祉事業収入	0	0	0	
	措置費収入	0	0	0	
	事務費収入	0	0	0	
	事業費収入	0	0	0	
	私的契約利用料収入	0	0	0	
	その他の事業収入	0	0	0	
	補助金事業収入(公費)	0	0	0	
	補助金事業収入(一般)	0	0	0	
	受託事業収入(公費)	0	0	0	
	受託事業収入(一般)	0	0	0	
	その他の事業収入	0	0	0	
	保育事業収入	0	0	0	
	委託費収入	0	0	0	
	私的契約利用料収入	0	0	0	
	私立認定保育所利用料収入	0	0	0	
	施設型給付費収入	0	0	0	
	施設型給付費収入	0	0	0	
	利用者負担金収入	0	0	0	
	利用者等利用料収入	0	0	0	
	利用者等利用料収入(公費)	0	0	0	
	利用者等利用料収入(一般)	0	0	0	
	その他の利用料収入	0	0	0	
	その他の事業収入	0	0	0	
	補助金事業収入(公費)	0	0	0	
	補助金事業収入(一般)	0	0	0	
	受託事業収入(公費)	0	0	0	
	受託事業収入(一般)	0	0	0	
	その他の事業収入	0	0	0	
	借入金利息補助金収入	0	0	0	
	経常経費寄附金収入	0	0	0	
	受取利息配当金収入	100	12	88	
	その他の収入	0	0	0	
	受入研修費収入	0	0	0	
	利用者等外給食費収入	0	0	0	
	雑収入	0	0	0	
	事業活動収入計(I)	100	12	88	
支出	人件費支出	0	0	0	
	役員報酬支出	0	0	0	
	職員給料支出	0	0	0	
	職員賞与支出	0	0	0	
	非常勤職員給与支出	0	0	0	
	派遣職員費支出	0	0	0	
	退職給付支出	0	0	0	
	法定福利費支出	0	0	0	
	事業費支出	0	0	0	
	給食費支出	0	0	0	
	保健衛生費支出	0	0	0	
	医療費支出	0	0	0	
	被服費支出	0	0	0	
	教養娯楽費支出	0	0	0	
	日用品費支出	0	0	0	
	保育材料費支出	0	0	0	
	本人支給金支出	0	0	0	
	水道光熱費支出	0	0	0	
	燃料費支出	0	0	0	
	消耗器具備品費支出	0	0	0	
	保険料支出	0	0	0	
	賃借料支出	0	0	0	

法人本部拠点区分資金収支計算書

社会福祉法人 光塩福祉会
＜社会福祉事業＞

(自)令和 5年 4月 1日 (至)令和 6年 3月31日

(単位:円)

勘 定 科 目		予算(A)	決算(B)	差異(A)-(B)	備 考
社会福祉事業	教育指導費支出	0	0	0	
	就職支度費支出	0	0	0	
	葬祭費支出	0	0	0	
	車輛費支出	0	0	0	
	雑支出	0	0	0	
	事務費支出	200,100	60,035	140,065	
	福利厚生費支出	40,000	30,000	10,000	
	職員被服費支出	0	0	0	
	旅費交通費支出	0	0	0	
	研修研究費支出	0	0	0	
	事務消耗品費支出	0	0	0	
	印刷製本費支出	0	0	0	
	水道光熱費支出	0	0	0	
	燃料費支出	0	0	0	
	修繕費支出	0	0	0	
	通信運搬費支出	0	0	0	
	会議費支出	60,000	0	60,000	
	広報費支出	0	0	0	
	業務委託費支出	50,000	28,435	21,565	
	手数料支出	20,000	1,600	18,400	
	保険料支出	0	0	0	
	賃借料支出	0	0	0	
	土地・建物賃借料支出	0	0	0	
	租税公課支出	0	0	0	
	保守料支出	0	0	0	
	諸会費支出	0	0	0	
	雑支出	30,100	0	30,100	
	支払利息支出	0	0	0	
	その他の支出	0	0	0	
	利用者等外給食費支出	0	0	0	
	雑支出	0	0	0	
	流動資産評価損等による資金減少額	0	0	0	
	徴収不能額	0	0	0	
	事業活動支出計(2)	200,100	60,035	140,065	
	事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)	-200,000	-60,023	-139,977	
施設整備等による収支	施設整備等補助金収入	0	0	0	
	施設整備等補助金収入	0	0	0	
	設備資金借入金元金償還補助金収入	0	0	0	
	施設整備等寄附金収入	0	0	0	
	施設整備等寄附金収入	0	0	0	
	設備資金借入金元金償還寄附金収入	0	0	0	
	設備資金借入金収入	0	0	0	
	その他の施設整備等による収入	0	0	0	
	その他の施設整備等による収入	0	0	0	
	施設整備等収入計(4)	0	0	0	
	設備資金借入金元金償還支出	0	0	0	
	固定資産取得支出	0	0	0	
	土地取得支出	0	0	0	
	建物取得支出	0	0	0	
	車輛運搬具取得支出	0	0	0	
	器具及び備品取得支出	0	0	0	
	構築物取得支出	0	0	0	
	機械及び装置取得支出	0	0	0	
	建設仮勘定取得支出	0	0	0	
	権利取得支出	0	0	0	
	ソフトウェア取得支出	0	0	0	
	その他の固定資産取得支出	0	0	0	
	固定資産除却・廃棄支出	0	0	0	

法人本部拠点区分資金収支計算書

社会福祉法人 光塩福祉会
＜社会福祉事業＞

(自)令和 5年 4月 1日 (至)令和 6年 3月31日

(単位：円)

勘 定 科 目		予算(A)	決算(B)	差異(A)-(B)	備 考
その 他 の 活 動 に よ る 収 支	ファイナンス・リース債務の返済支出	0	0	0	
	その他の施設整備等による支出	0	0	0	
	その他の施設整備等による支出	0	0	0	
	施設整備等支出計(5)	0	0	0	
	施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)	0	0	0	
	積立資産取崩収入	0	0	0	
	退職給付引当資産取崩収入	0	0	0	
	長期預り金積立資産取崩収入	0	0	0	
	保育所繰越積立資産取崩収入	0	0	0	
	保育所施設設備整備等積立資産取崩収入	0	0	0	
	措置施設繰越積立資産取崩収入	0	0	0	
	拠点区分間繰入金収入	200,000	200,000	0	
	その他の活動による収入	0	0	0	
	長期前払費用収入	0	0	0	
	その他の活動による収入	0	0	0	
	その他の活動収入計(7)	200,000	200,000	0	
支 出	積立資産支出	0	0	0	
	退職給付引当資産支出	0	0	0	
	長期預り金積立資産支出	0	0	0	
	保育所繰越積立資産支出	0	0	0	
	保育所施設設備整備等積立資産支出	0	0	0	
	措置施設繰越積立資産支出	0	0	0	
	拠点区分間繰入金支出	0	0	0	
	その他の活動による支出	0	0	0	
	長期前払費用支出	0	0	0	
	その他の活動支出計(8)	0	0	0	
その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8)		200,000	200,000	0	
予備費支出(10)		0	0	0	
当期資金収支差額合計(11)=(3)+(6)+(9)-(10)		0	139,977	-139,977	
前期末支払資金残高(12)		0	1,327,088	-1,327,088	
当期末支払資金残高(11)+(12)		0	1,467,065	-1,467,065	

法人本部拠点区分事業活動計算書

社会福祉法人 光塩福祉会
＜社会福祉事業＞

（自）令和 5年 4月 1日 （至）令和 6年 3月31日

（単位：円）

勘 定 科 目		当年度決算 (A)	前年度決算 (B)	増減 (A) - (B)
収入 益 サ ー ビ ス 活 動 増 減 の 部 費 用	児童福祉事業収益	0	0	0
	措置費収益	0	0	0
	事務費収益	0	0	0
	事業費収益	0	0	0
	私的契約利用料収益	0	0	0
	その他の事業収益	0	0	0
	補助金事業収益(公費)	0	0	0
	補助金事業収益(一般)	0	0	0
	受託事業収益(公費)	0	0	0
	受託事業収益(一般)	0	0	0
	その他の事業収益	0	0	0
	保育事業収益	0	0	0
	委託費収益	0	0	0
	私的契約利用料収益	0	0	0
	私立認定保育所利用料収益	0	0	0
	施設型給付費収益	0	0	0
	施設型給付費収益	0	0	0
	利用者負担金収益	0	0	0
	利用者等利用料収益	0	0	0
	利用者等利用料収益(公費)	0	0	0
	利用者等利用料収益(一般)	0	0	0
	その他の利用料収益	0	0	0
	その他の事業収益	0	0	0
	補助金事業収益(公費)	0	0	0
	補助金事業収益(一般)	0	0	0
	受託事業収益(公費)	0	0	0
	受託事業収益(一般)	0	0	0
	その他の事業収益	0	0	0
	経常経費寄附金収益	0	0	0
	その他の収益	0	0	0
	サービス活動収益計(1)	0	0	0
	人件費	0	0	0
	役員報酬	0	0	0
	職員給料	0	0	0
	職員賞与	0	0	0
	賞与引当金繰入	0	0	0
	非常勤職員給与	0	0	0
	派遣職員費	0	0	0
	退職給付費用	0	0	0
	法定福利費	0	0	0
	事業費	0	0	0
	給食費	0	0	0
	保健衛生費	0	0	0
	医療費	0	0	0
	被服費	0	0	0
	教養娯楽費	0	0	0
	日用品費	0	0	0
	保育材料費	0	0	0
	本人支給金	0	0	0
	水道光熱費	0	0	0
	燃料費	0	0	0
	消耗器具備品費	0	0	0
	保険料	0	0	0
	賃借料	0	0	0
	教育指導費	0	0	0
	就職支度費	0	0	0
	葬祭費	0	0	0
	車輛費	0	0	0
	雑費	0	0	0
	事務費	60,035	57,480	2,555
	福利厚生費	30,000	40,000	-10,000
	職員被服費	0	0	0

法人本部拠点区分事業活動計算書

社会福祉法人 光塩福祉会
＜社会福祉事業＞

(自) 令和 5 年 4 月 1 日 (至) 令和 5 年 3 月 31 日

(単位：円)

勘 定 科 目		当年度決算 (A)	前年度決算 (B)	増減 (A) - (B)
サービス活動外増減の部	旅費交通費	0	0	0
	研修研究費	0	0	0
	事務消耗品費	0	0	0
	印刷製本費	0	0	0
	水道光熱費	0	0	0
	燃料費	0	0	0
	修繕費	0	0	0
	通信運搬費	0	0	0
	会議費	0	0	0
	広報費	0	0	0
	業務委託費	28,435	0	28,435
	手数料	1,500	1,480	120
	保険料	0	0	0
	賃借料	0	0	0
	土地・建物賃借料	0	0	0
	租税公課	0	0	0
	保守料	0	0	0
	諸会費	0	0	0
	雑費	0	16,000	-16,000
	減価償却費	0	0	0
	国庫補助金等特別積立金取崩額(減価償却)	0	0	0
	徴収不能額	0	0	0
	徴収不能引当金繰入	0	0	0
	その他の費用	0	0	0
	サービス活動費用計(2)	60,035	57,480	2,555
	サービス活動増減差額(3)=(1)-(2)	-60,035	-57,480	-2,555
サービス活動増減の部	借入金利息補助金収益	0	0	0
	受取利息配当金収益	12	12	0
	その他のサービス活動外収益	0	0	0
	受入研修費収益	0	0	0
	利用者等外給食収益	0	0	0
	雑収益	0	0	0
	サービス活動外収益計(4)	12	12	0
	支払利息	0	0	0
	その他のサービス活動外費用	0	0	0
	利用者等外給食費	0	0	0
特別増減の部	雑損失	0	0	0
	サービス活動外費用計(5)	0	0	0
	サービス活動外増減差額(6)=(4)-(5)	12	12	0
	経常増減差額(7)=(3)+(6)	-60,023	-57,468	-2,555
	施設整備等補助金収益	0	0	0
	施設整備等補助金収益	0	0	0
	設備資金借入金元金償還補助金収益	0	0	0
	施設整備等寄附金収益	0	0	0
	施設整備等寄附金収益	0	0	0
	設備資金借入金元金償還寄附金収益	0	0	0
特別増減の部	固定資産受贈増	0	0	0
	固定資産受贈増	0	0	0
	拠点区分間繰入金収益	200,000	200,000	0
	拠点区分間固定資産移管収益	0	0	0
	その他の特別収益	0	0	0
	徴収不能引当金戻入益	0	0	0
	その他の特別収益	0	0	0
	特別収益計(8)	200,000	200,000	0
	基本金組入額	0	0	0
	資産評価損	0	0	0
特別増減の部	固定資産売却損・処分損	0	0	0
	土地売却損・処分損	0	0	0
	建物売却損・処分損	0	0	0
	車輛運搬具売却損・処分損	0	0	0
	器具及び備品売却損・処分損	0	0	0
		0	0	0

法人本部拠点区分事業活動計算書

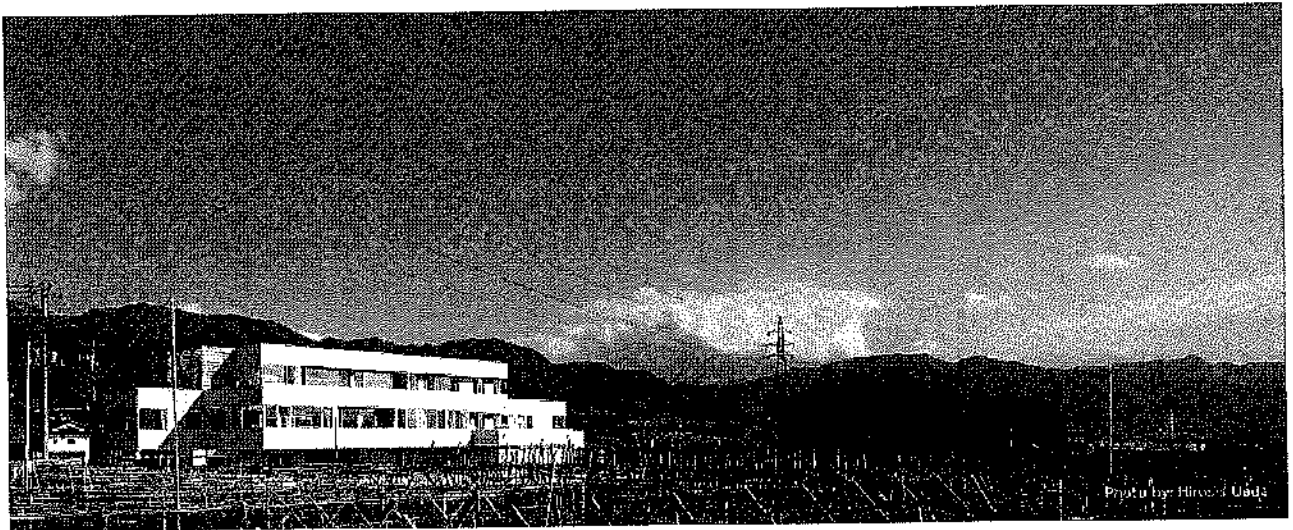
社会福祉法人 光塩福祉会
＜社会福祉事業＞

（自）令和 5年 4月 1日 （至）令和 6年 3月31日

（単位：円）

勘 定 科 目		当年度決算 (A)	前年度決算 (B)	増減 (A) - (B)
費 用	構築物売却損・処分損	0	0	0
	機械及び装置売却損・処分損	0	0	0
	権利売却損・処分損	0	0	0
	ソフトウェア売却損・処分損	0	0	0
	その他の固定資産売却損・処分損	0	0	0
	国庫補助金等特別積立金取崩額(除却等)	0	0	0
	国庫補助金等特別積立金積立額	0	0	0
	拠点区分間繰入金費用	0	0	0
	拠点区分間固定資産移管費用	0	0	0
	その他の特別損失	0	0	0
	特 別 費 用 計(9)	0	0	0
	特別増減差額(10)=(8)-(9)	200,000	200,000	0
	当期活動増減差額(11)=(7)+(10)	139,977	142,532	-2,555
繰越活動増減差額	前期繰越活動増減差額(12)	1,327,088	1,184,555	142,532
	当期末繰越活動増減差額(13)=(11)+(12)	1,467,065	1,327,088	139,977
	基本金取崩額(14)	0	0	0
	その他の積立金取崩額(15)	0	0	0
	その他の積立金積立額(16)	0	0	0
	次期繰越活動増減差額(17)=(13)+(14)+(15)-(16)	1,467,065	1,327,088	139,977

2023(令和5)年度 事業報告



社会福祉法人 光塩福社会
児童養護施設 クローバー学園

令和5年度事業報告（クローバー学園）

1 はじめに

5月に新型コロナウイルス感染症が2類から5類に分類されて以降、社会的な情勢と照らし合わせ、当園においても少しずつ行動制限、外出制限等を緩和していった。また、コロナ禍以前に開催されていたような全体行事や各種イベントも、徐々にではあるが実施することができるようになり、かつての日常を取り戻しつつあった。しかし、引き続いて感染対策は怠らないようにし、エントランスでのアルコール消毒や感染疑いのある子どもがいた場合には、毎朝晩の検温、マスク着用の徹底を継続し、園内に感染が拡がる状況を避けるための体制は整えてきた。

また、4月より分園型小規模グループケア「かえで」を開所し、より家庭的な環境の元で子どもたちを養育していくことができるようになった。個別的な環境が提供され、地域の方々にもかかわっていただきながら、より家庭に近い形での支援ができた1年となった。また、どのグループにおいても、子どもの最善の支援者となるべく、創始の「愛育」の精神を大切にしながら、子どもたちの養育にあたった1年だった。

2 会議の状況

月	職員 会議	主任 会議	リーダー 会議	グループ会議				
				つくし	さくら	ひのき	かえで	ひまわり
4	4/27	4/10・21	4/18	4/10	4/12	4/11	4/10	4/12
5	5/30	5/8・25	5/19	5/8	5/15	5/9	5/9	5/2
6	6/30	6/6・23	6/16	6/12	6/6	6/6	6/8	6/2
7	7/28	7/21	7/14	7/5	7/5	7/5	7/4	7/3
8	8/30	8/24	8/17	8/7	8/8	8/9	8/7	8/3
9	9/28	9/21	9/15	9/4	9/6	9/4	9/7	9/4
10	10/30	10/23	10/16	10/13	10/6	10/2	10/6	10/6
11	12/1	11/24	11/17	11/9	11/7	11/1	11/8	11/8
12	12/27	12/22	12/15	12/4	12/8	12/13	12/11	12/6
1	1/30	1/11・23	1/18	1/11	1/12	1/10	1/11	1/10
2	2/28	2/5・19	2/15	2/1	2/5	2/1	2/9	2/8
3	3/28	3/5・11・21	3/15	3/5	3/8	3/4	3/5	3/4

3 児童の状況（月の初日在籍数・一時保護含）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
年少児	1	1	2	2	3	3	3	3	3	3	3	3	30
小1	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	24
小2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
小3	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
小4	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	36
小5	2	2	2	2	2	1	1	1	1	1	1	2	18
小6	2	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4
中1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
中2	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	48
中3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	36
支高1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
高1	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	24
高2	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	36
高3	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	24
計	28	27	28	27	28	27	27	27	27	27	27	28	328

4 職員の状況（2023年4月1日現在）

役職名	人数
園長	1名
主任児童指導員（兼 里親支援専門相談員）	1名
主任保育士（兼 家庭支援専門相談員）	1名
主任児童指導員補佐	1名
児童指導員	5名
保育士（1名家庭支援専門相談員兼務）（1名個別対応職員兼務）	16名
自立支援担当職員	1名
心理師	1名
事務員	1名
栄養士	1名
調理員	1名
管理宿直員	7名
スーパーバイザー	1名
合計	38名

5 グループの状況（2023年4月1日現在）

グループ	職員数	子ども
つくし	保育士 5	幼児 2 小学生 3
さくら	児童指導員 1 保育士 3	小学生 1 中学生 2 高校生 2
ひのき	児童指導員 2 保育士 2	小学生 1 中学生 3 高校生 1
かえで	児童指導員 3 保育士 2	小学生 3 高校生 2
ひまわり	児童指導員 2 保育士 2	中学生 3 支援学校 1 高校生 3

6 行事の状況

園行事	4/1	新任式、担当・居室発表
	12/10	総合防災訓練
	12/22～23	クリスマス会
	3/3	お別れ球技会
	3/28	退園式
地域行事	7/22～24	上西区育成会ラジオ体操
	7/24	上西区育成会向嶽寺境内清掃
	8/6	千野下区バス旅行
	1/28	上西区新春塩の山ウォーキング
	1/17	峡東地区里親サロン
連携行事	6/20・10/31	中児童措置後連絡会
	6/16・11/2	都留児相措置後連絡会
	6/4・11/3	塩山ライオンズクラブ花の植え替え事業
	11/9	家族再統合支援事業
	2/2	山梨市要保護児童対策協議会

7 子どもの権利擁護・子どもアドボカシーの推進

(1) 反省

- ① 子どもの権利擁護や意見表明を支援し、園内での意識を高めるために、担当者を設け、園として研修に参加をし、子どもの権利擁護の土台を作ることができた。
- ② 子どもの権利擁護、意見表明支援を強化できるような体制づくりを行い、令和6年度につなげることができた。

(2) 実施事業・内容

- ① 令和5年度は、第三者評価機関による訪問調査が実施されたため、その中で利用者アンケートを実施し、子どもたちからの要望や意見に対しても、園としてのフィードバックを行った。
- ② 県が主催する子どもの権利擁護や意見表明支援をテーマとした研修に、担当者が参加した。
- ③ 園内の子どもの権利ノートについても改訂した。

- ④ 入所前の児童への説明資料を作成し、入所に際して不安が軽減されるように配慮した。
- ⑤ 児童養護施設における人権擁護のためのチェックリストを10月と1月に実施した。

8 学習支援

(1) 反省

- ① 各グループにおいては、複数職員が勤務する際など、個別に時間を作ってより個別学習の機会をつくるなどの学習支援を行った。しかし、普段の業務に追われ、個別的な学習環境を用意できないこともあった。
- ② 学習ボランティアにも協力してもらい、学校単位で行われているフォローアップ学習にも多くの子どもたちが参加する中で、園外の社会的資源を利用しながら学習支援をしていくことができた。
- ③ 小学生に対しては、学習教材の提供をしながら、自主的な学習を促せるような取り組みをする予定であったが、スケジュールの関係で実施することはできなかった。
- ④ 中学生については希望する場合は、学習塾を利用した学習支援も行い、受験生については3人とも全員前期試験において高校合格を果たすことができた。また、前期入試の面接練習なども、グループ職員を中心に行うことができた。しかし、日常的な学習については、定期テスト前の課題提出やテスト期間中の学習に留まってしまう場合が多かった。
- ⑤ 高校生は、勉強とともに、自主的に自分にあったアルバイト先を見つけ社会経験の積み上げをするとともに、職業体験を行いながら進路を検討するなど、学習との両立を調整しながら取り組んだ。

9 食に関する取り組み

(1) テーマ

- ① 大テーマ「食を通した関係性作り」
- ② 小テーマ「食事の時間に職員は必ず席に着き、子どもと一緒に食卓を囲む」
上記、小テーマの他、各グループで考えた目標を2つ掲げて1年間活動した。

(2) 食の取り組み振り返り、報告

毎月グループから出された「食」に関する報告を栄養士がまとめ、主任会議を経て職員会議にて全職員に配布。考え方の確認と修正、他グループとの情報や意見の交換、質疑応答、モチベーションアップにつながった。

(3) 彩食費

給食費の一部を各グループに配分し、テイクアウトやおやつ等、各グループの裁量で柔軟に使える経費を計上した。

(4) 彩葉ごはん

コロナ禍の為、休止中。

(5) 誕生日会

子どもの希望を叶える形で夕食を中心に実施した。メニュー決め、食材購入、調理など全てグループで行い、歌やBGM、部屋の飾りつけ等で特別な日を演出するように工夫した。

(6) 手作りおやつを取り入れ

子どもからのリクエストやイベント、記念日、ご褒美はもちろん、子ども達の苦手な食材を使用したお菓子や何気ない日常にも実施した。

(7) 栄養士による料理教室（職員対象）

コロナ禍の為、休止中。

(8) 調理衛生実技指導（職員対象）

グループごとに実施した。実技を交えてマニュアルの確認を行うことで、修正・理解、不安解消、技術の向上につながった。

(9) 調理衛生マニュアル読み合わせ

4月の新任職員研修内で、新任職員に向けて実施した。他職員に対しては、調理衛生実技指導、汚染物処理研修内で実施した。

(10) 汚染物処理マニュアル研修会

グループごとに実施した。実技を交えてマニュアルの確認を行うことで、修正・理解、不安解消、技術の向上につながった。

(11) 嗜好調査の実施

6、2月に実施。集計結果は回覧にて報告し、献立に反映させた他、各職員が普段の食事づくりや子どもとの会話等で活用した。

(12) 行事食の実施

ひな祭り、入学祝、端午の節句、七夕、お盆、土用の丑、お月見、ハロウィン、七五三、クリスマス、正月、節分、バレンタイン、卒業祝い等

(13) 自立のために退所する児童への食事指導

退所後、一人暮らしをする児童1名（就職）、一人暮らし訓練を実施。

10 性（生）教育について

(1) 反省

① 定期的な委員会の開催

山梨県立大学の講師を招き、毎月1回、性教育委員会を開催した。

② 性（生）教育・性問題に関連する研修への参加

計3つの外部研修に委員会メンバーが参加した。

③ 児童養護施設における性（生）教育についての情報収集

毎月の委員会内で、性に関する絵本や専門書籍に関する情報の収集と確認を行った。

④ 性（生）教育実施内容の検討

毎月の委員会でのロールプレイを元に幼児・小学生向けの性（生）教育の内容を検討した。

⑤ 子どもたちへの性教育実施

委員会内で内容が定まらなかったため実施できていない。

⑥ 職員会議における委員会の活動報告

委員会メンバーがグループ会議で報告し、職員会議においても報告を行った。

⑦ 外部講師による助言・職員全体への研修

園内で過去に起こった性加害被害の事例を元に、事例検討会を2回行った。

11 人材育成

(1) 新任職員研修

① 各専門職や10年目以上の職員に協力してもらい、「本園と分園との違い」「フ

ファミリーソーシャルワーク」など、テーマを設けてグループで考えることで、学びを深めることができた。

② 10年目以上の職員については、自身のもつ経験を後輩に対して伝える機会をつくることができた。

③ 一方、学びと助言の記録については、担当者でうまく確認し返答するなどの対応を取ることができず、中断してしまった。

(2) 2・3年目の研修

① 職員会議等の全体で集まる機会を通じて、当園で初めて2・3年目の職員向けに3回の研修を実施することができた。

② 「当園のあるべき姿」を題材にして、グループ討議を実施したが、時間が限られていたため、一部議論が深まらず、次回に持ち越しというようなこともあったため、次年度時間をしっかり確保して開催できるように反省としたい。

(3) 全ケアワーカー

① ケースカンファレンスの実施

外部講師（大学教授）をアドバイザーとして招き、基本的に毎月1回、計10回（各グループ2回ずつ）のケースカンファレンスを実施し、職員のアセスメント力の向上に努めた。また年度当初には、前年度の振り返り講習会を開き、反省点や課題も踏まえた上で実施することができた。

② 虐待防止研修

2月職員会議にて全職員が参加して、「子どもの罪と謝罪」をテーマにした研修を実施し、日常における子どもとのかかわり方を見直すきっかけとすることができた。

③ 汚染物処理マニュアル研修会

実際に防護具を使用して、汚染物処理方法や防護具の着脱方法など全職員を対象に研修を実施した。

(4) 外部研修

月日	内容	形態・会場	備考
4/26	児童間性暴力0のためのロードマップ策定報告会	オンライン	1名
5/12	社会的養護施設から進学するための資金戦略	オンライン	1名
5/18 9/27～28	子どもの虹 児童福祉施設指導者合同研修	オンライン 神奈川県	1名
5/20～22 11/18～20	SBI子ども希望財団 児童養護施設職員	千葉県 東京都	1名
5/24・2/9	全国若者自立支援プロジェクト 全国ネットワーク会議	オンライン	1名
6/9・9/15	児童福祉司等及び要保護児童対策調整担当者研修	甲府市	計3名
6/11～12	全国春季セミナー	東京都	1名
6/16～18	スーパービジョン研修	甲府市	1名
7/7	関東ブロック研究協議会	オンライン	1名
7/13	子どもの虹情報研修センター 児童福祉施設心理担当合同職員研修	オンライン	1名
7/16	関東甲信越静里親協議会浜松市研修大会	オンライン	1名

8/23・10/20	中堅職員・チームリーダー研修	甲府市	1名
8/25	家庭養育推進自治体モデル事業に関する説明会	オンライン	1名
9/4	自立における社会資源についての学習会	甲府市	2名
9/6～7	ファミリーソーシャルワーク研修会	神奈川県	2名
9/8	福祉サービス苦情解決事業研修会	甲府市	1名
10/1	山梨県立大学大学院設置キックオフイベント	甲府市	2名
10/2	高齢児への性の支援	オンライン	1名
10/11～12	関東ブロック職員研修会	神奈川	1名
10/14～15	ぴあ応援フェス	オンライン	1名
10/18	チャイボラ ライフストーリーワークの実践	オンライン	2名
10/27・1/31 2/23・2/29	子ども家庭ソーシャルワーカー専門職員研修	甲府市	計 11名
11/2	西日本子ども研修センターあかし 虐待を受けた子どもの心の支援	オンライン	1名
11/6～8	全国施設長研究協議会	兵庫県	1名
11/14	山梨市重層的支援体制整備事業研修会	山梨市	1名
11/17	西日本子ども研修センターあかし 受援力を高めるために必要な支援を考える	オンライン	1名
11/20	アレルギー疾患に関する乳幼児・施設等従事者研修	山梨市	1名
12/6	甲州市社会福祉協議会 子ども食堂の取り組みについて	甲州市	1名
12/11～22	社会的養護を担う児童福祉施設長研修会	オンデマンド	1名
12/12	国立きぬ川学院 性的虐待等に関する専門研修	オンライン	2名
1/24～25	関東ブロック事務職員研修会	千葉県	1名
1/9・19	基幹的職員研修会	甲府市	2名
1/21	性と生のはなし～よりよい人生を歩むために～	甲府市	4名
2/19～20	中堅職員研修	オンライン	1名
2/21～22	児童養護施設等の多機能化に向けた人材育成研修	甲府市	6名
3/2	社会的養護フォーラム	甲府市	1名
3/7	子どもの虹情報研修センター「子どもの“声”を聴く」	オンライン	1名
3/8・3/11	児童養護施設等の高機能化に向けた人材育成研修	甲府市	7名
3/18	子どもの権利擁護体制強化に係る 児童養護施設等職員及び里親向け研修会	オンライン	1名
3/16	子どもの虹情報研修センター アウトリーチで支援をつなぐ	オンライン	1名
3/18	山梨県社会的養護フォーラム	甲府市	2名

1 2 グループの実施事業

(1) つくしグループ

日時	イベント内容	子ども	職員
5/4	ピクニック（塩山ふれあいの森総合公園）	5名	4名
8/4	夏祭り（中庭で花火）	6名	4名
8/16	グループレク（富士湧水の里水族館、キッズ・ユーエスランド、富士山レーダードーム）	6名	4名
10/30	ハロウィンパーティー	6名	4名
12/23	クリスマス会	6名	5名
3/19	グループお別れ会	6名	2名

(2) さくらグループ

日時	イベント内容	子ども	職員
8/18	夏祭り	5名	4名
8/22	グループレク（ラウンドワン）	5名	4名
10/31	ハロウィンパーティー	5名	1名
12/23	クリスマス会	5名	4名
3/19	おつかれさま会	5名	4名

(3) ひのきグループ

日時	イベント内容	子ども	職員
5/6	グループ外出（ふれあいの森公園）	3名	1名
7/5	ヴァンフォーレ甲府招待（小瀬スポーツ公園）	1名	1名
8/3	グループレク（ラウンドワン・ゆず庵）	5名	3名
8/19	夏祭り	5名	2名
10/30	ハロウィンパーティー	5名	2名
12/22	クリスマス会	5名	3名
3/24	お別れ会	5名	4名

(4) かえでグループ

日時	イベント内容	子ども	職員
5/6	GW食事会	5名	5名
8/20	グループレク（イオンモール甲府昭和）	5名	3名
10/30	ハロウィンパーティー	5名	4名
12/23	クリスマス会	5名	3名
3/20	お別れ・おつかれさま会	5名	4名

(5) ひまわりグループ

日時	イベント内容	子ども	職員
5/6	グループBBQ（分園ひまわり園庭）	6名	4名
8/30	グループ外食（ガスト塩山店）	6名	4名
9/25	グループレク（ラウンドワン石和店・ココス塩山店）	6名	4名
12/23	クリスマス会	6名	4名
3/28	おつかれさま会	6名	4名

1.3 個別対応の状況

- (1) 全グループの子どもとかかわりを持つように意識してきたが、分園の子どもとは会う事も少なく、なかなか個別的なかかわりをもつことが困難だった。
- (2) グループ職員が聞き取り困難な際に介入し、聞き取りや該当児のケアをすることが出来た。
- (3) 畑を活用しての夏野菜の栽培や収穫畑へ連れ出すことが出来た一方で、天候的に作業が難しかったり、勤務の調整がうまくいかなかったりしたために、計画的な畑での支援を行うことはできなかった。

1.4 家庭支援の状況

- (1) 連絡の取れない保護者宅に繰り返し訪問し、その状況を子どもにきちんと伝え、お互いの立場、現実について繰り返し話しをした。
- (2) 面会の少ない保護者の苛立ちや不満を聞く中で、状況理解をしてもらう努力を行った。保護者の立場になって物事を考え寄り添う支援を実施した。
- (3) 家庭復帰後の保護者の電話相談に応じた。必要に応じて関係機関と連絡を取り、子どもと親がよい関係でいられるよう配慮した対応を行った。
- (4) 電話相談と並行してアフターケアを実施した。

家庭支援実施報告

退園児	訪問	電話	来訪
M (支・女)	1	1 6	1 1
A (高・男)	3	2 6	8
Y (高・男)	0	1	1

- (5) 自立支援担当職員と共同で、アフターケアを実施した。
- (6) 面会の内容、回数などそれぞれの保護者の状況を見ながらの対応を実施。
- (7) 要保護児童対策地域協議会に参加し、問題の共通理解を深める中で、児童が速やかに家庭復帰できるように助力した。
- (8) 園内のケースカンファレンスに出席し、F S W (家庭支援専門相談員)としての意見を伝えた。
- (9) 自立支援会議の実施が難しく、中々開催が出来なかった。来年度は状況、内容を吟味して行う必要がある。

1.5 心理支援の状況

- (1) 心理療法、心理検査の実施

個別面接やグループ面接において心理療法やカウンセリング・遊戯療法・箱庭療法・認知行動療法等、個々のケースに適した方法で実施した。

- (2) 生活場面面接の実施

実際に生活している場において、子どものトラブルや不安等に対し心理的な技法を用いて援助した。

- (3) 職員への助言及び指導

発達課題や問題を抱えている子どもたちへの日々の生活支援において、トラブルを未然に防ぐ工夫や問題行動への対処等について心理学的視点から助言を行った。

(4) ケース検討会議への出席

月1回行われている各グループにおけるケース検討会議と年10回実施している外部スーパーバイザーを招いたケースカンファレンスへ参加した。

(5) 職員のメンタルヘルス

相談を受けたりする中で、うつ病やバーンアウト等のリスクについて知識や情報提供を行った。

(6) その他心理療法担当職員としての業務一般

関係機関（児童相談所・学校・医療機関等）との連携、児童相談所・学校との連絡会への参加、山梨県児童養護施設等心理職連絡会への参加、心理実習生の受け入れと指導、里親登録前・更新研修を行った。

(7) 心理療法等実施報告

心理療法	心理検査	施設職員等への 助言及び指導	援助方針会議 への出席	その他	計
600	0	242	27	55	924

1.6 里親支援の状況

- (1) 担当地区（甲州市・山梨市・笛吹市・甲府市東側エリア）の家庭訪問・電話相談を計73件実施した。
- (2) 山梨県里親会（きずな会）が主催する研修会や交流会等に積極的に出席し、里親活動の支援を行った。
- (3) 園内児童の短期預かり事業については、兄妹2人を2回実施した。
- (4) 毎月2回の中央児童相談所で開催される里親支援専門相談員連絡会、相談支援連絡会へ出席し、家庭訪問等の状況報告を行った。
- (5) 園内において、里親登録前研修の受講者を計1名受け入れた。
- (6) 山梨市において、峡東地区に在住の里親を対象に里親サロンを実施、地域の里親同士で交流したり、里親の悩みを解消したり相談したりする場を提供することが出来た。
- (7) 山梨市が主催する要保護児童対策協議会に出席した。

1.7 自立支援の状況

(1) 反省

- ① 自立支援担当・家庭支援担当拡大会議は一度の開催しかできなかったが、日々の業務の中で、家庭支援担当と打ち合わせや情報共有を行いながら進めることができた。
- ② 退園生宅への訪問については、退園生と調整することが困難であったため予定どおり実施はできなかったが、1件の家庭訪問と退園生が来園した際に食料品を持ち帰ってもらうことができた。
- ③ 年間通して積極的にケースカンファレンスへ参加した。
- ④ 奨学金制度など、利用できる制度の把握に努め、グループ職員と情報の共有をし、申請の補助をした。また、都内専門学校へのオープンキャンパスに引率同行した。
- ⑤ 退園生については、年賀状を送信し、誕生日の際には職員からメッセージを載せたメッセージアートを送付することができた。

- ⑥ 新型コロナウイルス対応が緩和し、小規模ながらお盆交流会を3年ぶりに開催することができた。
- ⑦ 退園生向けのホームページは、十分検討することができず作成には至らなかった。
- ⑧ 退園生に電話連絡をして生活状況の確認を行う「何気ない時の関わりとしての電話」を、退園生ごとに年間3回実施することができた。
- ⑨ 退園生の家族支援はできなかったが、退園生からの生活相談を受け対応に努めた。関係機関と連携し相談に同行したり、近況の確認のため職場訪問の実施をしたりした。
- ⑩ グループホーム入居児童の関係者会議に出席した。

(4) 実績報告

園から 電話	退園生 から 電話	来訪	訪問	メール	手紙 葉書	年賀状	誕生日 対応	他※	計
69	82	56	4	1	52	37	37	46	384

※他：本人では無い、キーパーソンとなる親などとの電話など

1.8 地域支援・子育て短期支援事業

(1) ショートステイ・トワイライトステイ利用実績

本年度は、山梨市在住の3世帯でショートステイ計6回、トワイライトステイ計18回をつくしグループにて受け入れた。

世帯	利用児童の年齢	種別・回数
世帯①	年長女兒	トワイライトステイ利用 計5回
世帯②	小1女兒	ショートステイ利用 計6回（12日間） トワイライトステイ利用 計1回
世帯③	年長女兒	トワイライトステイ利用 計12回

(2) 反省

- ① 前年度までと異なり、基本的には要望があれば当園で受け入れできるような体制を組むことができ、目指していた「断らないショートステイ」をほぼ達成することができた。
- ② 一方で、小学高学年の子どもたちを受け入れる際に、園としてどのように受け入れるべきか、高齢児のグループでの受け入れ体制の整備については課題が残った。

1.9 広報事業

(1) 実施事業（ホームページ）

- ① 新着情報の更新
- ② 「子どもたちの日々の生活」の更新
- ③ 採用情報の更新
- ④ クローバーだよりの情報更新

(2) 反省

- ① 月に1回のまとめでの更新となってしまったが、前年度以上に日々の生活、援助いただいた皆様の紹介等の記事を更新することができ、当園の支援の一端や運営方針について知ってもらう機会をつくることができた。
- ② ホームページを閲覧して、寄付やボランティアの申し出もあり、少しずつ広報による当園を認知理解してもらう輪が広がってきた。
- ③ 実習生や退園生に対する項目など、依然として整っていない内容もあり、内容も十分でない項目があるので、次年度以降の課題としていく必要がある。

20 委員会等関係

(1) 調査研究委員会

① 反省

- ア 児童福祉法の一部改正に伴い開催された「施設の多機能化や高機能化」に関する研修に委員会メンバー全員で参加することができ、現状の認識を共有することができた。
- イ 委員会を定期に開催することができず、電子ツール上での情報共有にとどまってしまう、そのような情報を元にして、当園として今後どのように多機能化メニューを選択していくべきかを検討する機会を設けることができなかった。
- ウ 地域支援の1つとして、「子ども食堂（宅食）」を採用することを念頭に、甲州市の主催する子ども食堂に見学したり、研修に参加したりすることができた。

21 寄付・ボランティアの受け入れ

(1) 寄付

合計で241件のご寄付や援助をいただいた。

(2) ボランティア

① 学習ボランティア

- ア 山梨県立大学の学生による学習ボランティア 3名
- イ 健康科学大学の学生による学習ボランティア 1名

② その他のボランティア

- ア 散髪ボランティア 6月以降毎月1回
- イ 天理教奉仕 毎月1回
- ウ 遊びのボランティア 1名

③ 反省

ア 学習ボランティア

(ア) 塩山駅から園までの移動方法は学生任せになっており、特に夏場は徒歩での移動にかなりの負担を強いてしまった。職員が送迎できるときはしていたが、もう少しいい方法がないか模索中である。

(イ) 学習ボランティアを希望する子どもが少なくなった。マッチングの問題や、学生側の希望に沿えないことがあり、残念だった。

(ウ) コロナの規制が緩和され、遊びボランティアなどを再開してもよかったが、計画立てて実施することができず、課題の残る1年となってしまった。

イ その他のボランティア

(ア) 天理教による奉仕活動を再開してもらい、襟布を毎月交換してもらうことで、子どもたちにより衛生的な環境を提供することができた。

(イ) 散髪ボランティアとしての協力をいただき、子どもたちと良好な関係を

持ちながら、散髪していただくことができた。

(ウ) ホームページ上で、天理教の奉仕や散髪ボランティアについて、「援助いただいた皆様」として記事にした。

2.2 実習生の受け入れ

(1) 保育実習

① 受け入れ校

山梨学院短期大学、山梨県立大学、東京純心大学

② 受け入れ日程及び人数

ア	8月10日～22日	山梨学院短期大学	2名
イ	8月23日～9月4日	山梨県立大学	2名
ウ	9月5日～14日、18日～20日	山梨学院短期大学	2名
エ	9月5日～9月17日	東京純心大学	1名
オ	9月18日～25日、29日～10月3日	山梨県立大学	1名
カ	9月19日～23日、29日～10月8日	山梨県立大学	1名
キ	2月16日～28日	山梨学院短期大学	2名
ク	3月4日～16日	山梨県立大学	2名

(2) 福祉実習

前年度から実習形態が「ソーシャルワーク現場実習」から「ソーシャルワーク実習 a・b」という名称に代わり、期間も180時間(23日間)のものから180時間(30日間)と60時間(8日間)の合計240時間で行なうものに変更され、3年生だけでなく、2年生も実習をすることになった。

- | | | | | |
|---|------------|--------|----|----|
| ① | 8月10日～9月4日 | 山梨県立大学 | 3年 | 1名 |
| ② | 1月29日～2月8日 | 健康科学大学 | 2年 | 1名 |
| ③ | 1月29日～3月5日 | 健康科学大学 | 3年 | 2名 |

(3) 心理実習

新型コロナウイルス感染対策が緩和され、ケース検討会議やケースカンファレンスをはじめ、心理職が直接関わるものを中心に、計40時間の実習指導を行った。

- | | | | | |
|---|-----------|-----------|-----|----|
| ① | 10月2日～14日 | 山梨英和大学 | 4年生 | 2名 |
| ② | 11月6日～19日 | 山梨英和大学大学院 | 2年生 | 2名 |

2.3 防災関連

(1) 内容

- ① 避難訓練 毎月1回・年12回(内、深夜の防災訓練1回)
- ② 総合防災訓練 年1回
- ③ 防火管理委員会の開催 年度末を定例とし、必要に応じて収集する。
- ④ 当園の防災対応についての協議・提案する。

(2) 反省

- ① 防災訓練を毎月行っていたが、日没と帰園時間の関係でいつも同じ顔触れになってしまっているため、土日の日中などにも実施していくとより効果の高いものになると感じた。
- ② 毎月、AEDの点検を行っているが、点検日を過ぎて点検を行うことがあった。
- ③ 防災倉庫を新たに設置し、非常用物資の管理の拡充することができた。物資の所在も分かりやすくなった。

- ④ 総合防災訓練を行ったが、コロナ感染症が園内、消防署で発生し、消防署と調整を行ったものの調整がつかず消防署は参加できなかった。ただし、防火管理者が訓練を行い、職員の通報訓練も実施した。
- ⑤ 新しく入職した職員や新たに入所した子どもが増えたこともあり、避難訓練の際に、避難場所が分かっていない職員、子どもがいたので確認をした。
- ⑥ 台風や地震があった際に状況をどこまで日誌に記録するか明確な基準がなく記載するか悩むことがあった。
- ⑦ 分園の防火管理者ももう少し防災業務に携われればよかった。分園の避難訓練など、義務ではないにせよ、実際にやっておかないと有事の際は動けなくなってしまうため、年間計画に組み込み、子どもに教えつつ職員も災害をイメージしながら行える訓練の方法を考えていく。
- ⑧ エントランスやグループ玄関、指導員室などの施錠があいまいになっている場面を見るときが多かった。園全体の防犯意識が薄まっているように感じるため、防災担当からも防犯についての発信をしっかりとすべきだった。

2.4 新型コロナウイルス対策について

- (1) 新型コロナウイルスが第5類に認定されて以降は、毎朝晩に行っていた検温を止めたり、社会情勢にも照らしながらイベント行事も再開しはじめたりしたが、エントランスのアルコール消毒や感染が疑われる場合のマスク着用などは継続とした。
- (2) 子どもや職員がコロナに罹ってしまった場合についても、これまでの経験から速やかに感染対策用の対応を取ることができ、園内やグループ内で感染が拡大するという事態は避けられた。
- (3) 定期的に職員に対して、マスクやアルコール等の完成小対策物品を配布し、日頃から感染対策をしてもらうように促した。

2.5 福利厚生事業の実施

- (1) 職員健康診断の実施（処遇職員は年2回）
- (2) 社会福祉施設従事者相互保険への加入
- (3) 語ろう会（旅行会・食事会）への助成

2.6 その他

- (1) IMSジャパンによる第三者評価を受審した。
- (2) 保護者への「クローバーだより」発行（月1回）
- (3) スーパーバイザーによる児童カウンセリング・職員へのメンタルヘルス実施（月4回）
- (4) 助成金活用・臨時補助金
 - ① 甲州市物価高騰対策支援金
 - ② 福祉施設・医療機関等物価高騰対策光熱費等支援金（山梨県）
 - ③ 福祉施設等物価高騰対策賃上げ支援金（山梨県）
 - ④ 児童養護施設等物価高騰対策消耗品等支援金（山梨県）
 - ⑤ 令和5年度お菓子等支援助成（子どものお菓子助成）
- (5) 個人の方より多大なるご寄付を賜り、子どもたちの自立・娯楽のための「ヒーロー支援金」を創設

苦情受付・対応一覧 (令和5年度)

No. 1

No.	日 時	申立人	内 容	対 応	備考 (その後の様子など)
1					
2					
3					
4					

令和5年度苦情対応案件は0件でした。

第三号第四様式（第二十七条第四項関係）

社会福祉法人 光塩福祉会

<社会福祉事業>

クローバー学園拠点区分貸借対照表

令和 6年 3月31日現在

(単位：円)

令和 6年 3月31日現在									
資 産			の 部		負 債		の 部		
	当年度末	前年度末	増 減		当年度末	前年度末	増 減		
流動資産	80,211,553	72,251,144	7,960,409	流動負債	11,998,069	11,617,473	380,596		
現金預金	57,142,748	37,433,838	19,708,910	事業未払金	4,914,436	5,794,561	-880,115		
事業未収金	22,558,525	26,208,058	-3,649,533	その他の未払金	0	0	0		
未収補助金	510,280	8,609,248	-8,098,968	1年以内返済予定設備資金借入金	3,864,000	3,864,000	0		
立替金	0	0	0	未払費用	0	0	0		
前払費用	0	0	0	預り金	0	0	0		
拠点区分間貸付金	0	0	0	職員預り金	0	0	0		
仮払金	0	0	0	拠点区分間借入金	0	0	0		
貯蔵品	0	0	0	仮受金	0	0	0		
固定資産	392,383,183	379,123,791	13,259,392	固定負債	32,775,760	35,781,230	-3,005,470		
基本財産	219,549,221	228,693,430	-9,144,209	設備資金借入金	18,364,000	22,218,000	-3,864,000		
土地	42,639,764	42,639,764	0	退職給付引当金	14,421,760	13,563,230	858,530		
建物	176,909,457	186,053,716	-9,144,259	負債の部合計	44,773,829	47,398,703	-2,624,874		
その他の固定資産	172,833,962	150,430,311	22,403,651	純 資 産	47,603,250	47,603,250	0		
土地	2,451	2,451	0	基本金	47,603,250	47,603,250	0		
建物	1,359,505	505,051	854,454	国庫補助金等特別積立金	126,968,463	134,948,129	-7,979,666		
構築物	2,776,716	3,291,625	-514,909	その他の積立金	143,149,592	123,149,592	20,000,000		
車輦運搬具	2,800,529	1,598,032	1,202,497	保育所繰越積立金	0	0	0		
器具及び備品	7,684,349	7,688,500	-4,151	人件費積立金	0	0	0		
建設仮勘定	0	0	0	修繕積立金	0	0	0		
権利	0	0	0	備品等購入積立金	0	0	0		
ソフトウェア	0	0	0	保育所施設設備整備等積立金	0	0	0		
退職給付引当資産	14,421,760	13,563,230	858,530	措置施設繰越積立金	143,149,592	123,149,592	20,000,000		
保育所繰越積立資産	0	0	0	人件費積立金	78,500,000	78,500,000	0		
人件費積立資産	0	0	0	修繕積立金	0	0	0		
修繕積立資産	0	0	0	備品等購入積立金	0	0	0		
備品等購入積立資産	0	0	0	設備整備等積立金	64,649,592	44,649,592	20,000,000		
長期前払費用	39,060	31,830	7,230	設備整備活動増減差額	110,099,602	98,275,261	11,824,341		
その他の固定資産	0	0	0	次期繰越活動増減差額	31,824,341	21,904,820	9,919,521		
保育所施設設備整備等積立資産	0	0	0	(うち当期活動増減差額)	0	0	0		
措置施設繰越積立資産	143,149,592	123,149,592	20,000,000						
人件費積立資産	78,500,000	78,500,000	0						
修繕積立資産	0	0	0						
備品等購入積立資産	0	0	0						
設備整備等積立資産	64,649,592	44,649,592	20,000,000						
差入保証金	600,000	600,000	0						
資産の部合計	472,594,736	451,374,935	21,219,801	純 資 産 の 部 合 計	427,820,907	403,976,232	23,844,675		
				負債及び純資産の部合計	472,594,736	451,374,935	21,219,801		

計算書類に対する注記(クローバー学園拠点区分)

1. 重要な会計方針

(1) 有価証券の評価基準及び評価方法
該当事項はありません。

(2) 棚卸資産の評価基準及び評価方法
該当事項はありません。

(3) 固定資産の減価償却の方法

- ・ 有形固定資産 定額法(平成19年3月31日以前に取得したものについては旧定額法)
- ・ 無形固定資産 定額法
- ・ リース資産 該当事項はありません

(4) 引当金の計上基準

退職給付引当金

- ・ 山梨県社会福祉協議会の実施する県退職共済制度に加入している職員に係る掛金納付額のうち法人の負担額に相当する金額を計上しています。

賞与引当金

- ・ 該当事項はありません。

2. 重要な会計方針の変更

該当事項はありません。

3. 採用する退職給付制度

- ・ 山梨県社会福祉協議会の実施する山梨県民間社会福祉事業従事者退職手当等共済制度に加入しています。
- ・ 独立行政法人福祉医療機構の実施する社会福祉施設職員等退職手当共済制度に加入しています。

4. 拠点が作成する計算書類とサービス区分

- ・ 当拠点区分において作成する計算書類等は以下のとおりとなっています。
 - (1) クローバー学園拠点計算書類(会計基準省令第1号第4様式、第2号第4様式、第3号第4様式)
 - (2) クローバー学園拠点区分資金収支明細書(別紙3(㊸))
 - (3) クローバー学園拠点区分事業活動明細書(別紙3(㊹))
- ※当拠点区分においてはサービス区分を設けていないため、上記(2)及び(3)の作成は省略しております。

5. 基本財産の増減の内容及び金額

基本財産の増減の内容及び金額は以下のとおりです。
なお、当期減少額は減価償却費です。

(単位:円)

基本財産の種類	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
土地	42,639,764	0	0	42,639,764
建物	186,053,716	0	9,144,259	176,909,457
合計	228,693,480	0	9,144,259	219,549,221

6. 基本金又は固定資産の売却若しくは処分に係る国庫補助金等特別積立金の取崩し
該当事項はありません。

7. 担保に供している資産

担保に供されている資産は、以下のとおりです。

土地(基本財産)	34,442,460円
建物(基本財産)	176,909,457円
計	220,496,176円

担保している債務の種類及び金額は、以下のとおりです。

設備資金借入金(1年以内返済予定額を含む)	22,218,000円
計	22,218,000円

8. 有形固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高
有形固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は以下のとおりです。
(単位:円)

	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
土地(基本財産)	42,639,764	0	42,639,764
建物(基本財産)	304,225,544	127,316,087	176,909,457
土地(その他の固定資産)	2,451	0	2,451
建物(その他の固定資産)	1,694,422	334,917	1,359,505
構築物	16,204,843	13,428,127	2,776,716
機械及び装置	0	0	0
車両運搬具	7,345,600	4,545,071	2,800,529
器具及び備品	29,286,057	21,601,708	7,684,349
有形リース資産	0	0	0
合 計	401,398,681	167,225,910	234,172,771

9. 債権額、徴収不能引当金の当期末残高、債権の当期末残高
債権額、徴収不能引当金の当期末残高、債権の当期末残高は以下のとおりです。
(単位:円)

	債権額	徴収不能引当金の当期末残高	債権の当期末残高
事業未収金	22,558,525	0	22,558,525
未収補助金	510,280	0	510,280

10. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益
該当事項はありません。

11. 重要な後発事象
該当事項はありません。

12. その他社会福祉法人の資金収支及び純資産増減の状況並びに資産、負債及び純資産の状態を明らかにするために必要な事項
該当事項はありません。

クローバー学園拠点区分資金収支計算書

社会福祉法人 光塩福祉会
＜社会福祉事業＞

（自）令和 5年 4月 1日 （至）令和 6年 3月31日

（単位：円）

勘 定 科 目		予算(A)	決算(B)	差異(A) - (B)	備 考
事業活動による収入	児童福祉事業収入	250,440,000	250,183,073	256,927	
	措置費収入	243,870,000	243,766,792	103,208	
	事務費収入	221,440,000	221,415,500	24,500	
	事業費収入	22,430,000	22,351,292	78,708	
	私的契約利用料収入	0	0	0	
	その他の事業収入	6,570,000	6,416,281	153,719	
	補助金事業収入(公費)	6,350,000	6,209,865	140,135	
	補助金事業収入(一般)	30,000	30,000	0	
	受託事業収入(公費)	180,000	170,216	9,784	
	受託事業収入(一般)	10,000	6,200	3,800	
	その他の事業収入	0	0	0	
	収 保育事業収入	0	0	0	
	委託費収入	0	0	0	
	私的契約利用料収入	0	0	0	
	私立認定保育所利用料収入	0	0	0	
	施設型給付費収入	0	0	0	
	施設型給付費収入	0	0	0	
	利用者負担金収入	0	0	0	
	利用者等利用料収入	0	0	0	
	利用者等利用料収入(公費)	0	0	0	
	利用者等利用料収入(一般)	0	0	0	
	その他の利用料収入	0	0	0	
	その他の事業収入	0	0	0	
	補助金事業収入(公費)	0	0	0	
	補助金事業収入(一般)	0	0	0	
	受託事業収入(公費)	0	0	0	
	受託事業収入(一般)	0	0	0	
	その他の事業収入	0	0	0	
	借入金利息補助金収入	0	0	0	
	經常経費寄附金収入	21,200,000	21,172,480	27,520	
	受取利息配当金収入	10,000	3,061	6,939	
	その他の収入	2,721,680	2,708,846	12,834	
	受入研修費収入	350,000	347,000	3,000	
	利用者等外給食費収入	1,910,000	1,900,850	9,150	
	雑収入	461,680	460,996	684	
	事業活動収入計(1)	274,371,680	274,067,460	304,220	
支出	人件費支出	191,150,000	190,041,757	1,108,243	
	役員報酬支出	0	0	0	
	職員給料支出	103,222,000	102,549,272	672,728	
	職員賞与支出	49,620,000	49,558,038	61,962	
	非常勤職員給与支出	13,788,000	13,573,023	214,977	
	派遣職員費支出	0	0	0	
	退職給付支出	1,320,000	1,318,950	1,050	
	法定福利費支出	23,200,000	23,042,474	157,526	
	事業費支出	26,386,090	25,974,321	411,769	
	給食費支出	6,690,000	6,660,332	29,668	
	保健衛生費支出	360,000	340,682	19,318	
	医療費支出	10,000	0	10,000	
	被服費支出	1,400,000	1,371,188	28,812	
	教養娯楽費支出	1,500,000	1,468,436	31,564	
	日用品費支出	1,550,000	1,513,661	36,339	
	保育材料費支出	10,000	0	10,000	
	本人支給金支出	1,020,000	996,700	23,300	
	水道光熱費支出	6,130,000	6,099,292	30,708	
	燃料費支出	0	0	0	
	消耗器具備品費支出	1,330,000	1,297,284	32,716	
	保険料支出	790,000	766,882	23,118	
	賃借料支出	400,000	392,876	7,124	

クローバー学園拠点区分資金収支計算書

社会福祉法人 光塩福祉会
＜社会福祉事業＞

(自)令和 5年 4月 1日 (至)令和 6年 3月31日

(単位：円)

勘 定 科 目		予算(A)	決算(B)	差異(A)-(B)	備 考
事業活動	教育指導費支出	3,810,000	3,773,342	36,658	
	就職支度費支出	790,000	756,060	33,940	
	葬祭費支出	0	0	0	
	車輛費支出	520,000	480,296	39,704	
	雑支出	76,090	57,290	18,800	
	事務費支出	18,930,000	18,385,850	544,150	
	福利厚生費支出	1,150,000	1,119,366	30,634	
	職員被服費支出	0	0	0	
	旅費交通費支出	320,000	288,833	31,167	
	研修研究費支出	530,000	512,255	17,745	
	事務消耗品費支出	650,000	562,749	87,251	
	印刷製本費支出	80,000	52,529	27,471	
	水道光熱費支出	0	0	0	
	燃料費支出	0	0	0	
	修繕費支出	8,250,000	8,068,209	181,791	
	通信運搬費支出	860,000	838,490	21,510	
	会議費支出	20,000	0	20,000	
	広報費支出	60,000	52,800	7,200	
	業務委託費支出	1,600,000	1,586,060	13,940	
	手数料支出	510,000	493,849	16,151	
	保険料支出	0	0	0	
	賃借料支出	0	0	0	
	土地・建物賃借料支出	4,000,000	3,960,000	40,000	
	租税公課支出	70,000	65,950	4,050	
	保守料支出	620,000	587,040	32,960	
	諸会費支出	140,000	136,000	4,000	
	雑支出	70,000	61,720	8,280	
	支払利息支出	12,150	12,150	0	
	その他の支出	1,910,000	1,900,850	9,150	
	利用者等外給食費支出	1,910,000	1,900,850	9,150	
	雑支出	0	0	0	
	流動資産評価損等による資金減少額	0	0	0	
	徴収不能額	0	0	0	
	事業活動支出計(2)	238,388,240	236,314,928	2,073,312	
	事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)	35,983,440	37,752,532	-1,769,092	
施設整備等による収支	施設整備等補助金収入	0	0	0	
	施設整備等補助金収入	0	0	0	
	設備資金借入金元金償還補助金収入	0	0	0	
	施設整備等寄附金収入	0	0	0	
	施設整備等寄附金収入	0	0	0	
	設備資金借入金元金償還寄附金収入	0	0	0	
	設備資金借入金収入	0	0	0	
	その他の施設整備等による収入	0	0	0	
	その他の施設整備等による収入	0	0	0	
	施設整備等収入計(4)	0	0	0	
	設備資金借入金元金償還支出	3,864,000	3,864,000	0	
	固定資産取得支出	4,850,000	4,747,429	102,571	
	土地取得支出	0	0	0	
	建物取得支出	960,000	957,810	2,190	
	車輛運搬具取得支出	1,650,000	1,644,770	5,230	
	器具及び備品取得支出	2,230,000	2,137,619	92,381	
	構築物取得支出	0	0	0	
	機械及び装置取得支出	0	0	0	
	建設仮勘定取得支出	0	0	0	
	権利取得支出	0	0	0	
	ソフトウェア取得支出	0	0	0	
	その他の固定資産取得支出	10,000	7,230	2,770	
	固定資産除却・廃棄支出	0	0	0	

クローバー学園拠点区分資金収支計算書

社会福祉法人 光塩福祉会
＜社会福祉事業＞

(自)令和 5年 4月 1日 (至)令和 6年 3月31日

(単位:円)

勘 定 科 目		予算(A)	決算(B)	差異(A)-(B)	備 考
その 他 の 活 動 に よ る 収 支	ファイナンス・リース債務の返済支出	0	0	0	
	その他の施設整備等による支出	0	0	0	
	その他の施設整備等による支出	0	0	0	
	施設整備等支出計(5)	8,714,000	8,611,429	102,571	
	施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)	-8,714,000	-8,611,429	-102,571	
	積立資産取崩収入	28,320	28,450	-130	
	退職給付引当資産取崩収入	28,320	28,450	-130	
	長期預り金積立資産取崩収入	0	0	0	
	保育所繰越積立資産取崩収入	0	0	0	
	保育所施設設備整備等積立資産取崩収入	0	0	0	
	措置施設繰越積立資産取崩収入	0	0	0	
	拠点区分間繰入金収入	0	0	0	
	その他の活動による収入	0	0	0	
	長期前払費用収入	0	0	0	
	その他の活動による収入	0	0	0	
	その他の活動収入計(7)	28,320	28,450	-130	
出	積立資産支出	21,497,760	21,489,740	8,020	
	退職給付引当資産支出	1,497,760	1,489,740	8,020	
	長期預り金積立資産支出	0	0	0	
	保育所繰越積立資産支出	0	0	0	
	保育所施設設備整備等積立資産支出	0	0	0	
	措置施設繰越積立資産支出	20,000,000	20,000,000	0	
	拠点区分間繰入金支出	100,000	100,000	0	
	その他の活動による支出	0	0	0	
	長期前払費用支出	0	0	0	
	その他の活動支出計(8)	21,597,760	21,589,740	8,020	
その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8)		-21,569,440	-21,561,290	-8,150	
予備費支出(10)		0		0	
当期資金収支差額合計(11)=(3)+(6)+(9)-(10)		5,700,000	7,579,813	-1,879,813	
前期末支払資金残高(12)		-5,700,000	64,497,671	-70,197,671	
当期末支払資金残高(11)+(12)		0	72,077,484	-72,077,484	

クローバー学園拠点区分事業活動計算書

社会福祉法人 光塩福祉会
＜社会福祉事業＞

（自）令和 5年 4月 1日 （至）令和 6年 3月31日

（単位：円）

勘 定 科 目		当年度決算 (A)	前年度決算 (B)	増減 (A) - (B)
サ ー ビ ス 活 動 増 減 の 部	児童福祉事業収益	250,183,073	236,777,858	13,405,215
	措置費収益	243,766,792	227,467,164	16,299,628
	事務費収益	221,415,500	206,077,640	15,337,860
	事業費収益	22,351,292	21,389,524	961,768
	私的契約利用料収益	0	0	0
	その他の事業収益	6,416,281	9,310,694	-2,894,413
	補助金事業収益(公費)	6,209,865	9,159,912	-2,950,047
	補助金事業収益(一般)	30,000	30,000	0
	受託事業収益(公費)	170,216	72,782	97,434
	受託事業収益(一般)	6,200	48,000	-41,800
	その他の事業収益	0	0	0
	保育事業収益	0	0	0
	委託費収益	0	0	0
	私的契約利用料収益	0	0	0
	私立認定保育所利用料収益	0	0	0
	施設型給付費収益	0	0	0
	施設型給付費収益	0	0	0
	利用者負担金収益	0	0	0
	利用者等利用料収益	0	0	0
	利用者等利用料収益(公費)	0	0	0
	利用者等利用料収益(一般)	0	0	0
	その他の利用料収益	0	0	0
	その他の事業収益	0	0	0
	補助金事業収益(公費)	0	0	0
	補助金事業収益(一般)	0	0	0
	受託事業収益(公費)	0	0	0
	受託事業収益(一般)	0	0	0
	その他の事業収益	0	0	0
サ ー ビ ス 活 動 増 減 の 部	経常経費寄附金収益	21,172,480	2,406,956	18,765,524
	その他の収益	0	843,060	-843,060
	サービス活動収益計(1)	271,355,553	240,027,874	31,327,679
	人件費	191,503,047	176,729,410	14,773,637
	役員報酬	0	0	0
	職員給料	102,549,272	92,361,444	10,187,828
	職員賞与	49,558,038	42,348,498	7,209,540
	賞与引当金繰入	0	0	0
	非常勤職員給与	13,573,023	16,854,176	-3,281,153
	派遣職員費	0	0	0
	退職給付費用	2,780,240	3,442,960	-662,720
	法定福利費	23,042,474	21,722,332	1,320,142
	事業費	25,974,321	27,992,342	-2,018,021
	給食費	6,660,332	6,508,283	152,049
	保健衛生費	340,682	413,500	-72,818
	医療費	0	0	0
	被服費	1,371,188	1,751,621	-380,433
	教養娯楽費	1,468,436	1,102,571	365,865
	日用品費	1,513,661	2,161,872	-648,211
	保育材料費	0	0	0
	本人支給金	996,700	980,300	16,400
	水道光熱費	6,099,292	6,072,395	26,897
	燃料費	0	0	0
	消耗器具備品費	1,297,284	3,492,477	-2,195,193
	保険料	766,882	740,620	26,262
	賃借料	392,876	77,256	315,620
	教育指導費	3,773,342	3,524,584	248,758
	就職支度費	756,060	672,300	83,760
用	葬祭費	0	0	0
	車輦費	480,296	331,705	148,591
	雑費	57,290	162,858	-105,568
	事務費	18,385,850	13,967,641	4,418,209
	福利厚生費	1,119,366	1,036,139	83,227
	職員被服費	0	0	0

クローバー学園拠点区分事業活動計算書

社会福祉法人 光塩福祉会
＜社会福祉事業＞

（自）令和 5年 4月 1日 （至）令和 6年 3月31日

（単位：円）

勘 定 科 目		当年度決算 (A)	前年度決算 (B)	増減 (A) - (B)
	旅費交通費	288,833	213,501	75,332
	研修研究費	512,255	315,861	196,394
	事務消耗品費	562,749	2,438,981	-1,876,232
	印刷製本費	52,529	101,632	-49,103
	水道光熱費	0	0	0
	燃料費	0	0	0
	修繕費	8,068,209	3,854,918	4,213,291
	通信運搬費	838,490	676,727	161,763
	会議費	0	0	0
	広報費	52,800	11,000	41,800
	業務委託費	1,586,060	1,165,300	420,760
	手数料	493,849	563,324	-69,475
	保険料	0	0	0
	賃借料	0	0	0
	土地・建物賃借料	3,960,000	2,601,200	1,358,800
	租税公課	65,950	17,350	48,600
	保守料	587,040	770,658	-183,618
	諸会費	136,000	133,000	3,000
	雑費	61,720	68,050	-6,330
	減価償却費	12,346,563	11,990,846	355,717
	国庫補助金等特別積立金取崩額(減価償却)	-7,979,665	-11,920,666	3,941,000
	徴収不能額	0	0	0
	徴収不能引当金繰入	0	0	0
	その他の費用	0	0	0
	サービス活動費用計(2)	240,230,115	218,759,573	21,470,542
	サービス活動増減差額(3)=(1)-(2)	31,125,438	21,268,301	9,857,137
サ ー ビ ス 活 動 外 増 減 の 部	借入金利息補助金収益	0	0	0
	受取利息配当金収益	3,061	2,738	323
	その他のサービス活動外収益	2,708,846	2,659,564	49,282
	受入研修費収益	347,000	295,400	51,600
	利用者等外給食収益	1,900,850	1,911,700	-10,850
	雑収益	460,996	452,464	8,532
	サービス活動外収益計(4)	2,711,907	2,662,302	49,605
	支払利息	12,150	14,082	-1,932
	その他のサービス活動外費用	1,900,850	1,911,700	-10,850
	利用者等外給食費	1,900,850	1,911,700	-10,850
サ ー ビ ス 活 動 外 増 減 の 部	雑損失	0	0	0
	サービス活動外費用計(5)	1,913,000	1,925,782	-12,782
	サービス活動外増減差額(6)=(4)-(5)	798,907	736,520	62,387
	経常増減差額(7)=(3)+(6)	31,924,345	22,004,821	9,919,524
特 別 増 減 の 部	施設整備等補助金収益	0	6,735,316	-6,735,316
	施設整備等補助金収益	0	6,735,316	-6,735,316
	設備資金借入金元金償還補助金収益	0	0	0
	施設整備等寄附金収益	0	0	0
	施設整備等寄附金収益	0	0	0
	設備資金借入金元金償還寄附金収益	0	0	0
	固定資産受贈増	0	0	0
	固定資産受贈増	0	0	0
	拠点区分間繰入金収益	0	0	0
	拠点区分間固定資産移管収益	0	0	0
	その他の特別収益	0	0	0
	徴収不能引当金戻入益	0	0	0
	その他の特別収益	0	0	0
	特別収益計(8)	0	6,735,316	-6,735,316
	基本金組入額	0	0	0
	資産評価損	0	0	0
	固定資産売却損・処分損	4	1	3
	土地売却損・処分損	0	0	0
	建物売却損・処分損	0	0	0
	車両運搬具売却損・処分損	0	0	0
	器具及び備品売却損・処分損	4	1	3

クローバー学園拠点区分事業活動計算書

社会福祉法人 光塩福祉会
＜社会福祉事業＞

（自）令和 5年 4月 1日 （至）令和 6年 3月31日

（単位：円）

勘 定 科 目		当年度決算 (A)	前年度決算 (B)	増減 (A) - (B)
費 用	構築物売却損・処分損	0	0	0
	機械及び装置売却損・処分損	0	0	0
	権利売却損・処分損	0	0	0
	ソフトウェア売却損・処分損	0	0	0
	その他の固定資産売却損・処分損	0	0	0
	国庫補助金等特別積立金取崩額(除却等)	0	0	0
	国庫補助金等特別積立金積立額	0	6,735,316	-6,735,316
	拠点区分間繰入金費用	100,000	100,000	0
	拠点区分間固定資産移管費用	0	0	0
	その他の特別損失	0	0	0
特 別 費 用 計(9)		100,004	6,835,317	-6,735,313
特別増減差額(10)=(8)-(9)		-100,004	-100,001	-3
当期活動増減差額(11)=(7)+(10)		31,824,341	21,904,820	9,919,521
繰越活動増減差額	前期繰越活動増減差額(12)	98,275,261	86,370,441	11,904,820
	当期末繰越活動増減差額(13)=(11)+(12)	130,099,602	108,275,261	21,824,341
	基本金取崩額(14)	0	0	0
	その他の積立金取崩額(15)	0	0	0
	その他の積立金積立額(16)	20,000,000	10,000,000	10,000,000
	措置施設繰越特定積立金積立額	20,000,000	10,000,000	10,000,000
	次期繰越活動増減差額(17)=(13)+(14)+(15)-(16)	110,099,602	98,275,261	11,824,341

2023(令和5)年度
事業報告

社会福祉法人 光塩福祉会
保育所型認定こども園
塩山愛育園

令和5年度 事業報告

認定こども園 塩山愛育園

保育園の運営 定員 125 1号認定 15 人 2号・3号認定 110 人

県感染症に負けないやまなしの保育環境実現のための対策ガイドライン
保育・幼児教育関連施設向け 様々な感染症対応に沿いながら感染症の対策に取り組んでいく。

当園では、施設内での感染症対策を創意工夫しながら徹底するとともに、家庭内感染の予防に向けた保護者との連携した取り組み、子どもの日常をできる限り奪わずに健やかな成長を支えることを見守りました。適切な感染予防策をとり、それを外部に表明することで、感染症に負けない保育環境を整備していきました。ガイドラインに沿いながら、感染症対策に必要な主な項目をチェックリスト方式を活用。

目標として掲げたものとして

- 1)施設関係者の役割と連携
- 2)持ち込まないための対策
- 3)感染を拡大させないための対策
- 4)行事・イベントの短縮実施
- 5)感染症の疑い時や発生時の対策

1)施設関係者の役割と連携

① 管理者の責務

□ 管理者は、体調不良の職員が無理せず休みをとったり受診したりすることができるよう、職場内外からの応援体制の確保など、業務継続計画を定めている。また、職員が体調不良を申し出しやすい雰囲気づくりに努めている。

□ 管理者は、職員に衛生知識や感染対策を学ぶ機会を定期的に提供している。

② 職員の行動

□ 職員は、どうしたら子どもを感染症から守れるか、また、どうしたら子どもの日常をできる限り奪わずに健やかな成長を支えていくことができるか、という意識を常に持ち、関係者との意見交換や、感染症対策を実行している。

□ 職員は、マスク着用や三密を回避した行動はもとより、勤務の内外を問わず、高い意識を持って感染防止のための行動を心がけ、自身の行動を記録している。

□ 職員は、毎日、体温や呼吸器症状、倦怠感などについて、自身の体調を記録している。また、同居家族の体温計測も行い、発熱等の異常がないか確認している。

□ 職員は、県内で流行している感染症を、サーベイランスデータ等をもとに把握し、保護者に対して説明することができる。

□ 職員は、新型コロナウイルス感染症のほか、各感染症に関する症状や予防策を理解し、保護者に対して説明することができる。(はしか、インフルエンザ、風しん、水ぼうそう、溶連菌感染症、ウイルス性胃腸炎(ノロウイルス、ロタウイルス等)、RSウイルス感染症等)

□ 職員は、感染経路別(飛沫感染、接触感染、経口感染など)の対策を理解し、保護者に対して説明することができる。

□ 職員は、子どもの症状を見るポイントや発熱時の対応、下痢、嘔吐、咳などの時の対応を理解し、適時適切に行動することができる。

□ 職員は、医療従事者等への敬意・感謝を忘れず、その子どもに対する偏見や差別が生じないよう、感染症に関する正しい知識の取得と定期的な情報発信を行っている。

□ 感染症に対する恐怖など、ストレスを抱えた子どもの心の健康の変化に留意し、普段と様子の異なる子どもへの声かけや傾聴に努めている。

③ 各家庭との連携

□ 保護者に対して家庭での感染予防法などに関する情報を定期的に発信し、感染症に対する共通理解や、子どもの免疫力を高める取り組み(十分な睡眠、適度な運動、バランスの取れた食事など)や新しい生活様式の実践等について協力を求め、家庭と連携しながら健康教育を行っている。

□ 子どもの体調や症状の変化等を的確に記録し発熱があつた場合も別室にて看護師が看まもっている。

□ 子どもの体調や症状の変化等を的確に記録・把握することが重要であるため、土日祝日も含め、健康チェックカードへの記録を保護者に依頼している。また、発熱等の体調不良が認められる場合には、施設の利用を控えるよう依頼している。

□ 感染者及び濃厚接触者並びに医療従事者等への偏見や差別が生じないよう配慮を依頼している。(感染

者や濃厚接触者を責めない、確かな情報に基づく冷静な行動を促すなど)

④ 子どもへの教育

□ ポスターの掲示等を通じて、咳エチケットやティッシュ・タオルの使い方、正しい手の洗い方を繰り返し指導している。

□ 手洗いの習慣をしっかりと身に付けさせ、登園時、飲み物やおやつ・食事の前後、鼻水やよだれが手に付着している時、遊具やおもちゃ遊びの後、野外活動の後などに、励行させている。

□ トイレや手洗い場、遊具等の順番待ちでは、子ども同士の間隔をあけて待つよう指導している。

□ マスクを着用できる年齢の子どもには、正しい装着方法や外し方を指導している。なお、子どものマスク着用については、一律の着用は求めず、一人一人の発達状況や体調、熱中症などの健康被害のほか、活動の場面に留意しながら判断している。

○ 子どもについては、子ども一人ひとりの発達の状況を踏まえる必要がある2) 持ち込まないための対策

① 子ども及び職員の体調確認

□ 子ども及び職員の体調を確認し、発熱(例えば平熱より1度以上)や、軽度であっても風邪症状(せきやのどの痛みなど)、嘔吐・下痢等の症状の確認

□ 登園時の発熱の有無を非接触式体温計で計測し、当日保護者から提出された健康チェックカードで体調に異常がないことを確認

□ 職員と保護者間の連絡事項は、連絡帳、掲示板、メール等を活用する

3) 感染を拡大させないための対策

□ 玄関、各教室の出入口などの動線上に、手指消毒液を設置している。(ただし、手荒れ等の者には無理に利用を勧めず、保湿クリームも用意する。また、手指消毒液が子どもの目に入らないよう、プッシュ式のものは設置位置を低くしたり、ジェルタイプのもをを選定するなど配慮する。)

□ 複数の人の手が触れる場所(テーブル、椅子の背もたれ、ドアノブ、手すり、トイレの便座や洗浄レバーなど)を、定期的に清拭消毒している。(次亜塩素酸ナトリウム水溶液の空間噴霧は行わない。)

※参考: 県ホームページ【参考様式】清掃・消毒チェック表

□ 歯ブラシやコップは個人専用とし、他の子のものを誤って使用させたり、保管時に他の子のものと接触させたりしないようにしている。また、タオルについても共有はせず、個人専用のもの又は使い捨てペーパータオルを使用している。

□ おもちゃは、衛生管理しやすいものを選んでいる。また、おもちゃの収納は、使用の前後でボックスを分け、使用後は消毒をしている。

□ 季節に合わせた適切な室温や湿度に留意しながら、定期的に外気を取り入れる換気を行っている。

【保育室環境のめやす】室温: 夏26～28℃、冬20～23℃、湿度: 60 %

□ 窓が1つしかない部屋は、ドアを開け、扇風機やサーキュレーターなどを活用している。

□ 冬期は、2段階換気の実施や、外からの気流が直接子どもに当たらないよう配慮するなど、急激な室温変化を抑える工夫をしている。

□ 子どもが、近距離で向かい合わないよう活動内容を工夫している。

□ 食事の際には、席の配置を工夫し、対面を避け、子ども同士の間隔をあけている。また、スペースの問題などで対面になってしまう場合は、互い違いに配置している。

□ 動線の工夫などにより室内で過度に人が密集する機会を減らしている。(手洗い場など、子どもが並ぶ場所の床にラインを引くなど)

□ 特定の遊具等に子どもが集中しないよう、遊び場を分散させる工夫をしている。

□ 歌を歌う場合は、換気を行いながら、できる限り一人一人の間隔を空け、人のいる方向に口が向かないように配慮している。

□ 午睡は、衛生的な寝具を使用するとともに、隣の子と口元をできる限り離すよう、配置を工夫している。また、こまめに換気を行っている。

□ 園バスは、乗車前の手すり等の清拭消毒や、間隔を空けての乗車、定期的な換気に努めている

4) 行事・イベントの実施

□ 地域における感染症の流行状況や、個々の行事・イベントの態様(密集度合いや外部の者との交流、接触・飛沫感染の可能性、飲食の有無など)を総合的に勘案しながら、その都度、開催の可否や実施方法の工夫について検討を行っている。

□ 狭い空間での活動や、体の接触を伴う活動など、感染リスクの高い行事・イベントは控えている。

□ 親子行事を開催する場合は、子どもだけでなく、保護者についても発熱の有無を非接触式体温計で計測したり、健康チェックカードを提出してもらい、体調に異常がないことを十分に確認している。

また、保護者に対して、マスク着用や咳エチケットをはじめ、基本的な感染対策の徹底について協力要請し、承諾を得た上で参加してもらっている。

□ 不特定の者が参加することがないよう、入場者を記録したり、観覧許可の交付を行っている。

□ 水遊びは、着替えも含め、一度に活動する人数を調整するなど、密集する状況を作らないよう工夫している。

□ 園外散歩などで、子どもが手をつないで歩道等を移動する場合は、つないだ手を目や鼻、口に持って行かないよう、また、安全面も含め横を向いて話をしたりしないよう指導をしている。また、アルコール消毒液等を携

行し、適宜、子どもの手洗いや手指消毒を行っている。

- 運動会を行う場合は、通常の感染対策に加え以下の内容を実施している。
- 密になりやすい種目は、実施しない、又はフェイスシールド等を着けて行う、参加人数を分散させるなどの工夫・配慮をしている。
- 使用する用具の消毒を徹底している。
- 競技前の子どもの集合場所などでは、間隔をあけて整列させ、密にならないことを徹底している。
- 演技の後など、適宜、子どもの手洗いや手指消毒を行っている。
- 応援席は、密にならないよう工夫・配慮をしている。(保護者の入場開始時間を分散させる、応援席や写真撮影エリアの間隔をあける、写真撮影エリアへの動線を一方通行にするなど)
- 保護者や子どもに対し、大声での応援は行わないよう注意喚起を徹底している。
- トイレや手洗い場に、順番待ちのラインを引くなど、混雑緩和対策を講じている。
- 感染症の流行状況を踏まえ、プログラムを短縮して昼食時間を設けない、又は、家族間で十分な距離を確保して昼食を取る等の対策を講じている。
- 保護者説明会・入園式・卒園式・等の屋内イベントを行う場合は、通常の感染対策に加え以下の内容を実施している。
- 会場内は、椅子の間隔をできる限り空けるなど、参加者間の距離を十分に確保している。
- 消毒液の設置やこまめな換気、使用用具の消毒等の感染症対策を徹底している。
- イベントの内容を精査し、実施時間の短縮などを検討している。

(例)卒園式の場合、祝辞の割愛、式辞等の文書での配付、卒園証書を代表の子どもへの授与とする など

5) 感染症の疑い時や発生時の対策

子どもや職員が感染した場合又は感染者の濃厚接触者と特定された場合に迅速に対応できるよう、市町村担当課や保健所、嘱託医などの関係機関との連絡体制表を作成している。

○ 感染症対策としての消毒については、保健所の指示に従い、施設の消毒を行ってください。

○ 感染した子ども等に対して、偏見が生じないよう、人権に配慮した対応が必要です。また、休園に際し子どもや保護者に過度の不安を生じさせないために、新型コロナウイルス感染症について正しい認識や感染症対策を含めた理解を深められるよう情報提供を行う。

- 子どもや保護者、職員が濃厚接触者と特定された場合やPCR検査を受けた場合には、速やかに施設に報告するよう保護者に依頼している。
- 施設内で発熱等の体調不良児が発生した場合、その子どもが安全に帰宅できるまでの間、他の者との接触を避けられる待機室を用意している。(手洗い、換気ができる部屋が望ましい。)
- 体調不良児に対応する職員自身が感染しないため、専用のエプロンやサージカルマスク、使い捨て手袋等を用意している。

年齢別、月別入所児童数(各月初日現在)

0	0	0歳		1歳		2歳			3歳			4歳			5歳			小計			合計	
		標準	短時間	標準	短時間	満3	標準	短時間	1号	標準	短時間	1号	標準	短時間	1号	標準	短時間	1号	標準	短時間	106	120
4	市内	6	1	12	4	0	12	5	8	16	2	5	12	0	1	20	2	14	78	14		
	市外	0	0	4	0	0	0	0	0	3	1	0	2	0	0	4	0	0	13	1		
	0	6	1	16	4	0	12	5	8	19	3	5	14	0	1	24	2	14	91	15		
5	市内	6	1	13	3	1	12	4	8	16	2	5	12	0	2	20	2	16	79	12	106	122
	市外	1	0	4	0	0	0	0	0	3	1	0	2	0	0	4	0	0	14	1		
	0	7	1	17	3	1	12	4	8	19	3	5	14	0	2	24	2	16	93	13		
6	市内	8	0	13	3	1	13	3	8	17	1	5	12	0	2	21	1	16	84	8	107	123
	市外	1	0	4	0	0	0	0	0	3	1	0	2	0	0	4	0	0	14	1		
	0	9	0	17	3	1	13	3	8	20	2	5	14	0	2	25	1	16	98	9		
7	市内	8	0	13	3	1	13	3	8	17	1	5	12	0	2	21	1	16	84	8	107	123
	市外	1	0	4	0	0	0	0	0	3	1	0	2	0	0	4	0	0	14	1		
	0	9	0	17	3	1	13	3	8	20	2	5	14	0	2	25	1	16	98	9		
8	市内	9	0	13	3	1	12	3	8	17	1	5	12	0	2	22	1	16	85	8	108	124
	市外	1	0	4	0	0	1	0	0	3	1	0	2	0	0	3	0	0	14	1		
	0	10	0	17	3	1	13	3	8	20	2	5	14	0	2	25	1	16	99	9		
9	市内	11	1	14	3	2	11	3	8	17	2	5	12	0	2	21	2	17	86	11	111	128
	市外	1	0	4	0	0	1	0	0	2	1	0	2	0	0	3	0	0	13	1		
	0	12	1	18	3	2	12	3	8	19	3	5	14	0	2	24	2	17	99	12		
10	市内	12	1	14	3	2	10	4	8	16	2	5	12	0	2	20	3	17	84	13	111	128
	市外	0	0	4	0	0	1	0	0	3	1	0	2	0	0	3	0	0	13	1		
	0	12	1	18	3	2	11	4	8	19	3	5	14	0	2	23	3	17	97	14		
11	市内	12	1	13	4	2	10	4	8	16	2	5	12	0	2	19	4	17	82	15	111	128
	市外	0	0	4	0	0	1	0	0	3	1	0	2	0	0	3	0	0	13	1		
	0	12	1	17	4	2	11	4	8	19	3	5	14	0	2	22	4	17	95	16		
12	市内	12	1	13	4	2	10	4	8	15	3	5	12	0	2	19	4	17	81	16	111	128
	市外	0	0	4	0	0	1	0	0	3	1	0	2	0	0	3	0	0	13	1		
	0	12	1	17	4	2	11	4	8	18	4	5	14	0	2	22	4	17	94	17		
1	市内	13	0	14	3	2	11	3	8	14	4	5	12	0	2	19	4	17	83	14	111	128
	市外	0	0	4	0	0	1	0	0	3	1	0	2	0	0	3	0	0	13	1		
	0	13	0	18	3	2	12	3	8	17	5	5	14	0	2	22	4	17	96	15		
2	市内	13	0	13	4	2	11	3	8	14	4	5	12	0	2	20	4	17	83	15	111	128
	市外	0	0	4	0	0	1	0	0	3	1	0	2	0	0	2	0	0	12	1		
	0	13	0	17	4	2	12	3	8	17	5	5	14	0	2	22	4	17	95	16		
3	市内	13	0	13	4	2	11	3	8	14	4	5	12	0	2	20	4	17	83	15	111	128
	市外	0	0	4	0	0	1	0	0	3	1	0	2	0	0	2	0	0	12	1		
	0	13	0	17	4	2	12	3	8	17	5	5	14	0	2	22	4	17	95	16		
合計	市内	123	6	158	41	18	136	42	96	189	28	60	144	0	23	242	32	197	992	149	1311	1508
	市外	5	0	48	0	0	8	0	0	35	12	0	24	0	0	38	0	0	158	12		
	0	128	6	206	41	18	144	42	96	224	40	60	168	0	23	280	32	197	1150	161		

職員の状況

保育日数 1号

保育日数 2号・3号

園 長	1 名
副園長	1 名
主幹保育教諭	2 名
専門リーダー	7 名
職務分野別リーダー	4 名
保育教諭	4 名
非常勤保育士	2 名
短時間保育士	5 名
栄養士	3 名
看護師	2 名
合 計	31 名

4 月	20 日	10月	20 日
5 月	20 日	11月	20 日
6 月	20 日	12月	20 日
7 月	20 日	1 月	19 日
8 月	20 日	2 月	19 日
9 月	20 日	3 月	20 日
		合 計	238 日

4 月	24 日	10月	25 日
5 月	24 日	11月	24 日
6 月	26 日	12月	24 日
7 月	25 日	1 月	23 日
8 月	25 日	2 月	23 日
9 月	24 日	3 月	25 日
		合 計	292 日

長期休暇

8月23日から19日 12月29日から1月3日 3月25日から31日

安全管理

1)交通安全指導	市の交通指導員による指導(年 9 回)
2)避難訓練	避難訓練年間計画表に沿って実地(毎月)
3)不審者対応訓練	マニュアルに基づいた訓練を実地
4)AEDの設置	玄関ホール設置
5)乳幼児呼吸チェック	毎日目視にてチェック表に記載

健康管理

・健康診断	年2回 (5月24日・25日 10月19日・26日)1回を2日に分けて行った
・歯科検診	年2回 (6月7日・12月14日)
・検 尿	年2回 (5月10日・11月11日)
・身体測定	(毎 月) 各クラスごと

保健衛生管理

- ・感染症対応マニュアルに基づいた対応とマニュアルの見直しを定期的に行う

主な行事

7月8日	納 涼 祭	コロナ前同様に感染対策に注意しながら北小学校の校庭で行った
10月7日	運 動 会	塩山北小学校校庭にて全園児と家族の人数を限定し、半日の予定で日常保育の運動発表を行った
10月22日	およっちょい祭り	地位との交流とマーチングを披露した
12月8日	クリスマス お遊戯会	感染対策を十分に考慮し、甲州市民文化ホール大ホールにてお遊戯、器楽等の保育発表を行った
6月	誕 生 会	環境設定を十分考慮し保護者の参加のもと誕生会と懇談会をクラスごとに行った 給食の試食は以上児各クラスごとに土曜日に行った。
9月		
11月		
2月		

交流保育

日 付	対 象 者	内 容
5月29日	塩山市民病院	花の日・ふたば組の園児代表が日頃の感謝の気持ちを伝え、花を渡した。
6月5日	塩山消防署	花の日・花組が消防署の職員に感謝の言葉を伝え花を渡し消防士の仕事内容について知
5月26日	恵信ケアセンター	花の日・ふたば組の代表が日頃お世話になっている病院に感謝の気持ちを伝える。
	甲州市役所	花の日・星組が市長さんや、市役所の仕事を知り感謝の気持ちと共に、製作物とお花をプ レゼントした。
2月19日	地 域	人形劇こんぺいとう

補助金

	事 業 名	経 費	補 助 金 額	内 容
甲 州 市	1歳児保育事業	2,204,376	2,025,400	認定こども園における特別保育を推進するため、特別保 育に従事する保育士等の雇用に要する経費等の助成を 受け、地域社会の要望に即した保育体制の確立および 児童福祉の向上に寄与
甲 州 市	延長保育	479,032	300,000	延長30分保育所における延長保育事業を円滑に実施 し、乳幼児及び児童の福祉向上を図った。
甲 州 市	病児保育	4,955,245	4,496,000	(体調不良児対応型) 在園児が体調不良になったとき にお迎えが来るまで専属看護師が対応
甲 州 市	障害児保育	1,065,000	740,000	対象児童数 1名
笛 吹 市	障害児保育		148,000	対象児童数 1名
甲 州 市	一時預かり事 業(一般型)	2,783,846	2,438,000	一時的に家庭での保育が困難な場合や地域の子育て応 援。個々の状況に応じた保育事業
甲 州 市	一時預かり事 業(幼稚園型)	1,261,667	1,254,000	在園児の1号認定児について預かり時間を超えての保育 事業

食に関する取り組み

- 1) アレルギー対応の実地個人面談・除去食対応
- 2) 年間食育計画に基づいた取り組みの実地
- 3) 授乳・離乳の各児の成長を基本とした離乳食
- 4) 給食衛生管理マニュアルに基づいた対応

食 育・体験型環境学習事業

4 月	春おめでどう給食・ラディッシュ種まき
5 月	こいのぼり給食・野菜の種まき苗植え等・サツマイモ苗植え・そらまね収穫とさや剥き体験(そら豆ご飯)
6 月	玉ねぎの収穫・玉ねぎの皮むき
7 月	かき氷屋さん・七夕給食・じゃがいも堀り・バター作り・トウモロコシの皮むき・野菜の収穫
8 月	だしのお話・野菜の収穫・野菜のまるかじり・旬を味わう・ゼリーづくり
9 月	非常食試食・ さつま芋の収穫(ふかしイモ、てんぷら、スイートポテト作り)・ドレッシング作り
10 月	玉ねぎの苗植え・祖父母交流会(どら焼き作り)
11 月	大根堀り・ふろ吹き大根 餅つき体験(もち米がお持ちになるまで)・豚汁作り・桔露柿皮むき体験
12 月	クリスマス給食・鏡餅飾り・桔露柿を使ったクッキング・米粉クッキング
1 月	七草がゆ・繭玉作り・手ばかり体験
2 月	節分の日給食・雪だるまおにぎり・おやつクッキング
3 月	ひな祭り給食・星組リクエスト給食・わくわくレストラン

アレルギー相談

組	日付	対応者	アレルギー	内容
ほし (5歳児)	4月28日	母	クルミ ピーカン ナッツ	除去対象だが園では提供しないので自宅からの誤食を想定常備薬あり アナフィラキシーショックあり エピペン所持 反応が出た場合母へ連絡
たんぽぽ (1歳児)	9月19日	母	卵	5月にスクランブルエッグを少量食べてじんま疹が出た。 12/20負荷試験卵の完全除去開始常備薬あり
	3月27日	母	卵	卵白0.3g自宅負荷 8月に負荷試験予定 卵完全除去継続 常備薬あり
たんぽぽ (1歳児)	3月15日	母	卵・乳	3/13受信にて乳解除 10月に卵の負荷試験を行う。 卵完全除去継続 常備薬あり
ふたば (3歳児)	7月20日	母	卵・トマト	病院にて、卵白の負荷試験を実施。0.2gでぐったりしはじめる⇒0.3gでぐったりし、腹痛を発症。
	9月28日	母	卵・トマト	9月21日の血液検査の結果報告。卵は数値は前回より下がる。トマトは、高くはないが、除去継続。
	3月17日	母	卵・トマト	卵・トマトの完全除去 継続。R5年7月に卵の負荷試験予定。卵が落ち着いたら、トマトの負荷試験を検討していく。アンパンマンスティックパン1.5本から2本まで摂取できている。
たんぽぽ (1歳児)	3月26日	母	卵	卵完全除去継続 常備薬あり
すみれ (2歳児)	3月15日	母	卵・乳	牛乳—6mg 卵—黄身クリア 9月に受診予定 卵・乳とも園では完全除去
ふたば (3歳児)	3月25日	母	ピーナッツ	園での提供はないが自宅で摂取してしまった場合に備える 負荷試験なし
ふたば (3歳児)	3月15日	母	小麦	小麦完全除去 継続。4月に病院にて負荷試験予定。週3程度5g摂取が可能となり、引き続き家庭での負荷を実施していく。 園でピーフンを食べ上唇が腫れる病院受診し結果報告をもらう

研修計画

保育教諭等には、自分自身の資質の向上を意識し、業務に必要な基本知識や技能を高め、専門性を高める意識を持ち、研修で学んだことを日々の保育に活かしていく必要がある。資質・専門性の向上を図るとともに、互いに学び合い、相互理解が求められる研修計画を策定し実施する。

1・園内研修

《研修の目的・内容》

- ・園の年間保育内容及び指導計画について確認し、同じ目標を持って保育を行う
- ・新型コロナウイルス対応緩和を踏まえた対応や行事の検討を行う
- ・子どもたちにとって適切な保育が行えるよう研修し、自分の保育を見つめ直す機会とする
- ・園行事について話し合い、職員が同じ意識を持って行えるようにする
- ・アレルギー児、熱性けいれん経歴児、特別な配慮を要する児に対応する力を身につける
- ・自己評価の実施(保育の見直しと次年度の目標の検討)
- ・マナー講座を行い、保護者との信頼関係を築いていく対応の方法を学ぶ

《実施記録》

- R5.4.1 認定こども園保育内容及び指導計画書について
自己評価チェック表について
マナー講座
- R5.4.10 年間行事の担当について
給食試食会について
親子遠足について
幹事役員の運動会手伝いについて
- R5.5.19 アレルギー児の対応確認とエビペン使用方法
納涼祭について
花組 給食試食会について
- R5.6.6 納涼祭について(内容・子どもの製作物)
- R5.6.27 プールでの救命救急方法(実演)
AED設置施設・使用方法
- R5.7.12 納涼祭の反省
- R5.8.8 運動会について(種目・曲等の検討)
熱中症対策の検討
- R5.9.11 研修報告「乳幼児の食べる機能について」
アレルギー児の誤食防止対応
運動会について
園での怪我及び医療機関受診時の対応について
置き去り事件の注意喚起と出席していない園児への対応について
嘔吐物処理方法の確認
体調不良児の別室保育対応について
- R5.10.3 運動会について
- R5.10.19 運動会の反省
- R5.11.7 おゆうぎ会について
- R6.1.17 新年度について(教材の検討)
- R6.3.12 自己評価について(次年度の目標の検討)
入園式について
新年度職員について
不適切保育についての研修

2・園外研修

《研修の目的・内容》

- ・園外の研修を通して、保育教諭等に求められる人間性と専門性を高めていく
- ・自分自身の資質の向上を意識し、業務に必要な基本知識や技能を高める

《実施記録》

- R5.4.7 山梨県：世界自閉症啓発デー・発達障害啓発週間普及啓発事業(相川)
「発達障害への理解を深めるセミナー」(ZOOM)
- R5.5.11 「新人が育つ指導のコツやポイント」(オンライン) (前村・深澤)
- R5.5.15 甲州市保育連合会
「SDGsの基礎を学ぶ～今、私たちにできること～」(ZOOM)
- R5.5.25 やまなし幼児教育センター：保幼小連携教育研修会 (小野)
「幼児教育と小学校教育それぞれから見た深いつながり～ともに育てる保幼小連携教育～」
- R5.5.31 甲州市保育連合会 園長視察研修 北杜市ぐうたら村 (岡(理)・山下)
- R5.6.15 やまなし幼児教育センター：幼稚園・保育所等リスク管理研修会(三科)
「子どもの安全をどう守る？幼児教育現場の課題とリスクマネジメント」
- R5.6.24 「不適切な保育とはどのようなことか (山下)
～保育の専門職としての関わりと環境を見直す～」
- R5.6.29 峡東地域 子育て講演会 (橋田)
「あなたの子育て、がんばり過ぎていませんか？」セルフチェックで振り返ってみよう
- R5.7.13 山梨県感染症知識普及啓発事業 (古屋(可)・岡(小))
業種別感染症対策研修【講義】(ZOOM)
- R5.8.1 山梨県女子体育連盟主催 マスゲーム講習会 (田邊・佐藤)
- R5.8.25 学校における新型コロナウイルス感染症5類移行後の傾向と対(守屋)
- R5.9.2 山梨県児童福祉施設栄養士会スキルアップ研修会 (守屋・波多)
乳幼児の食べる機能について考える「食べる」って学ぶこと？
- R5.9.6 山梨県感染症知識普及啓発事業 (古屋(可)・岡(小))
業種別感染症対策研修【講義】(ZOOM)
- R5.9.7 やまなし幼児教育センター：幼稚園・保育所等子育て支援研修会(大竹)
「幼稚園・保育所におけるこれからの子育て支援」
- R5.9.14 幼稚園・保育所等特別支援教育研修会 (丸山(実))
「障害のある子どもの理解と支援～組織的な取組と関係機関との連携～」
- R5.9.26 やまなし幼児教育センター：幼稚園・保育所等管理職研修会 (岡(理))
「チームで取り組む不適切保育の防止」
- R5.10.16 療育関係者研修会 (丸山(愛))
「子どもの発達の凸凹を保護者にどう伝えるか～伝えた後の繋ぎ方～」
- R5.10.27 やまなし幼児教育センター：幼稚園・保育所評価と改善研修会 (檜村)
「明日の保育につながる保育の評価と改善」
- R5.11.20 母子保健従事者研修会 (手塚・波多)
「アレルギー疾患に関する基礎知識～食物アレルギーの理解と緊急時の対応について～」
- R5.11.25 山梨県国際保育推進研修 (小岩)
「外国人のことを知ろう～山梨県の現状、文化・慣習、外国人の本音」
- R5.12.12 山梨県国際保育推進研修 (小岩)
「現場の声を聞こう～各地の外国ルーツ園児対応」
- R6.1.16 山梨県国際保育推進研修 (小岩)
「課題を深掘りしよう～グループワーク」
- R6.2.6 甲州市幼児教育推進協議会 (檜村・小野)
「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」
- R6.2.8 山梨県国際保育推進研修 (小岩)
「支援ツールを作ってみよう」
- R6.2.27 給食施設従事者研修会 (手塚)
「給食施設における衛生管理について」
「給食施設の栄養管理について」
「給食施設の役割について」
- R6.2.29 保育士の働き方相談セミナー (小岩)
「発達が気になる子の保育」

3. 保育士等キャリアアップ研修

令和6年度はインターネットを利用したeラーニング(オンデマンド方式)での研修受講

①乳児保育

R6.3.25 民間保育士等キャリアアップ研修(堀内めぐみ)

R6.3.25 民間保育士等キャリアアップ研修(古屋可南子)

②幼児保育

R6.3.25 民間保育士等キャリアアップ研修(佐藤静来)

③障害児保育

R6.3.25 民間保育士等キャリアアップ研修(丸山実来)

R6.3.25 民間保育士等キャリアアップ研修(丸山愛)

R6.3.25 民間保育士等キャリアアップ研修(岡小百合)

④食物・アレルギー

R6.3.25 民間保育士等キャリアアップ研修(堀内めぐみ)

R6.3.25 民間保育士等キャリアアップ研修(岡小百合)

R6.3.25 民間保育士等キャリアアップ研修(守屋美鈴)

R6.3.25 民間保育士等キャリアアップ研修(手塚和子)

⑤保健衛生・安全対策

R6.3.25 民間保育士等キャリアアップ研修(小岩枝理子)

R6.3.25 民間保育士等キャリアアップ研修(深澤香美)

R6.3.25 民間保育士等キャリアアップ研修(橘田紗希)

R6.3.25 民間保育士等キャリアアップ研修(守屋美鈴)

R6.3.25 民間保育士等キャリアアップ研修(古屋可南子)

⑥保護者・子育て支援

R6.3.25 民間保育士等キャリアアップ研修(雨宮和美)

R6.3.25 民間保育士等キャリアアップ研修(小岩枝理子)

R6.3.25 民間保育士等キャリアアップ研修(小野茜)

4・委員会活動

(1) 事故防止委員会

安全な保育環境を確保するため、子どもの年齢、場所、活動内容に留意し、
事故の発生防止に取り組む

(2) 虐待委員会

虐待防止意識の向上や知識を周知し、虐待に繋がらないような支援方法を学ぶ

(3) 感染症・保健衛生委員会

子ども達及び職員の安全及び健康の確保のために施設内外の保健的環境の
維持及び向上に努める

(4) アレルギー・病歴委員会

アレルギー対応に関する知識・理解を深め適切に対応できるようにする

子育て相談受付

	相談の種類		相談内容				計
	来訪	電話	育児 しつけ 家庭生活	健康 性格 特性	言葉 あそび 集団生活	その他	
4月	1		1				1
5月	1			1			1
6月	2		2				2
7月	1				1		1
8月	2		2				2
9月	1		1				1
10月							
11月							
12月	1		1				1
1月							
2月	2		2				2
3月	1		1				1
計	12		10	1	1		12

5・その他の活動

交通安全教室	5/9 6/9 7/24 9/14 10/23 11/7 12/22 1/12 2/16 3/11	全 0日
ダンス	5/16 6/20 7/26 8/22 10/18 11/1 11/28 12/5 3/13	全 9日
スイミング	4/13 4/20 5/18 5/25 6/1 6/8 6/22 7/20 9/14 9/21	
	10/12 10/26 11/2 11/9 12/14 12/21 1/18 1/25 2/15 2/22 3/7 3/14	全 12日
英語教室	4/12 4/19 4/26 5/10 5/17 5/24 6/7 6/21 6/28 7/12 8/30 9/27 10/11 10/18 10/25	
	11/8 11/26 12/13 12/20 1/10 1/17 1/24 2/21 2/28 3/6 3/13	全 16日
体育教室	4/18 5/23 6/6 7/11 8/22 9/19 9/26 11/21 12/12 1/9 2/13 3/12	全 2日
マーチング指導	2/20	
親子遠足	5/15	
ひまわり訪問	5/17 7/13 9/15 10/13 11/24 1/17 3/6	全 7日
つつじヶ崎訪問	7/28 8/31 10/25 12/21 2/16 3/12	全 6回
巡回訪問	7/14	
幼保小ケース会議	7/26 8/1 8/2 8/3 1/25 2/13 2/27 3/11	全 8回
架け橋プログラム	6/27 6/28	
北小学校見学訪問	2/21	
マジックショー	7/25	
人形劇	2/19	
食生活推進委員訪	1/26	
さちかぜ号	1/31	
卒業証書作り	2/6	
おしろらんど園外夜	6/29 9/4 10/16	
絵本の日	4/27 5/19 6/2 10/30 11/10 12/21 1/5 2/16 3/14	全 9回

第三号第四様式（第二十七条第四項関係）

社会福祉法人 光塩福祉会

塩山愛育園拠点区分貸借対照表

令和 6年 3月31日現在

(単位：円)

令和6年3月31日現在

資 産	の 部		増 減	負 債	の 部		増 減
	当年度末	前年度末			当年度末	前年度末	
流動資産	76,068,081	56,319,432	9,748,649	流動負債	15,955,013	10,291,133	5,663,880
現金預金	43,153,072	43,704,071	-550,999	事業未払金	7,650,391	3,111,914	4,538,477
事業未収金	29,510,045	16,322,245	13,187,800	その他の未払金	0	0	0
未収補助金	3,404,964	6,293,116	-2,888,152	1年以内返済予定設備資金借入金	5,376,000	5,376,000	0
立替金	0	0	0	未払費用	0	0	0
前払費用	0	0	0	預り金	0	0	0
拠点区分間貸付金	0	0	0	職員預り金	2,928,622	1,803,219	1,125,403
仮払金	0	0	0	拠点区分間借入金	0	0	0
貯蔵品	0	0	0	仮受金	0	0	0
固定資産	278,742,821	283,033,099	-4,290,278	固定負債	53,254,830	53,888,470	-633,640
基本財産	185,889,820	193,205,269	-7,315,449	設備資金借入金	43,456,000	48,832,000	-5,376,000
土地	55,219,036	55,219,036	0	退職給付引当金	9,798,830	10,056,470	-257,640
建物	130,670,784	137,986,233	-7,315,449	負債の部合計	69,209,843	69,179,603	30,240
その他の固定資産	92,853,001	89,827,830	3,025,171	純 資 産			
土地	0	0	0	基本金	76,267,884	76,267,884	0
建物	0	0	0	国庫補助金等特別積立金	50,784,200	54,626,478	-3,842,278
構築物	8,011,477	7,054,610	956,867	その他の積立金	69,000,000	69,000,000	0
車両運搬具	2	2	0	保育所繰越積立金	13,000,000	13,000,000	0
器具及び備品	6,020,992	3,695,048	2,325,944	人件費積立金	13,000,000	13,000,000	0
建設仮勘定	0	0	0	修繕積立金	0	0	0
権利	0	0	0	備品等購入積立金	0	0	0
ソフトウェア	0	0	0	保育所施設整備等積立金	56,000,000	56,000,000	0
退職給付引当資産	9,798,830	10,056,470	-257,640	措置施設繰越積立金	0	0	0
保育所繰越積立資産	13,000,000	13,000,000	0	人件費積立金	0	0	0
人件費積立資産	13,000,000	13,000,000	0	修繕積立金	0	0	0
修繕積立資産	0	0	0	備品等購入積立金	0	0	0
備品等購入積立資産	0	0	0	設備整備等積立金	0	0	0
長期前払費用	0	0	0	設備整備等積立金	90,548,975	81,278,566	9,270,409
その他の固定資産	21,700	21,700	0	次期繰越活動増減差額	9,270,409	8,015,766	1,254,643
保育所施設整備等積立資産	56,000,000	56,000,000	0	(うち当期活動増減差額)			
措置施設繰越積立資産	0	0	0				
人件費積立資産	0	0	0				
修繕積立資産	0	0	0				
備品等購入積立資産	0	0	0				
設備整備等積立資産	0	0	0				
差入保証金	0	0	0				
資産の部合計	354,810,902	349,352,531	5,458,371	純 資 産 の 部 合 計	285,601,069	280,172,928	5,428,131
				負債及び純資産の部合計	354,810,902	349,352,531	5,458,371

計算書類に対する注記(塩山愛育園拠点区分)

1. 重要な会計方針

(1) 有価証券の評価基準及び評価方法
該当事項はありません。

(2) 棚卸資産の評価基準及び評価方法
該当事項はありません。

(3) 固定資産の減価償却の方法
・有形固定資産 定額法(平成19年3月31日以前に取得したものについては旧定額法)
・無形固定資産 定額法
・リース資産 該当事項はありません

(4) 引当金の計上基準
退職給付引当金

- ・山梨県社会福祉協議会の実施する県退職共済制度に加入している職員に係る掛金納付額のうち法人の負担額に相当する金額を計上しています。
- ・当園で実施する退職金制度に加入している職員に係る園負担額に相当する金額を計上しています。

賞与引当金

- ・該当事項はありません。

2. 重要な会計方針の変更
該当事項はありません。

3. 採用する退職給付制度

- ・山梨県社会福祉協議会の実施する山梨県民間社会福祉事業従事者退職手当等共済制度に加入しています。
- ・塩山愛育園拠点の退職金規程に基づく制度を採用しています。
- ・独立行政法人福祉医療機構の実施する社会福祉施設職員等退職手当共済制度に加入しています。

4. 拠点が作成する計算書類とサービス区分

- ・当拠点区分において作成する計算書類等は以下のとおりとなっています。
 - (1) 塩山愛育園拠点計算書類(会計基準省令第1号第4様式、第2号第4様式、第3号第4様式)
 - (2) 塩山愛育園拠点区分資金収支明細書(別紙3(Ⅱ))
 - (3) 塩山愛育園拠点区分事業活動明細書(別紙3(Ⅲ))
 ※当拠点区分においてはサービス区分を設けていないため、上記(2)及び(3)の作成は省略しております。

5. 基本財産の増減の内容及び金額

基本財産の増減の内容及び金額は以下のとおりです。
なお、当期減少額は減価償却費です。

(単位:円)

基本財産の種類	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
土地	55,219,036	0	0	55,219,036
建物	137,986,233	0	7,315,449	130,670,784
合計	193,205,269	0	7,315,449	185,889,820

6. 基本金又は固定資産の売却若しくは処分に係る国庫補助金等特別積立金の取崩し
該当事項はありません。

7. 担保に供している資産

担保に供されている資産は、以下のとおりです。

土地(基本財産)	55,219,036円
建物(基本財産)	130,670,784円
計	193,205,269円

担保している債務の種類及び金額は、以下のとおりです。

設備資金借入金(1年以内返済予定額を含む)	48,832,000円
計	48,832,000円

8. 有形固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高
有形固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は以下のとおりです。
(単位:円)

	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
土地(基本財産)	55,219,036	0	55,219,036
建物(基本財産)	236,604,156	105,933,372	130,670,784
土地(その他の固定資産)	0	0	0
建物(その他の固定資産)	0	0	0
構築物	23,942,214	15,930,737	8,011,477
機械及び装置	0	0	0
車輛運搬具	4,218,460	4,218,458	2
器具及び備品	27,886,887	21,865,895	6,020,992
有形リース資産	0	0	0
合 計	347,870,753	147,948,462	199,922,291

9. 債権額、徴収不能引当金の当期末残高、債権の当期末残高
債権額、徴収不能引当金の当期末残高、債権の当期末残高は以下のとおりです。
(単位:円)

	債権額	徴収不能引当金 の当期末残高	債権の当期末残高
事業未収金	29,510,045	0	29,510,045
未収補助金	3,404,964	0	3,404,964

10. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益
該当事項はありません。
11. 重要な後発事象
該当事項はありません。
12. その他社会福祉法人の資金収支及び純資産増減の状況並びに資産、負債及び純資産の状態を明らかにするために必要な事項
該当事項はありません。

塩山愛育園拠点区分資金収支計算書

社会福祉法人 光塩福祉会
＜社会福祉事業＞

(自)令和 5年 4月 1日 (至)令和 6年 3月31日

(単位：円)

勘 定 科 目		予算(A)	決算(B)	差異(A)-(B)	備 考
事業活動による収入支	児童福祉事業収入	0	0	0	
	措置費収入	0	0	0	
	事務費収入	0	0	0	
	事業費収入	0	0	0	
	私的契約利用料収入	0	0	0	
	その他の事業収入	0	0	0	
	補助金事業収入(公費)	0	0	0	
	補助金事業収入(一般)	0	0	0	
	受託事業収入(公費)	0	0	0	
	受託事業収入(一般)	0	0	0	
	その他の事業収入	0	0	0	
	収 保育事業収入	188,480,000	188,636,670	-156,670	
	委託費収入	0	0	0	
	私的契約利用料収入	0	0	0	
	私立認定保育所利用料収入	0	0	0	
	施設型給付費収入	168,100,000	168,377,360	-277,360	
	施設型給付費収入	160,000,000	160,302,560	-302,560	
	利用者負担金収入	8,100,000	8,074,800	25,200	
	利用者等利用料収入	4,280,000	4,246,000	34,000	
	利用者等利用料収入(公費)	800,000	789,600	10,400	
	利用者等利用料収入(一般)	3,480,000	3,447,000	33,000	
	その他の利用料収入	0	9,400	-9,400	
	その他の事業収入	16,100,000	16,013,310	86,690	
	補助金事業収入(公費)	6,900,000	6,812,400	87,600	
	補助金事業収入(一般)	0	0	0	
	受託事業収入(公費)	8,800,000	8,801,000	-1,000	
	受託事業収入(一般)	400,000	399,910	90	
	その他の事業収入	0	0	0	
	借入金利息補助金収入	491,564	491,564	0	
	経常経費寄附金収入	0	0	0	
	受取利息配当金収入	2,436	2,030	406	
	その他の収入	106,000	121,500	-15,500	
	受入研修費収入	20,000	15,000	5,000	
	利用者等外給食費収入	0	0	0	
	雑収入	86,000	106,500	-20,500	
	事業活動収入計(1)	189,080,000	189,251,764	-171,764	
	支 人件費支出	142,838,000	142,421,359	416,641	
	役員報酬支出	0	0	0	
	職員給料支出	81,610,000	81,605,948	4,052	
	職員賞与支出	30,360,000	30,245,405	114,595	
	非常勤職員給与支出	10,640,000	10,633,092	6,908	
	派遣職員費支出	0	0	0	
	退職給付支出	1,998,000	1,964,100	33,900	
	法定福利費支出	18,230,000	17,972,814	257,186	
	事業費支出	18,670,000	17,627,604	1,042,396	
	給食費支出	7,600,000	7,511,268	88,732	
	保健衛生費支出	600,000	518,722	81,278	
	医療費支出	0	0	0	
	被服費支出	0	0	0	
	教養娯楽費支出	0	0	0	
	日用品費支出	0	0	0	
	保育材料費支出	2,500,000	2,308,758	191,242	
	本人支給金支出	0	0	0	
	水道光熱費支出	3,700,000	3,461,885	238,115	
	燃料費支出	0	0	0	
	消耗器具備品費支出	2,100,000	1,789,635	310,365	
	保険料支出	600,000	579,910	20,090	
	賃借料支出	1,400,000	1,313,608	86,392	

塩山愛育園拠点区分資金収支計算書

社会福祉法人 光塩福祉会
＜社会福祉事業＞

(自) 令和 5 年 4 月 1 日 (至) 令和 6 年 3 月 31 日

(単位：円)

勘 定 科 目		予算(A)	決算(B)	差異(A)-(B)	備 考
事業活動	教育指導費支出	0	0	0	
	就職支度費支出	0	0	0	
	葬祭費支出	0	0	0	
	車輦費支出	100,000	82,818	17,182	
	雑支出	70,000	61,000	9,000	
	事務費支出	13,552,436	12,831,502	720,934	
	福利厚生費支出	800,000	717,190	82,810	
	職員被服費支出	130,000	113,924	16,076	
	旅費交通費支出	90,000	70,522	19,478	
	研修研究費支出	120,000	96,296	23,704	
	事務消耗品費支出	50,000	38,007	11,993	
	印刷製本費支出	40,000	0	40,000	
	水道光熱費支出	0	0	0	
	燃料費支出	0	0	0	
	修繕費支出	9,000,000	8,681,897	318,103	
	通信運搬費支出	200,000	187,612	12,388	
	会議費支出	20,000	19,552	448	
	広報費支出	110,000	105,600	4,400	
	業務委託費支出	1,500,000	1,374,950	125,050	
	手数料支出	300,000	270,475	29,525	
	保険料支出	0	0	0	
	賃借料支出	0	0	0	
	土地・建物賃借料支出	370,000	367,020	2,980	
	租税公課支出	0	0	0	
	保守料支出	700,000	668,757	31,243	
	諸会費支出	0	0	0	
	雑支出	122,436	119,700	2,736	
	支払利息支出	491,564	491,564	0	
	その他の支出	650,000	647,370	2,630	
	利用者等外給食費支出	0	0	0	
	雑支出	650,000	647,370	2,630	
	流動資産評価損等による資金減少額	0	0	0	
	徴収不能額	0	0	0	
	事業活動支出計(2)	176,202,000	174,019,399	2,182,601	
	事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)	12,878,000	15,232,365	-2,354,365	
施設整備等による収支	施設整備等補助金収入	0	0	0	
	施設整備等補助金収入	0	0	0	
	設備資金借入金元金償還補助金収入	0	0	0	
	施設整備等寄附金収入	0	0	0	
	施設整備等寄附金収入	0	0	0	
	設備資金借入金元金償還寄附金収入	0	0	0	
	設備資金借入金収入	0	0	0	
	その他の施設整備等による収入	0	0	0	
	その他の施設整備等による収入	0	0	0	
	施設整備等収入計(4)	0	0	0	
	設備資金借入金元金償還支出	5,376,000	5,376,000	0	
	固定資産取得支出	7,050,000	5,342,536	1,707,464	
	土地取得支出	0	0	0	
	建物取得支出	0	0	0	
	車輦運搬具取得支出	0	0	0	
	器具及び備品取得支出	4,550,000	3,242,536	1,307,464	
	構築物取得支出	2,500,000	2,100,000	400,000	
	機械及び装置取得支出	0	0	0	
	建設仮勘定取得支出	0	0	0	
	権利取得支出	0	0	0	
	ソフトウェア取得支出	0	0	0	
	その他の固定資産取得支出	0	0	0	
	固定資産除却・廃棄支出	0	0	0	

塩山愛育園拠点区分資金収支計算書

社会福祉法人 光塩福祉会
＜社会福祉事業＞

(自)令和 5年 4月 1日 (至)令和 6年 3月31日

(単位：円)

勘 定 科 目		予算(A)	決算(B)	差異(A)-(B)	備 考
ファイナンス・リース債務の返済支出 その他の施設整備等による支出 その他の施設整備等による支出 施設整備等支出計(5) 施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)	ファイナンス・リース債務の返済支出	0	0	0	
	その他の施設整備等による支出	0	0	0	
	その他の施設整備等による支出	0	0	0	
	施設整備等支出計(5)	12,426,000	10,718,536	1,707,464	
	施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)	-12,426,000	-10,718,536	-1,707,464	
積立資産取崩収入 退職給付引当資産取崩収入 長期預り金積立資産取崩収入 保育所繰越積立資産取崩収入 保育所施設設備整備等積立資産取崩収入 措置施設繰越積立資産取崩収入 拠点区分間繰入金収入 その他の活動による収入 長期前払費用収入 その他の活動による収入 その他の活動収入計(7)	積立資産取崩収入	948,000	940,600	7,400	
	退職給付引当資産取崩収入	948,000	940,600	7,400	
	長期預り金積立資産取崩収入	0	0	0	
	保育所繰越積立資産取崩収入	0	0	0	
	保育所施設設備整備等積立資産取崩収入	0	0	0	
	措置施設繰越積立資産取崩収入	0	0	0	
	拠点区分間繰入金収入	0	0	0	
	その他の活動による収入	0	0	0	
	長期前払費用収入	0	0	0	
	その他の活動による収入	0	0	0	
その他の活動による収入 その他の活動収入計(7)	その他の活動収入計(7)	948,000	940,600	7,400	
積立資産支出 退職給付引当資産支出 長期預り金積立資産支出 保育所繰越積立資産支出 保育所施設設備整備等積立資産支出 措置施設繰越積立資産支出 拠点区分間繰入金支出 その他の活動による支出 長期前払費用支出 その他の活動支出計(8) その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8)	積立資産支出	1,300,000	1,269,660	30,340	
	退職給付引当資産支出	1,300,000	1,269,660	30,340	
	長期預り金積立資産支出	0	0	0	
	保育所繰越積立資産支出	0	0	0	
	保育所施設設備整備等積立資産支出	0	0	0	
	措置施設繰越積立資産支出	0	0	0	
	拠点区分間繰入金支出	100,000	100,000	0	
	その他の活動による支出	0	0	0	
	長期前払費用支出	0	0	0	
	その他の活動支出計(8)	1,400,000	1,369,660	30,340	
予備費支出(10) 当期資金収支差額合計(11)=(3)+(6)+(9)-(10)	その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8)	-452,000	-429,060	-22,940	
	予備費支出(10)	0	0	0	
	当期資金収支差額合計(11)=(3)+(6)+(9)-(10)	0	4,084,769	-4,084,769	
前期末支払資金残高(12) 当期末支払資金残高(11)+(12)	前期末支払資金残高(12)	0	61,404,299	-61,404,299	
	当期末支払資金残高(11)+(12)	0	65,489,068	-65,489,068	

塩山愛育園拠点区分事業活動計算書

社会福祉法人 光塩福祉会
＜社会福祉事業＞

(自) 令和 5年 4月 1日 (至) 令和 6年 3月31日

(単位：円)

勘 定 科 目		当年度決算 (A)	前年度決算 (B)	増減 (A) - (B)
収 益	児童福祉事業収益	0	0	0
	措置費収益	0	0	0
	事務費収益	0	0	0
	事業費収益	0	0	0
	私的契約利用料収益	0	0	0
	その他の事業収益	0	0	0
	補助金事業収益(公費)	0	0	0
	補助金事業収益(一般)	0	0	0
	受託事業収益(公費)	0	0	0
	受託事業収益(一般)	0	0	0
	その他の事業収益	0	0	0
	保育事業収益	188,636,670	166,522,591	22,114,079
	委託費収益	0	0	0
	私的契約利用料収益	0	0	0
	私立認定保育所利用料収益	0	0	0
	施設型給付費収益	168,377,360	152,246,631	16,130,729
	施設型給付費収益	160,302,560	143,896,430	16,406,130
	利用者負担金収益	8,074,800	8,350,201	-275,401
	利用者等利用料収益	4,246,000	4,137,580	108,420
	利用者等利用料収益(公費)	789,600	778,380	11,220
	利用者等利用料収益(一般)	3,447,000	3,359,200	87,800
サ ー ビ ス 活 動 増 減 の 部 費 用	その他の利用料収益	9,400	0	9,400
	その他の事業収益	16,013,310	10,138,380	5,874,930
	補助金事業収益(公費)	6,812,400	5,750,480	1,061,920
	補助金事業収益(一般)	0	0	0
	受託事業収益(公費)	8,801,000	4,220,000	4,581,000
	受託事業収益(一般)	399,910	167,900	232,010
	その他の事業収益	0	0	0
	経常経費寄附金収益	0	0	0
	その他の収益	0	0	0
	サービス活動収益計(1)	188,636,670	166,522,591	22,114,079
	人件費	142,750,419	127,041,800	15,708,619
	役員報酬	0	0	0
	職員給料	81,605,948	73,713,712	7,892,236
	職員賞与	30,245,405	27,004,095	3,241,310
	賞与引当金繰入	0	0	0
	非常勤職員給与	10,633,092	8,161,195	2,471,897
	派遣職員費	0	0	0
	退職給付費用	2,293,160	2,229,980	63,180
	法定福利費	17,972,814	15,932,818	2,039,996
	事業費	17,627,604	16,271,303	1,356,301
	給食費	7,511,268	6,427,610	1,083,658
	保健衛生費	518,722	432,308	86,414
	医療費	0	0	0
	被服費	0	0	0
	教養娯楽費	0	0	0
	日用品費	0	0	0
	保育材料費	2,308,758	1,192,105	1,116,653
	本人支給金	0	0	0
	水道光熱費	3,461,885	4,205,364	-743,479
	燃料費	0	0	0
	消耗器具備品費	1,789,635	2,204,638	-415,003
	保険料	579,910	606,980	-27,070
	賃借料	1,313,608	1,085,392	228,216
	教育指導費	0	0	0
	就職支度費	0	0	0
	葬祭費	0	0	0
	車両費	82,818	65,506	17,312
	雑費	51,000	51,400	9,600
	事務費	12,831,502	9,605,188	3,226,314
	福利厚生費	717,190	348,136	369,054
	職員被服費	113,924	12,012	101,912

塩山愛育園拠点区分事業活動計算書

社会福祉法人 光塩福祉会
＜社会福祉事業＞

（自）令和 5年 4月 1日 （至）令和 6年 3月31日

（単位：円）

勘 定 科 目		当年度決算 (A)	前年度決算 (B)	増減 (A) - (B)
サービス活動外増減の部	旅費交通費	70,522	8,680	61,842
	研修研究費	96,296	120,268	-23,972
	事務消耗品費	38,007	35,683	2,324
	印刷製本費	0	0	0
	水道光熱費	0	0	0
	燃料費	0	0	0
	修繕費	8,681,897	6,264,120	2,417,777
	通信運搬費	187,612	198,084	-10,472
	会議費	19,552	20,053	-501
	広報費	105,600	112,200	-6,600
	業務委託費	1,374,950	1,182,940	192,010
	手数料	270,475	192,630	77,845
	保険料	0	0	0
	賃借料	0	0	0
	土地・建物賃借料	367,020	367,020	0
	租税公課	0	0	0
	保守料	668,757	584,062	84,695
	諸会費	0	0	0
	雑費	119,700	159,300	-39,600
	減価償却費	9,375,169	9,333,368	41,801
	国庫補助金等特別積立金取崩額（減価償却）	-3,842,278	-3,849,708	7,430
	徴収不能額	0	0	0
	徴収不能引当金繰入	0	0	0
	その他の費用	0	0	0
	サービス活動費用計(2)	178,742,416	158,401,951	20,340,465
	サービス活動増減差額(3)=(1)-(2)	9,894,254	8,120,640	1,773,614
サービス活動増減の部	借入金利息補助金収益	491,564	542,636	-51,072
	受取利息配当金収益	2,030	1,754	276
	その他のサービス活動外収益	121,500	52,500	69,000
	受入研修費収益	15,000	39,000	-24,000
	利用者等外給食収益	0	0	0
	雑収益	106,500	13,500	93,000
	サービス活動外収益計(4)	615,094	596,890	18,204
	支払利息	491,564	542,636	-51,072
	その他のサービス活動外費用	647,370	21,627	625,743
	利用者等外給食費	0	0	0
特別増減の部	雑損失	647,370	21,627	625,743
	サービス活動外費用計(5)	1,138,934	564,263	574,671
	サービス活動外増減差額(6)=(4)-(5)	-523,840	32,627	-556,467
	経常増減差額(7)=(3)+(6)	9,370,414	8,153,267	1,217,147
	施設整備等補助金収益	0	1,414,000	-1,414,000
	施設整備等補助金収益	0	1,414,000	-1,414,000
	設備資金借入金元金償還補助金収益	0	0	0
	施設整備等寄附金収益	0	0	0
	施設整備等寄附金収益	0	0	0
	設備資金借入金元金償還寄附金収益	0	0	0
特別増減の部	固定資産受贈増	0	0	0
	固定資産受贈増	0	0	0
	拠点区分間繰入金収益	0	0	0
	拠点区分間固定資産移管収益	0	0	0
	その他の特別収益	0	0	0
	徴収不能引当金戻入益	0	0	0
	その他の特別収益	0	0	0
	特別収益計(8)	0	1,414,000	-1,414,000
	基本金組入額	0	0	0
	資産評価損	0	0	0
特別増減の部	固定資産売却損・処分損	5	37,501	-37,496
	土地売却損・処分損	0	0	0
	建物売却損・処分損	0	0	0
	車両運搬具売却損・処分損	0	0	0
	器具及び備品売却損・処分損	5	37,501	-37,496

塩山愛育園拠点区分事業活動計算書

社会福祉法人 光塩福祉会
＜社会福祉事業＞

（自）令和 5年 4月 1日 （至）令和 6年 3月31日

（単位：円）

勘 定 科 目		当年度決算 (A)	前年度決算 (B)	増減 (A) - (B)
費	構築物売却損・処分損	0	0	0
	機械及び装置売却損・処分損	0	0	0
	権利売却損・処分損	0	0	0
	ソフトウェア売却損・処分損	0	0	0
	その他の固定資産売却損・処分損	0	0	0
	国庫補助金等特別積立金取崩額(除却等)	0	0	0
	国庫補助金等特別積立金積立額	0	1,414,000	-1,414,000
	拠点区分間繰入金費用	100,000	100,000	0
	拠点区分間固定資産移管費用	0	0	0
	その他の特別損失	0	0	0
特 別 費 用 計(9)		100,005	1,551,501	-1,451,496
特別増減差額(10)=(8)-(9)		-100,005	-137,501	37,496
当期活動増減差額(11)=(7)+(10)		9,270,409	8,015,766	1,254,643
繰越活動増減差額	前期繰越活動増減差額(12)	81,278,566	73,262,800	8,015,766
	当期末繰越活動増減差額(13)=(11)+(12)	90,548,975	81,278,566	9,270,409
	基本金取崩額(14)	0	0	0
	その他の積立金取崩額(15)	0	0	0
	その他の積立金積立額(16)	0	0	0
次期繰越活動増減差額(17)=(13)+(14)+(15)-(16)		90,548,975	81,278,566	9,270,409

財 産 目 録

別紙 4

令和 6 年 3月31日現在

社会福祉法人 光塩福祉会

(単位: 円)

貸借対照表科目	場 所 ・ 物 量 等	取得年度	使 用 目 的 等	取得価額	減価償却累計額	貸借対照表価額
I 資産の部						
1 流動資産						
現金預金						
現金預金	山梨中央銀行 塩山支店仙		運転資金として			101,762,885
事業未収金	3月分施設型給付費等					52,068,570
未収補助金	令和5年度法外扶助費精算分等					3,915,244
流動資産合計						157,746,699
2 固定資産						
(1) 基本財産						
土地	(塩山愛育園) 甲州市塩山上於曾1217 (クローバー学園) 甲州市塩山上塩後462		第2種社会福祉事業であるこども園施設等に 使用している 第1種社会福祉事業である児童養護施設等に 使用している			55,219,086
						42,639,164
小 計						97,858,250
建物	(塩山愛育園) 甲州市塩山上於曾1217 (クローバー学園) 甲州市塩山上塩後462	2012年度 2011年度	第2種社会福祉事業であるこども園施設等に 使用している 第1種社会福祉事業である児童養護施設等に 使用している	236,604,156 304,225,544	105,933,372 121,315,087	130,670,784 176,909,457
小 計						307,580,241
基本財産合計						405,438,491
(2) その他の固定資産						
土地	(クローバー学園) 甲州市塩山上塩後463-4 (クローバー学園)	2020年度	第1種社会福祉事業である児童養護施設等に 使用している 第1種社会福祉事業である児童養護施設等に 使用している	1,694,422	334,917	1,359,505
建物	甲州市塩山上於曾117-2		アルミ板金物仙 園児等送迎用	40,147,067 11,554,060	29,856,864 8,763,529	10,788,193 2,800,531
構築物	甲州市塩山上於曾1217他		第1種、第2種社会福祉事業である児童養護施設、こども園施設等に使用している	67,172,944	43,467,603	13,705,341
車両運搬具	園バス他5台		将来における職員の退職金支給のために積み立てている			31,205,090
器具及び備品	園用他		将来における職員の退職金支給のために積み立てている			3,015,500
退職給付引当資産(県社協)	山梨県社会福祉協議会		将来における職員の人件費のために積み立てている定期預金			13,000,000
退職給付引当資産(自園)	園独自制度		将来における施設設備整備のために積み立てている定期預金			56,000,000
保育所繰越積立資産	山梨中央銀行 塩山支店		将来における職員の人件費及び設備整備のために積み立てている定期預金			143,149,592
保育所施設設備整備等積立資産	山梨中央銀行 塩山支店		児童養護施設(分園)における敷金			600,000
措置施設繰越積立資産	山梨中央銀行 塩山支店		自動車リサイクル預託金			60,160
差入保証金	自動車リサイクル促進センター					265,685,963
その他の固定資産						671,126,004
その他の固定資産合計						828,672,703
固定資産合計						1,234,115,194
資産合計						1,392,563,893
II 負債の部						
1 流動負債						
事業未払金	2月分社会保険料事業主負担分等					12,564,827
1年以内返済予定設備資金借入金	独立行政法人福祉医療機構					9,240,000
職員預り金	2月分社会保険料等					6,148,255
流動負債合計						27,953,082
2 固定負債						
設備資金借入金	独立行政法人福祉医療機構					61,810,000
退職給付引当金(県社協)	山梨県社会福祉協議会					31,205,090
退職給付引当金(自園)	園独自制度					3,015,500
固定負債合計						96,030,590
負債合計						123,983,672
差引純資産						1,268,580,221

2024(令和6)年度
事業計画

社会福祉法人 光塩福社会
本 部

令和6年度		事業計画（本部）
日 付		内 容
令和6年 5月		監事会開催
令和6年 5月		理事会開催
令和6年 6月		定時評議員会開催
令和7年 3月		理事会開催

令和 5年度歳入当初予算書

社会福祉法人 光塩福祉会
法人本部

令和 5年 4月 1日

科 目	予 算 額	前 年 度 補正後予算額	差引増減額	摘 要 (積算内訳)
103 児童福祉事業収入	0	0	0	
01 措置費収入	0	0	0	
01 事務費収入	0	0	0	
02 事業費収入	0	0	0	
02 私的契約利用料収入	0	0	0	
99 その他の事業収入	0	0	0	
01 補助金事業収入(公費)	0	0	0	
03 補助金事業収入(一般)	0	0	0	
02 受託事業収入(公費)	0	0	0	
04 受託事業収入(一般)	0	0	0	
10 その他の事業収入	0	0	0	
104 保育事業収入	0	0	0	
01 委託費収入	0	0	0	
02 私的契約利用料収入	0	0	0	
03 私立認定保育所利用料収入	0	0	0	
04 施設型給付費収入	0	0	0	
01 施設型給付費収入	0	0	0	
02 利用者負担金収入	0	0	0	
06 利用者等利用料収入	0	0	0	
01 利用者等利用料収入(	0	0	0	
02 利用者等利用料収入(	0	0	0	
03 その他の利用料収入	0	0	0	
99 その他の事業収入	0	0	0	
01 補助金事業収入(公費)	0	0	0	
03 補助金事業収入(一般)	0	0	0	
02 受託事業収入(公費)	0	0	0	
04 受託事業収入(一般)	0	0	0	
10 その他の事業収入	0	0	0	
115 借入金利息補助金収入	0	0	0	
01 借入金利息補助金収入	0	0	0	
116 経常経費寄附金収入	0	0	0	
01 経常経費寄附金収入	0	0	0	
117 受取利息配当金収入	100	100	0	
01 受取利息配当金収入	100	100	0	
201 その他の収入	0	0	0	
01 受入研修費収入	0	0	0	
02 利用者等外給食費収入	0	0	0	
99 雑収入	0	0	0	
*** 事業活動収入計 ***	100	100	0	
121 施設整備等補助金収入	0	0	0	
01 施設整備等補助金収入	0	0	0	
02 設備資金借入金償還補助金	0	0	0	
122 施設整備等寄附金収入	0	0	0	
01 施設整備等寄附金収入	0	0	0	
02 設備資金借入金償還寄附金	0	0	0	
211 設備資金借入金収入	0	0	0	
01 設備資金借入金収入	0	0	0	
219 その他の施設整備等収入	0	0	0	
01 その他の施設整備等収入	0	0	0	
*** 施設整備等収入計 ***	0	0	0	
224 積立資産取崩収入	0	0	0	
01 退職給付引当資産取崩収入	0	0	0	
02 長期預り金積立資産取崩	0	0	0	
03 保育所繰越積立資産取崩	0	0	0	
04 保育所設備整備積立取崩	0	0	0	
05 措置施設繰越積立資産取崩	0	0	0	
133 拠点区分間繰入金収入	200,000	200,000	0	
01 拠点区分間繰入金収入	200,000	200,000	0	
229 その他の活動による収入	0	0	0	
01 移行に伴う過年度修正額	0	0	0	

令和 5 年度 歳入当初予算書

社会福祉法人 光塩福祉会
法人本部

令和 5 年 4 月 1 日

科 目	予 算 額	前 年 度 補正後予算額	差引増減額	摘 要 (積算内訳)
02 長期前払費用収入	0	0	0	
10 その他の活動による収入	0	0	0	
その他の活動収入計	200,000	200,000	0	
299 当期末支払資金残高	0	0	0	
01 前期末支払資金残高	0	0	0	
歳 入 合 計	200,100	200,100	0	

令和 5 年度歳出当初予算書

社会福祉法人 光塩福祉会
法人本部

令和 5 年 4 月 1 日

科 目	予 算 額	前 年 度 補正後予算額	差引増減額	摘 要 (積算内訳)
401 人件費支出	0	0	0	
01 役員報酬支出	0	0	0	
02 職員給料支出	0	0	0	
01 俸給	0	0	0	
02 管理職手当	0	0	0	
03 特殊業務手当	0	0	0	
04 特別手当	0	0	0	
05 住宅手当	0	0	0	
06 扶養手当	0	0	0	
07 通勤手当	0	0	0	
08 時間外手当	0	0	0	
09 夜勤手当	0	0	0	
10 役職手当	0	0	0	
11 処遇改善Ⅰ手当	0	0	0	
12 処遇改善Ⅲ手当	0	0	0	
13 物価高騰手当	0	0	0	
03 職員賞与支出	0	0	0	
01 職員賞与支出	0	0	0	
05 非常勤職員給与支出	0	0	0	
01 本俸	0	0	0	
02 住宅手当	0	0	0	
03 通勤手当	0	0	0	
04 時間外手当	0	0	0	
05 夜勤手当	0	0	0	
06 賞与	0	0	0	
07 宿直者本俸	0	0	0	
08 宿直者通勤手当	0	0	0	
09 宿直者賞与	0	0	0	
10 嘱託医手当	0	0	0	
11 扶養手当	0	0	0	
12 嘱託手当	0	0	0	
13 宿直者残業手当	0	0	0	
14 処遇改善Ⅲ手当	0	0	0	
15 物価高騰手当	0	0	0	
16 宿直者物価高騰手当	0	0	0	
06 派遣職員費支出	0	0	0	
07 退職給付支出	0	0	0	
10 法定福利費支出	0	0	0	
402 事業費支出	0	0	0	
01 給食費支出	0	0	0	
05 保健衛生費支出	0	0	0	
06 医療費支出	0	0	0	
07 被服費支出	0	0	0	
08 教養娯楽費支出	0	0	0	
09 日用品費支出	0	0	0	
10 保育材料費支出	0	0	0	
11 本人支給金支出	0	0	0	
12 水道光熱費支出	0	0	0	
13 燃料費支出	0	0	0	
14 消耗器具備品費支出	0	0	0	
15 保険料支出	0	0	0	
16 賃借料支出	0	0	0	
17 教育指導費支出	0	0	0	
18 就職支度費支出	0	0	0	
19 葬祭費支出	0	0	0	
20 車輛費支出	0	0	0	
99 雑支出	0	0	0	
403 事務費支出	200,100	200,100	0	
01 福利厚生費支出	40,000	40,000	0	
02 職員被服費支出	0	0	0	

令和 5 年度歳出当初予算書

社会福祉法人 光塩福祉会
法人本部

令和 5 年 4 月 1 日

科 目	予 算 額	前 年 度 補正後予算額	差引増減額	摘 要 (積算内訳)
03 旅費交通費支出	0	0	0	
04 研修研究費支出	0	0	0	
05 事務消耗品費支出	0	0	0	
06 印刷製本費支出	0	0	0	
07 水道光熱費支出	0	0	0	
08 燃料費支出	0	0	0	
09 修繕費支出	0	0	0	
10 通信運搬費支出	0	0	0	
11 会議費支出	60,000	60,000	0	
12 広報費支出	0	0	0	
13 業務委託費支出	50,000	50,000	0	
14 手数料支出	20,000	20,000	0	
15 保険料支出	0	0	0	
16 賃借料支出	0	0	0	
17 土地・建物賃借料支出	0	0	0	
18 租税公課支出	0	0	0	
19 保守料支出	0	0	0	
21 諸会費支出	0	0	0	
99 雑支出	30,100	30,100	0	
408 支払利息支出	0	0	0	
01 設備資金借入金利息支出	0	0	0	
02 長期運営資金借入金利息	0	0	0	
03 短期運営資金借入金利息	0	0	0	
04 リース料利息支出	0	0	0	
99 その他利息支出	0	0	0	
501 その他の支出	0	0	0	
01 利用者等外給食費支出	0	0	0	
99 雑支出	0	0	0	
502 資産評価損等資金減少額	0	0	0	
01 有価証券売却損	0	0	0	
02 資産評価損	0	0	0	
01 有価証券評価損	0	0	0	
03 為替差損	0	0	0	
04 徴収不能額	0	0	0	
*** 事業活動支出計 ***	200,100	200,100	0	
511 設備資金借入金元金償還	0	0	0	
01 設備資金借入金元金償還	0	0	0	
512 固定資産取得支出	0	0	0	
01 土地取得支出	0	0	0	
02 建物取得支出	0	0	0	
03 車輛運搬具取得支出	0	0	0	
04 器具及び備品取得支出	0	0	0	
05 構築物取得支出	0	0	0	
06 機械及び装置取得支出	0	0	0	
07 建設仮勘定取得支出	0	0	0	
08 権利取得支出	0	0	0	
09 ソフトウェア取得支出	0	0	0	
99 その他の固定資産取得支出	0	0	0	
513 固定資産除却・廃棄支出	0	0	0	
01 固定資産除却・廃棄支出	0	0	0	
514 ファイナンス・リース債務の返済支出	0	0	0	
01 ファイナンス・リース債務の返済支出	0	0	0	
515 その他の施設整備等支出	0	0	0	
01 その他の施設整備等支出	0	0	0	
*** 施設整備等支出計 ***	0	0	0	
524 積立資産支出	0	0	0	
01 退職給付引当資産支出	0	0	0	
02 長期預り金積立資産支出	0	0	0	
03 保育所繰越積立資産支出	0	0	0	
04 保育所施設設備整備等積立	0	0	0	

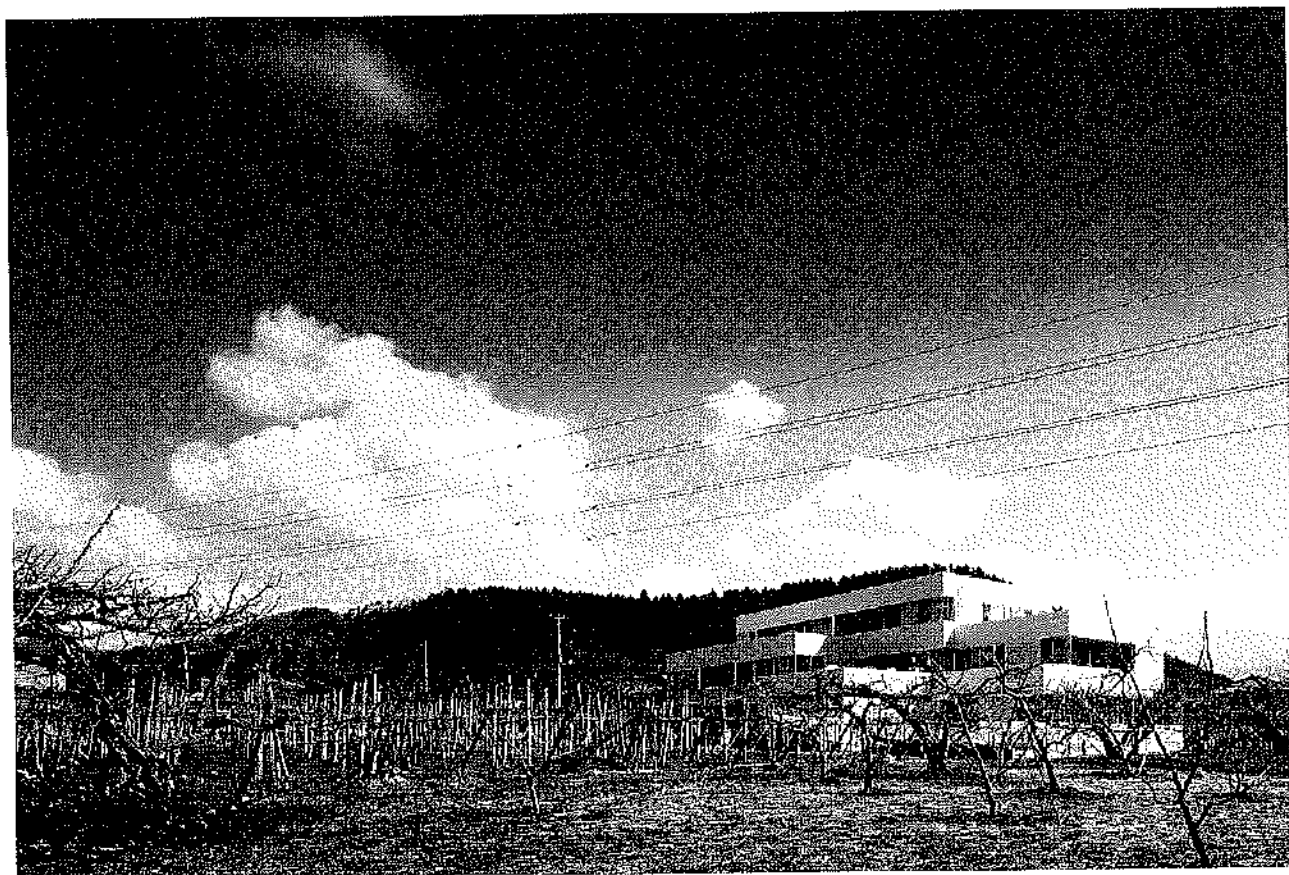
令和 5年度歳出当初予算書

社会福祉法人 光塩福祉会
法人本部

令和 5年 4月 1日

科 目	予 算 額	前 年 度 補正後予算額	差引増減額	摘 要 (積算内訳)
05 措置施設繰越積立資産支出	0	0	0	
412 拠点区分間繰入金支出	0	0	0	
01 拠点区分間繰入金支出	0	0	0	
529 その他の活動による支出	0	0	0	
01 移行に伴う過年度修正額	0	0	0	
02 長期前払費用支出	0	0	0	
10 その他の活動による支出	0	0	0	
その他の活動支出計	0	0	0	
531 予備費支出	0	0	0	
01 予備費支出	0	0	0	
歳 出 合 計	200,100	200,100	0	

2024(令和6)年度 事業計画



社会福祉法人 光塩福社会
児童養護施設 クローバー学園

令和6年度事業計画（クローバー学園）

「愛育」の精神を大切にし、職員一人ひとりが「当園のあるべき姿」をめざし、日々の実践に努める。

1 基本方針

- (1) 子どもを権利の主体者としてとらえ、その最善の利益を追求し、家庭の代替機能として安心、安全な場を提供するように努める。
- (2) 子どもたちのくらしのあらゆる場面を子どもとの関係性を育むためのツールとして愛着の再形成、関係性修復のための支援をおこなう。
- (3) 将来、自立した個人として等しく健やかに成長することができるよう、子どもの発達段階に応じて、切れ目のない学習機会を提供する。
- (4) 他の関係機関と連携し、子どもに関する地域支援の拠点として地域に必要とされる施設を目指す。

2 重点目標

- (1) 子どもの最善の利益にかなう支援をめざし、権利を擁護し、意見を表明しやすい環境を整える。
- (2) 愛着関係や関係性を育むための最も大切なツールである食を通じて、子どもと一緒にさまざまな経験を得られるように支援していく。
- (3) 学習環境を整え、基礎的な学力の向上を目指すとともに、子どもが自主的に意欲をもって学習に取り組めるよう、学力保障に向けた支援を進める。
- (4) 子どもがこころと体を豊かに育むことができるように、生活の中で性（生）を特別視せずに学ぶことのできる支援のあり方を検討・実践していく。
- (5) 当園の養育指針である「あるべき姿」を改訂し、それを実現可能とする人材育成、キャリアコースを体系化させ、総合的な人的資源マネジメント体制の土台をつくる。
- (6) 子育て短期支援事業を基軸として自治体との連携を進めつつ、子ども食堂（宅食）の可能性を探るとともに多機能化の事業の選定にあたる。

3 運営・会議

種別	目的	参加者	開催頻度
職員会議	あらゆる事項を議題とし、全職員をもって意思決定と承認、共有の場とする	職員全員	毎月1回開催
主任会議	施設運営、経営方針にかかる重要事項、子どもの支援にかかわることについて協議する	園長、主任、事務員 リーダー会議代表者 リーダー2名	毎月1～2回 その他、必要に応じて開催
リーダー会議	子どもの支援や生活・自立支援にかかわる諸課題について協議する	リーダー会議代表者 各グループリーダー 栄養士、心理師	毎月1回開催
グループ会議	担当グループ内の子どもの生活・自立支援にかかわる諸課題について協議する	各グループ担当職員	毎月1回開催
自立支援検討会議	進路決定機の子どもに対する自立支援の方向性について協議する	園長、主任、心理師 自立支援担当職員 各グループリーダー	毎月1回リーダー会議後に開催
入所児支援検討会議	入所を控える子どもが安心して生活できるように支援方針について協議する	園長、家庭支援専門相談員、心理師 受入グループ	入所前に適宜開催

4 児童の状況（2024年4月1日現在・一時保護含）

	男	女	計		男	女	計
年中児	0	1	1	中1	0	0	0
小1	1	1	2	中2	1	0	1
小2	1	1	2	中3	1	3	4
小3	0	1	1	高1	0	2	2
小4	0	1	1	高1支	1	0	1
小5	2	1	3	高2	2	0	2
小6	1	1	2	高2支	1	0	1
				高3	0	3	3
合計		男	11	女	15		

5 職員の状況（2024年4月1日現在）

役職名	人数
園長	1名
主任児童指導員（兼 里親支援専門相談員）	1名
主任保育士（兼 家庭支援専門相談員）	1名
主任児童指導員補佐	1名
児童指導員	6名
保育士（1名家庭支援専門相談員兼務・1名個別対応職員兼務）	17名
自立支援担当職員	1名
心理師	1名
事務員	1名
栄養士	1名
調理員	1名
管理宿直員	7名
スーパーバイザー	1名
合計	40名

6 行事計画

園行事	①新任職員の紹介 ②総合防災訓練 ③全体レク ④退園生とのお盆交流会 ⑤クリスマス会（各グループ） ⑥退園式 ⑦お別れ球技会 他
地域行事	①河川清掃（上塩後・上西・千野） ②育成会廃品回収（千野） ③育成会ラジオ体操（上西・千野） ④育成会向嶽寺境内清掃（上西） ⑤育成会夏季野外活動（上西） ⑥北公民館清掃（千野） ⑦親子ふれあい行事（千野） ⑧夏のふれあい軽スポーツ大会（千野） ⑨飛大神社神輿かつぎ（千野） ⑩信春公祭り（千野） ⑪甲州市育成会親睦球技大会（千野）
連携行事	①北小との連絡会 ②中央児相との連絡会 ③都留児相との連絡会 ⑤家族再統合事業 ⑥山梨市要保護児童対策協議会

7 子どもの権利擁護・意見表明支援

(1) 実施目標・方向性

- ① 子どもを保護の対象としてみるのではなく、権利の主体者としてみることで、子どもにとっての最善の利益とはなにかを第一に考えるようにする。
- ② 子どもが有るのまゝの存在としていられるように、その声や意向に丁寧に耳を傾け、ともに困難を乗り越えられるように支援する。
- ③ 子どもが自身の意見や要望を自由に表すことができるような環境づくりをめざし、職員は子どもの成長発達に応じて、その要望に応えられるように十分に考慮した上で、説明し応対するようにする。

(2) 実施事業・内容

- ① 子どもの意見を聴く機会をこれまで以上に設け、相談できる体制を強化する。
- ② 子どもの権利擁護、意見表明支援に関する外部研修を受講する。
- ③ 子どもの権利擁護、意見表明支援に関する園内研修を実施する。
- ④ 苦情解決の仕組みを子どもに広く伝える。
- ⑤ 利用者アンケートを実施し、子どもたちにも結果を開示する。
- ⑥ 児童養護施設における人権擁護のためのチェックリストを実施する。

8 食に関する取り組み

(1) 実施目標・方向性

「食」を、作って食べる、だけでなく“人生そのもの”と大きく捉え、ともに生活する。その中で、体だけでなく心も成長できるよう、愛着の再形成、関係性の修復を目指し支援していく。

- ① 日常生活の中で、愛情を感じられる環境を整え、関係性の基礎である「大人と「子ども」の関係性の修復をはかる。
- ② 食に関する経験や体験を通して社会性を身につける。
- ③ 退園後の生活、家族や未来が想像できる社会的健康を手に入れるよう支援する。

(2) 実施事業・内容

① テーマ

◎大テーマ「食を通じた関係性作り」

○小テーマ「食事の時間に職員は必ず席に着き、子どもと一緒に食卓を囲む」

上記テーマは全グループ共通。その他、各グループで2テーマ程度、掲げる。

② 食の取り組み振り返り、報告

毎月のグループ会議で1か月の食の取り組みを振り返り、主任会議を経て職員会議で報告する。

③ 彩食費

関係性を育むこと、家庭に近い形で外食、中食、軽食など経験できる場を作ること、普段の食卓に彩を加えることを目的とし、各グループに彩食費として予算化する。

④ 彩葉ごはん

より家庭的な食のありかたの実現を目的とし、献立作成から買い物、調理、全てをグループで完結させる食事を定期的に設ける。

⑤ 誕生日会

子ども1人1人の誕生日に合わせてグループごと実施する。

⑥ 手作りおやつを取り入れ

リクエストやイベントなどにはもちろん、子どものおやつ作り、何気ない日常のおやつなども実施し、子どもとの関係性作りに活用する。

⑦ 栄養士による料理教室（職員対象）

新任職員を中心に、調理技術に自信のない職員等、希望者で行う。調理技術や知識の向上だけでなく、職員の関係性作りの場としても活用する。

⑧ 調理衛生実技指導（職員対象）

調理衛生マニュアル通り調理が行えているか、実技を交え、栄養士がグループごとに指導を行う。

⑨ 調理衛生マニュアル読み合わせ

新任職員に対し、4月の新任研修の中で行う。

⑩ 汚染物処理マニュアル研修会

感染が疑われる嘔吐物などの処理方法と衛生基礎知識を学ぶ。

⑪ 嗜好調査の実施

年に2回、子どもと担当職員に対して質問紙調査を行う。集計結果は、子どもへは部屋に掲示、職員へは回覧にて公表する。

⑫ 行事食の実施

⑬ 自立のために退所する児童への食事指導

9 学習支援

（1）実施目標・方向性

- ① 子どもにとって学力の向上は身近な成功体験となりやすく、自己肯定感を育むための機会となるため、日々の学習の中で達成感を感じられるように、勉強方法を工夫し、学力向上を実感として感じられるよう支援する。
- ② 子どもたちの将来の選択肢を増やすために、大学や専門学校などのより高等な教育機関への進学ができるように支援し、学校の情報収集、提供に努める。
- ③ 複数勤務やヘルプ職員が携われるときに、個別的に子どもと学習する機会をつくるなど、子どもたちの学力保障に向けて、学習環境を整える。

（2）実施事業・内容

- ① 個別による学習支援を行う。
- ② 子どもたちに職業について知ってもらう機会を設ける。
- ③ 小学生が意欲をもって学習に取り組めるよう個別の学習教材の提供を行う。

10 性（生）教育について

（1）実施目標・方向性

- ① 入所児童に対する性（生）教育を実施する。
 - ア 育ちの中での性（生）教育を実施する。
 - イ 傷つきからの回復のための性（生）教育を実施する。
 - ウ 性的問題を予防するための性（生）教育を実施する
- ② 子どもの性行動を理解し、その対応について学ぶ。

- ア 子どもの性問題行動とそうでない性行動の区別ができるようになる。
- イ 子どもが示す様々な性行動に遭遇した際の適切な対処法を知る。

(2) 実施事業・内容

- ① 定期的な委員会の開催
- ② 性（生）教育・性問題に関連する研修への参加
- ③ 児童養護施設における性（生）教育についての情報収集
- ④ 性（生）教育実施内容の検討
- ⑤ 子どもたちへの性教育実施
- ⑥ 職員会議における委員会の活動報告
- ⑦ 外部講師による助言・職員全体への研修
- ⑧ 当園の性被害・加害のアンケート調査の実施

1.1 人的資源マネジメントの強化

■「当園のあるべき姿」の改訂

(1) 実施目標・方向性

- ① 現在の社会的養護の子どもたちに対する養育観や権利擁護などを踏まえ、子ども大綱や児童福祉法を参考にしながら、「当園のあるべき姿」の改訂に向けて土台をつくる。
- ② 改訂に向けて、多くの職員が参画することで、当園のめざすべき養育観の標準化を図りつつ、被虐待児童に対する効果的なケアワークや施設内の不適切対応の防止についても検討する機会を作る。

(2) 実施事業・内容

- ① 調査研究委員会内で検討し、「当園のあるべき姿（改訂版）」の土台をつくる。
- ② 全職員に改訂手続きに参画してもらいながら策定する。

■人材育成とキャリアコース（パス）

(1) 実施目標・方向性

- ① 全職員が園内、外部の研修機会を通じて、自身の養育に関する学びを深める機会を提供し、子どもたちのさらなる支援につなげていく。
- ② 全国児童養護施設協議会が策定した「児童養護施設の研修体系～人材育成のための指針～」を参照し、当園版の階層別研修を体系化する。
- ③ 入職後、さまざまなキャリアコース（パス）を歩めるようにいくつかのモデルパターンを設定する。

(2) 実施事業・内容

① 園内研修

ア 新任職員研修

(ア) 原則毎月1回実施し、主任児童指導員を主担当とし、専門職や職歴10年以上の職員等が担当する。

(イ) 「質問内容・学びの記録」「助言の記録」を実施する。

イ 2・3年目の職員研修

(ア) 年に4回実施し、両主任を主担当とする。

② 全ケアワーカー研修

ア ケースカンファレンス

- (ア) 外部講師（山梨県立大学教授）をアドバイザーとし、各グループ2回ずつ計10回ケースカンファレンスを実施する。
- (イ) 心理担当職員を主担当とする。
- (ウ) 翌年度始めには、前年度のケースカンファレンスの振り返りを行う。

イ 虐待防止研修

- (ア) ケアワーカー全職員を対象とし、スーパーバイザーによる虐待防止研修会を開催する。

- ③ 全養協の「児童養護施設の研修体系～人材育成のための指針～」を参考にしながら、当園独自の人材育成体系モデルの構築をめざす。

(3) 外部研修

- ① 専門職や担当、委員会ごとに、経験に応じた研修機会を年1回以上提供する。

月	研修内容	受講者（担当・委員会）
6月	スーパービジョン研修	指導的な立場にある職員
7月	関東ブロック研究協議会	4年目以上の職員
10月	関東ブロック職員研修会	4年目以上の職員
11月	全国施設長研究協議会	園長
1月	基幹的職員研修	10年目以上の職員
2月	中堅職員研修	3年目の職員
性の支援に関する研修		性（生）教育委員会
子どもの権利擁護・意見表明に関する研修		主任児童指導員補佐
施設の多機能化・高機能化に関する研修		調査研究委員会

- (4) 当園でキャリアを積んでいく際のキャリアコース（パス）を設定する。

- (5) より専門性を向上させるために、園内において子ども家庭ソーシャルワーカーの資格を取得や、山梨県立大学大学院人間福祉学研究科への進学のための支援策について検討する。

1.2 施設の多機能化の検討

(1) 実施目標・方向性

- ① 子ども家庭福祉や社会的養育の領域に関連する情報を継続的に収集し、現状の理解に努める。
- ② 子育て短期支援事業を始点として、子ども食堂（宅食）等、新たな地域支業を採択できるよう情報収集と検討に努め、施設の多機能化をめざす。
- ③ 山梨県の改訂版の社会的養育推進計画（2025年～2029年）が2024年度に策定方針が発出されることを念頭に、当園版の社会的養育推進計画策定の基礎をつくる。
- ④ 県だけでなく市町村との関係性をより深め、地域の子育て支援、虐待予防に

貢献できるような施設を目指す。

(2) 実施事業・内容

- ① 定期的に委員会を開催する。
- ② 施設の多機能化をテーマとした外部研修へ参加する。
- ③ 施設の多機能化に向け、実施すべき新規事業の選定及び詳細な調査・分析する。
- ④ 地域の関係機関と連携し、地域の福祉ニーズの把握に努める。

1 3 グループ実施事業

(1) つくしグループ（小規模グループケア）

① 生活目標

ア 職員

（ア） あいさつをしっかりとしよう。

（イ） みんなの良い所を見つけ、褒めて伸ばす。

イ 子ども

（ア） けんかをしないで、相手を傷つけることはしない、言わない。

（イ） 遊び、勉強、運動をがんばり、いっぱい楽しむ。

② 支援目標

ア 子どもたちの話を丁寧に聴き、気持ちに寄り添い、安心・安全な生活が送れるようにする。

イ 学習ができる環境を整え、個々の学力に合わせた支援をしていく。

ウ 日常生活のいろいろな経験を通し、自分の大事さを知り、相手を大切に思う心を育む。

③ 実施事業

ア 子どもの様子を見ながら、必要に応じて、1対1やグループでの外出や外食の機会をつくる。

イ 夏祭りやクリスマスなど季節に合わせたイベントを実施する。

ウ 年度末や節目のタイミングで彩食費を利用したグループ外食（テイクアウトを含む）を実施する。

エ 毎月のグループ会議及び定期的なケース検討を実施する。

(2) さくらグループ（小規模グループケア）

① 生活目標

ア 職員

（ア） お礼やあいさつを気持ちよく言えるようにする。

（イ） 人を傷つけない、やさしい言葉遣いをしよう。

イ 子ども

（ア） 楽しく過ごす

（イ） あいさつやお礼をしっかりと言う。

（ウ） 思いやりをもつ

② 支援目標

ア 子どもと約束したことは必ず守り、個別的なかわりを通して子どもたちが話しやすい環境を提供し、信頼できる大人がつくれるように支援していく。

イ 日々の生活を通して、自分でできることは自分でできるような支援や、一人ひとりの持つ力を信じ、わからない学習をそのままにしないように支援をしていく。

ウ 性に対しての年齢相応な正しい知識を身に付けられるような機会を確保していく。

③ 実施事業

ア 長期休暇中に年齢層を踏まえて、彩食費を使用したグループか個別での外出を実施する。

イ グループ外食やテイクアウトなど彩食費を利用したお疲れさま会を秋頃と年

度末に実施予定する。

ウ 夏祭りやハロウィンパーティー、クリスマスパーティーなど年間の季節イベントや行事を実施予定する。

エ 子どもの要望や必要に応じて、昼食を持参しての外出や買い物等の機会を設ける。

オ 毎月のグループ会議及び定期的なケース検討会議を実施する。

(3) ひのきグループ（小規模グループケア）

① 生活目標

ア 職員

(ア) 子どもの良いところを見つけて褒め、よくないところはきちんと注意しよう！

(イ) グループをきれいに保とう！

(ウ) 子どもと職員が仲良く過ごせるよう、たくさん遊んでたくさん話そう！

イ 子ども

(ア) 相手を思いやったやり取りを心がける！

(イ) お手伝いを積極的にする！

(ウ) 自分でできることは自分でやる！

② 支援目標

ア 子どもと話す時間を確保したり、子どもの方からも話しやすいように外出などをうまく使ったりしながら、個別的な対応を意識する。

イ 予定を立てる、一緒に取り組む、内容の確認、をセットにした学習支援を行う。

ウ 子どもたちが安心・安全とはどういうことかをイメージできるような掲示物を定期的に作成し、性や発達段階に関する正しい知識を持てるよう支援する。

③ 実施事業

ア 年度末など節目に当たるタイミングで彩食費を利用したグループ外食を実施する。（状況により、テイクアウトにて対応も検討。）

イ ハロウィンやクリスマス、お正月など季節に合わせたイベントを実施する。

ウ 部分的に担当制を導入し、職員と子どもの関係性構築のための機会を意図的に増やす。また、そのために個別対応や個別外出を積極的かつ効果的に行なえるよう、グループ内で計画表を作成し、実施する。

エ 毎月のグループ会議及び定期的なケース検討を実施する。

(4) かえでグループ（分園型小規模グループケア）

① 生活目標

ア 職員

(ア) 個々でも全体でも、子どもたちとかかわる時間をたくさん作る。

(イ) みんなが過ごしやすい環境づくりをする。

イ 子ども

(ア) 平和に仲良く暮らす。喧嘩をしても周りには迷惑にならないようにする。

(イ) 家庭菜園をして、みんなで野菜などを育てる。

② 支援目標

ア 一緒に活動や日々の対話を通し、子どもの背景や心情に寄り添った支援を心がけていくことで、「心の拠り所となる存在」「安心できる居場所」となれるようにする。

イ 個々の特性やニーズに合わせた取り組み方や環境設定などを行いながら、子どもが主体性をもって前向きに学習に向き合えるようにする。

ウ 自分や相手の心身を大切にするための適切な距離感や方法を伝え、自分を守り相手を尊重できるような考え方を育めるようにする。

③ 実施事業

ア 子どもの要望や必要に応じて、1対1やグループでの外食や外出の機会を作る。

イ 四季に沿って季節感を感じられるイベントを実施する。

ウ 年度初めと年度末に彩食費を使用したグループ外食（テイクアウトも含め）や外出を実施する。

エ プランターでの植物や野菜等の栽培をおこなう。

オ 毎月のグループ会議及び定期的なケース検討会議を実施する。

(5) ひまわりグループ（分園型小規模グループケア）

① 生活目標

ア 職員

（ア） 困っていること、悩んでいることなど子どもたちの主張を受容する。また、やってあげる、一緒にやる事を積極的に行い、子どもが大切にされていると感じ安心できるようにする。

（イ） 職員間での連携、本園との連携を密にとり、業務がスムーズに滞りなく行える。

（ウ） 子どもの良いところをたくさん見つけてたくさん褒め、子どもの自信や長所になるよう支援する。

イ 子ども

（ア） お風呂場をきれいに使う。シャンプー等がなくなったら言う。

（イ） テレビの残量を考えて録画する。

（ウ） 配膳をみんなでやる。

（エ） パソコンのChromeBookの使い方、ルールを守る。

② 支援目標

（ア） 将来のことを考え、学習支援と並行して、進路について一緒に調べたり、相談にのる。また、自立に向けて、退園後の生活がイメージできるように支援する。

（イ） 地域住民との交流を深め、そのやり取りを子どもに見せながら、関わり方、人と人とのつながりのお手本になる。

（ウ） 年齢に合わせて、異性関係や生理についての知識を教えたり、話を出来るような雰囲気づくりを目指す。

③ 実施事業

ア 夏の長期休みでバーベキュー・流しそうめん・納涼会を実施する。

イ プランターにて野菜・花の栽培をする。

ウ 命の大切さを学んでいくためにペットの飼育を目指す。

エ 毎月のグループ会議及び定期的なケース検討会議を実施する。

1.4 個別対応計画

(1) 支援目標・方向性

① 個別的ななかかわりを特に必要とする子どもを対象に、その子どもの生きづら

さや課題の解決を目的として、集団養育では行なえないような柔軟かつ多岐にわたる方法を用いた支援を実施する。

- ② グループ職員、家庭支援専門相談員、心理担当職員、自立支援担当職員と連携し、情報を共有しながら、個別的ななかかわりが必要な際に個別対応を実施する。
- ③ グループにおいて対応困難な事案が発生した場合や緊急対応が必要な場合に介入し、該当する子どもへのケアに努めるとともに、グループ職員への援助を行い、グループ内での解決を目指すかたちで復帰を促す。

(2) 実施事業・内容

- ① 傾聴、遊び、外出、畑、学習支援等を通じた個別的ななかかわりを行う。
- ② グループで対応困難な事案が発生した際の介入と援助を行う。
- ③ 個別対応後、必要に応じた該当グループへのフィードバックを行う。

1.5 家庭支援計画

(1) 支援目標・方向性

- ① 保護者との信頼関係を構築し、親子間の関係性の調整を積極的に行うことで家族再統合につなげる。
- ② インケアからの連続性を持たせたきめ細かな退園生支援を展開する。
- ③ 主体的に里親制度普及にかかわる。
- ④ 地域の子育て家庭や要保護児童に関わる情報の獲得に努め、相談・支援につながる具体的な方策を探究する。
- ⑤ 家庭支援専門相談員のスキルを、組織や個々の職員の成長につなげ、家庭支援の重要性についての認識を共有する。
- ⑥ 入所期間を短縮化させるため、関係機関との連携をより緊密にとっていく。
- ⑦ 家庭復帰が困難と思われる家族に対しては、親子間の関係性の修復を目指し、程よい距離感を持って生活できるよう、家庭復帰だけがメインでない家族再統合事業を実施する。
- ⑧ 子どもの日々の養育と双璧を成すのが家庭支援という観点に立つて、保護者に寄り添う支援を展開することで、保護者との信頼関係の構築を目標とする。

(2) 実施事業・内容

- ① 保護者などへの早期家庭復帰のための業務
 - ア 面会だけではなく、3階旧かえでのスペース等を利用した在園児の親子ショートステイの実施を検討する。(実施可能な家庭の選定)
 - イ 対応の難しい家庭について、グループとの間に入り、双方への調整を行う。
 - ウ F S Wが間に入って関係性の調整を行う。
- ② 退所後の児童に対する継続した生活相談等
 - ア 退所後1、2年後の児童の集中したアフターケアの実施
 - A (高卒男児 自立就職) 居住地5回
 - B (高卒男児 家庭引き取り・進学) 職場2回・家庭2回
 - C (高卒男児2年目 自立進学) 居住地3回
 - D (小1男児 家庭引き取り) 家庭3回
 - E (高中退女児 自立就職) 居住地3回・職場1回
 - イ 自立支援担当職員と協力し、退所2年目以降の児童のアフターケアを行う。
 - ウ 里親委託促進のための業務

- ③ 養育里親における養子縁組推進のための業務
- ④ 地域の子育て家庭に対する育児不安解消のための相談、支援など
 - ア ショートステイ利用家族からの相談
 - イ 要保護児童の状況の把握や情報交換を行うための協議会への参画
- ⑤ 要保護児童対策地域協議会に参加し、問題の共通理解をするなかで児童が速やかに家庭復帰できるように助力する。
- ⑥ 施設職員への助言、指導及び処遇会議への出席
 - ア 園内のケースカンファレンスへの参加
 - イ 面会や電話での保護者対応を通じて得た情報に基づいて職員への情報提供・アドバイス
- ⑦ 児童相談所等関係機関との連絡、調整
 - ア 入所、退所を円滑に進めるための連携
- ⑧ その他業務遂行に必要なこと
 - ア 退所した児童の家庭においては必要に応じた支援を検討する
- ⑨ 自立支援担当職員と連携し、事例検討や情報の共有に努める

1 6 心理支援計画

(1) 支援目標・方向性

- ① これまで育ってきた中で受けてきた不適切な養育による傷つきや、子ども自身の持つ特徴や発達特性等に起因する問題行動や困難さに対し、ケアワーカーと専門職が協働しながら支援する。
- ② 子どもたちへ安心・安全な生活の場を提供するための一つの援助として、職員が長く務めることが大事であると指摘されている。発達課題や問題を抱えた子どもたちをどう理解するか、不要なトラブルを未然に防ぐ工夫や問題行動への対処についてケアワーカーへ助言し、またそうした子どもたちと生活すること自体が大きなストレスになることもあるため、うつ病やバーンアウト等のリスクについての知識や情報を提供し、ケアワーカーのサポートを行う。

(2) 実施事業・内容

- ① 各ケースに応じた心理療法を用いて援助し、必要に応じて心理検査を実施する。
- ② 子どもとグループ職員との関係性（愛着を含む）に着目し、生活場面において心理的技法を用いて援助する。
- ③ トラブルを未然に防ぐ工夫や問題行動への対処について、心理学的視点から職員へ助言を行う。
- ④ ケース検討会議へ出席し、ケアワーカー・専門職と意見・情報交換し、共通理解を深め、支援方針を検討する。
- ⑤ 発達課題や問題を抱えている子どもたちと生活すること自体が強いストレスを生むことから、うつ病やバーンアウト等のリスクについての知識や情報の提供をし、職員のサポートを行う。
- ⑥ その他心理療法担当としての業務一般として、関係機関（児童相談所・学校・医療機関等）との連携、児童相談所・学校との連絡会への参加、山梨県児童養護施設等心理職連絡会への参加、心理実習生の受け入れと指導、里親登録前・更新研修等を行う。

1.7 里親支援計画

(1) 支援目標・方向性

- ① 里親が里子を丁寧に養育できるように困りごとや悩みごとを家庭訪問や電話連絡を通じて丁寧に聴き、里子が安心して生活ができるように支援するとともに、里子の自立支援を里親と協力して進める。
- ② 里親の交流会や研修会に積極的に参加し、里親養育についての学びを深めるとともに、里親との関係性を深める機会をつくる。
- ③ 地域の里親が交流し、悩みごとを共有することができる里親交流会を主催する機会をつくる。

(2) 実施事業・内容

- ① 里親宅を定期的に家庭訪問し、里子の生活状況等について確認する。
- ② 里親支援専門相談員の連絡会に出席し、家庭訪問時の里子の生活状況等を報告する。
- ③ 園内における里親登録前研修、更新研修を各専門職と調整する。
- ④ きずな会（里親会）の役員会・総会、研修会や交流会に出席する。
- ⑤ 里親レスパイトを必要に応じて講じられるように関係機関と調整する。
- ⑥ 峡東地区・甲府東側エリアの里親を対象とした里親サロンを11月に開催する。
- ⑦ 自立サポート事業者とも協力しながら、里子の自立支援を手伝う。

1.8 自立支援事業

(1) 支援目標・方向性

- ① アフターケアとして、退園後もつながっていくために、子どもたちと信頼関係をつくり、寄り添っていてくれると思える存在となれるようにする。
- ② リービングケアとして、より現実的な退園後の生活がイメージできるような取り組みの実施や、そのための支援を行っていく。

(2) 実施事業・内容

- ① ケースカンファレンスに積極的に参加する。
- ② 自立検討会議を開催し、子どもたちの学習状況や進路決定の進捗状況を関係者で確認しながら進める。
- ③ 奨学金制度など、利用できる制度の把握と情報共有に努める。
- ④ 職業体験ができる企業や施設を開拓する。
- ⑤ 就労体験やオープンキャンパスの見学に引率する。
- ⑥ 公共交通機関に乗車する経験を積んでもらう機会をつくる。
- ⑦ 退園を迎える子どものアフターケア計画書を作成する。
- ⑧ 退園生に向けて、年賀状や誕生日に職員のメッセージを載せた「メッセージアート」を送付する。
- ⑨ 退園生がお盆の時期に合わせて帰省する機会としてお盆交流会を実施する。
- ⑩ 退園生の生活状況を確認するために、食料支援訪問を行う。
- ⑪ 退園生と何気ない時の関わりを行っていく。
- ⑫ 家庭支援専門相談員と連携し、退園生支援に関する情報を共有する。

1.9 地域支援・子育て短期支援事業

(1) 事業目的・方向性

- ① 近隣地域の子どもを一時的にお預かりし、保護者の育児疲れの解消や子育て支援に寄与していく。
- ② 市町村との連携を図り、将来的な親子分離の防止や虐待予防につながるような支援を拡充する。

(2) 実施事業・内容

- ① 甲州市・山梨市在住の原則2歳～12歳（小学生以下）を対象児童とし、市町村からの要請に応じ、ショートステイ・トワイライトステイを受け入れている。
- ② 甲州市における一時的な親子での入所について、園内での運用方針を検討する。
- ③ 甲州市・山梨市以外の近隣市町村との契約についても検討する。

20 広報事業

(1) 事業目的・方向性

- ① 社会福祉法人が運営する施設として、理念や基本方針、事業の計画・報告等について、透明性の高い事業運営が行われていることを公開する。
- ② 積極的な情報発信により、地域社会に対して当園の社会的意義を理解してもらえるよう努める。
- ③ 入所児童の保護者や退園生、実習生をはじめとする関係各所に対し、より深い施設理解が得られるように努める。

(2) 実施事業・内容

- ① 寄付や慰問、ボランティア等に援助していただいた内容を報告する。
- ② 「日々の生活」と題して、日常の生活支援・自立支援の様子を報告する。
- ③ 「彩食記」と題して、食を通じた子どもたちとの関係性づくりの様子を報告する。
- ④ 保護者や退園生、実習生に向けて、必要な情報を担当者とも連携し発信する。
- ⑤ 採用情報を更新する。
- ⑥ 第三者評価結果や事業計画・報告、決算書等を公開する。

21 寄付・ボランティアの受け入れ

(1) 寄付対応

- ① 援助者記録の整備
- ② 寄付者へのお礼状、年賀状の準備・発送
- ③ ホームページへの掲載

(2) ボランティア対応

① 受け入れ団体・個人

- ア 天理教（襟布掛け直し）
- イ ヘアサロンNUI（散髪ボランティア）
- ウ 県立大学、山梨大学、健康科学大学の学生による学習支援
- エ その他個人ボランティアの学習支援・遊び支援等

② ボランティア窓口としての活動内容

- ア 当園の説明およびボランティア活動における注意事項の説明
- イ ボランティア保険加入の確認と推進

- ウ 該当グループとボランティア団体・個人との連絡調整
- エ 年2回程度の振り返りとボランティア側の意向確認
- オ 年度切り替えまたはボランティア終了時におけるイベント（食事会、メッセージカード進呈）や年賀状の発送等を通じた活動継続を促す取り組み
- カ その他必要と要望に合わせた話し合いの場の設定

2.2 実習生の受け入れ

(1) 保育実習

① 受け入れ校

山梨学院短期大学、帝京短期大学、山梨県立大学

(2) 福祉実習

① 受け入れ予定校

山梨県立大学、健康科学大学

(3) 心理実習

① 受け入れ予定校

山梨英和大学及び大学院

2.3 防災関連

(1) 避難訓練

毎月1回（年12回（内、深夜の訓練1回））開催する。

(2) 総合防災訓練

年1回実施する。

(3) 防火管理委員会

年度末を定例とし、必要に応じて招集する。

(4) 防火管理者会議

毎月1回（年12回）開催する。

(5) 防火管理者による当園の防災対応についての協議・提案とマニュアルづくりを行う。

(6) 山梨DWA Tへ参画する。

2.4 安全計画・BCPの更新と策定

(1) 安全計画

① 安全計画をより充実した内容に更新する。

② 安全計画に基づき、子どもや職員に対して、安全教育の啓発や研修を実施する。

(2) BCP（業務継続計画）

① 防災や感染症など、あらゆる非常事態の際にも業務が停止せずに継続できるように事前の計画を立てる。

② 職員自身がBCPを理解し、非常事態の際にも判断ができるように、職員会議等で発信し、理解につなげる。

2.6 全体レクリエーションの実施

(1) 事業目的・方向性

① 園全体での行事を通して、子どもとのコミュニケーションにつなげて、将来子どもたちと振り返り、同じ気持ちで語り合うことができるような思い出づくりを

する。

② 日常から離れた場において子どもと関わることで、より関係性を深め、今後の支援につなげていく。

③ 職員1人ひとりがグループだけでなくクローバー学園の職員である自覚を持ち、子どもが安全に楽しめるよう職員同士が協力する力をつける。

(2) 実施事業・内容

全体レクレーションとして、山梨県民の日（祝日）を利用して大型遊園地へ外出をする。

2.7 退園生とのお別れ会（球技会等）

(1) 事業目的・方向性

① 退園を迎える児童と在園児童が退園の前に交流できる場を設け、クローバー学園生活の最後の全体での思い出づくりをする。

② 退園を迎える児童から、在園児童への気持ちを伝える場とする。

③ 年齢関係なくみんなで力を合わせて思い切り楽しめるような企画を考える。

(2) 実施事業・内容

① 3月にお別れ球技会を実施する。

2.8 福利厚生事業

(1) 職員健康診断の実施（ケアワーカーは年2回）

(2) 語ろう会（旅行会・食事会）への助成

(3) 社会福祉施設従事者相互保険への加入

2.9 その他

(1) 保護者への「クローバーだより」発行（月1回）

(2) スーパーバイザー（臨床心理士）による児童カウンセリング事業実施（月4回）

(3) 規定等の策定、見直し（社会資源リスト・各種マニュアル・文書保存期間・プライバシー規定）

(4) GHP（ガスヒートポンプ）の入れ替え事業

令和 6 年度歳入当初予算書

社会福祉法人 光塩福祉会
クローバー学園

令和 6 年 4 月 1 日

科 目	予 算 額	前 年 度 補正後予算額	差引増減額	摘 要 (積算内訳)
103 児童福祉事業収入	252,670,000	250,440,000	2,230,000	事務費527,225X34X12
01 措置費収入	251,470,000	243,870,000	7,600,000	幼児12,770X12
01 事務費収入	228,780,000	221,440,000	7,340,000	指導員5,360X34X12
02 事業費収入	22,690,000	22,430,000	260,000	処遇改善6,060X24X12・6,060X2X12・
02 私的契約利用料収入	0	0	0	18,200X5X12・42,470X1X12
99 その他の事業収入	1,200,000	6,570,000	-5,370,000	従事者改善10,950X380
01 補助金事業収入(公費)	1,080,000	6,350,000	-5,270,000	分園2賃料300,000X12
03 補助金事業収入(一般)	0	30,000	-30,000	幼稚園費60,000 給食費20,000 行事費20,000
02 受託事業収入(公費)	100,000	180,000	-80,000	冷暖房費21,750X12
04 受託事業収入(一般)	20,000	10,000	10,000	見学旅行費22,690X2・60,910X4・
10 その他の事業収入	0	0	0	11,290X2
104 保育事業収入	0	0	0	入学支度金64,300X2 資格取得費57,620X2
01 委託費収入	0	0	0	部活動費300,000 教材費200,000
02 私的契約利用料収入	0	0	0	通学費5,000X8X12
03 私立認定保育所利用料収入	0	0	0	特別育成費86,300X3
04 施設型給付費収入	0	0	0	期末一時扶助費5,950X25
01 施設型給付費収入	0	0	0	医療費100,000
02 利用者負担金収入	0	0	0	生活指導訓練費47,790X12
06 利用者等利用料収入	0	0	0	見学旅行費150,000 学校教育費21,760
01 利用者等利用料収入(	0	0	0	就職支度費21,800 行事費14,400
02 利用者等利用料収入(	0	0	0	特別加算費300,000
03 その他の利用料収入	0	0	0	自立定着指導事業受託20,000
99 その他の事業収入	0	0	0	子育て支援事業受託80,000
01 補助金事業収入(公費)	0	0	0	里親研修受託20,000
03 補助金事業収入(一般)	0	0	0	
02 受託事業収入(公費)	0	0	0	
04 受託事業収入(一般)	0	0	0	
10 その他の事業収入	0	0	0	
115 借入金利息補助金収入	0	0	0	
01 借入金利息補助金収入	0	0	0	
116 経常経費寄附金収入	200,000	21,200,000	-21,000,000	
01 経常経費寄附金収入	200,000	21,200,000	-21,000,000	
117 受取利息配当金収入	10,000	10,000	0	
01 受取利息配当金収入	10,000	10,000	0	
201 その他の収入	2,420,000	2,721,680	-301,680	
01 受入研修費収入	350,000	350,000	0	
02 利用者等外給食費収入	1,800,000	1,910,000	-110,000	
99 雑収入	270,000	461,680	-191,680	
*** 事業活動収入計 ***	255,300,000	274,371,680	-19,071,680	
121 施設整備等補助金収入	0	0	0	
01 施設整備等補助金収入	0	0	0	
02 設備資金借入金償還補助金	0	0	0	
122 施設整備等寄附金収入	0	0	0	
01 施設整備等寄附金収入	0	0	0	
02 設備資金借入金償還寄附金	0	0	0	
211 設備資金借入金収入	0	0	0	
01 設備資金借入金収入	0	0	0	
219 その他の施設整備等収入	0	0	0	
01 その他の施設整備等収入	0	0	0	
*** 施設整備等収入計 ***	0	0	0	
224 積立資産取崩収入	0	28,320	-28,320	
01 退職給付引当資産取崩収入	0	28,320	-28,320	
02 長期預り金積立資産取崩	0	0	0	
03 保育所繰越積立資産取崩	0	0	0	
04 保育所設備整備積立取崩	0	0	0	
05 措置施設繰越積立資産取崩	0	0	0	
133 拠点区分間繰入金収入	0	0	0	
01 拠点区分間繰入金収入	0	0	0	
229 その他の活動による収入	0	0	0	
01 移行に伴う過年度修正額	0	0	0	

令和 6年度歳入当初予算書

社会福祉法人 光塩福祉会
クローバー学園

令和 6年 4月 1日

科 目	予 算 額	前 年 度 補正後予算額	差引増減額	摘 要 (積算内訳)
02 長期前払費用収入	0	0	0	
10 その他の活動による収入	0	0	0	
その他の活動収入計	0	28,320	-28,320	
299 当期末支払資金残高	15,800,000	-5,700,000	21,500,000	GHP交換他
01 前期末支払資金残高	15,800,000	-5,700,000	21,500,000	
歳 入 合 計	271,100,000	268,700,000	2,400,000	

令和 6 年度歳出当初予算書

社会福祉法人 光塩福祉会
クローバー学園

令和 6 年 4 月 1 日

科 目	予 算 額	前 年 度 補正後予算額	差引増減額	摘 要 (積算内訳)
401 人件費支出	210,990,000	191,150,000	19,840,000	
01 役員報酬支出	0	0	0	
02 職員給料支出	121,186,000	103,222,000	17,964,000	
01 俸給	86,550,000	72,710,000	13,840,000	30名
02 管理職手当	684,000	594,000	90,000	
03 特殊業務手当	2,870,000	2,370,000	500,000	
04 特別手当	14,070,000	11,300,000	2,770,000	
05 住宅手当	1,800,000	1,270,000	530,000	
06 扶養手当	726,000	588,000	138,000	
07 通勤手当	2,490,000	2,260,000	230,000	
08 時間外手当	4,000,000	4,320,000	-320,000	
09 夜勤手当	4,756,000	4,910,000	-154,000	
10 役職手当	0	0	0	
11 処遇改善Ⅰ手当	0	0	0	
12 処遇改善Ⅲ手当	0	0	0	
13 物価高騰手当	3,240,000	2,900,000	340,000	
03 職員賞与支出	50,190,000	49,620,000	570,000	
01 職員賞与支出	50,190,000	49,620,000	570,000	
05 非常勤職員給与支出	13,184,000	13,788,000	-604,000	
01 本俸	3,560,000	3,540,000	20,000	3名
02 住宅手当	0	0	0	
03 通勤手当	200,000	180,000	20,000	
04 時間外手当	360,000	390,000	-30,000	
05 夜勤手当	150,000	118,000	32,000	
06 賞与	1,190,000	1,470,000	-280,000	
07 宿直者本俸	6,430,000	6,590,000	-160,000	7名
08 宿直者通勤手当	95,000	100,000	-5,000	
09 宿直者賞与	250,000	430,000	-180,000	
10 嘱託医手当	170,000	170,000	0	
11 扶養手当	0	0	0	
12 嘱託手当	250,000	320,000	-70,000	
13 宿直者残業手当	10,000	0	10,000	
14 処遇改善Ⅲ手当	0	0	0	
15 物価高騰手当	166,000	170,000	-4,000	
16 宿直者物価高騰手当	353,000	310,000	43,000	
06 派遣職員費支出	0	0	0	
07 退職給付支出	1,430,000	1,320,000	110,000	
10 法定福利費支出	25,000,000	23,200,000	1,800,000	
402 事業費支出	23,921,000	26,386,090	-2,465,090	
01 給食費支出	6,600,000	6,690,000	-90,000	
05 保健衛生費支出	300,000	360,000	-60,000	
06 医療費支出	10,000	10,000	0	
07 被服費支出	1,200,000	1,400,000	-200,000	
08 教養娯楽費支出	1,230,000	1,500,000	-270,000	
09 日用品費支出	1,500,000	1,550,000	-50,000	
10 保育材料費支出	10,000	10,000	0	
11 本人支給金支出	850,000	1,020,000	-170,000	
12 水道光熱費支出	6,050,000	6,130,000	-80,000	
13 燃料費支出	0	0	0	
14 消耗器具備品費支出	200,000	1,330,000	-1,130,000	
15 保険料支出	650,000	790,000	-140,000	
16 賃借料支出	400,000	400,000	0	
17 教育指導費支出	3,500,000	3,810,000	-310,000	
18 就職支度費支出	1,014,000	790,000	224,000	
19 葬祭費支出	0	0	0	
20 車輛費支出	260,000	520,000	-260,000	
99 雑支出	147,000	76,090	70,910	
403 事務費支出	16,350,000	18,930,000	-2,580,000	
01 福利厚生費支出	1,100,000	1,150,000	-50,000	
02 職員被服費支出	0	0	0	

令和 6年度歳出当初予算書

社会福祉法人 光塩福祉会
クローバー学園

令和 6年 4月 1日

科 目	予 算 額	前 年 度 補正後予算額	差引増減額	摘 要 (積算内訳)
03 旅費交通費支出	400,000	320,000	80,000	
04 研修研究費支出	500,000	530,000	-30,000	
05 事務消耗品費支出	700,000	650,000	50,000	
06 印刷製本費支出	110,000	80,000	30,000	
07 水道光熱費支出	0	0	0	
08 燃料費支出	0	0	0	
09 修繕費支出	6,000,000	8,250,000	-2,250,000	
10 通信運搬費支出	700,000	860,000	-160,000	
11 会議費支出	20,000	20,000	0	
12 広報費支出	50,000	60,000	-10,000	
13 業務委託費支出	1,600,000	1,600,000	0	ユウシステム、サンピス、けやき、日星
14 手数料支出	310,000	510,000	-200,000	
15 保険料支出	0	0	0	
16 賃借料支出	0	0	0	
17 土地・建物賃借料支出	4,000,000	4,000,000	0	分園建物2 窪川駐車場代
18 租税公課支出	50,000	70,000	-20,000	
19 保守料支出	600,000	620,000	-20,000	
21 諸会費支出	140,000	140,000	0	
99 雑支出	70,000	70,000	0	
408 支払利息支出	10,218	12,150	-1,932	
01 設備資金借入金利息支出	0	0	0	
02 長期運営資金借入金利息	0	0	0	
03 短期運営資金借入金利息	0	0	0	
04 リース料利息支出	0	0	0	
99 その他利息支出	10,218	12,150	-1,932	
501 その他の支出	1,800,000	1,910,000	-110,000	
01 利用者等外給食費支出	1,800,000	1,910,000	-110,000	
99 雑支出	0	0	0	
502 資産評価損等資金減少額	0	0	0	
01 有価証券売却損	0	0	0	
02 資産評価損	0	0	0	
01 有価証券評価損	0	0	0	
03 為替差損	0	0	0	
04 徴収不能額	0	0	0	
*** 事業活動支出計 ***	253,071,218	238,388,240	14,682,978	
511 設備資金借入金元金償還	3,864,000	3,864,000	0	
01 設備資金借入金元金償還	3,864,000	3,864,000	0	福祉医療機構
512 固定資産取得支出	12,266,822	4,850,000	7,416,822	
01 土地取得支出	0	0	0	
02 建物取得支出	10,000,000	960,000	9,040,000	
03 車両運搬具取得支出	0	1,650,000	-1,650,000	
04 器具及び備品取得支出	2,266,822	2,230,000	36,822	
05 構築物取得支出	0	0	0	
06 機械及び装置取得支出	0	0	0	
07 建設仮勘定取得支出	0	0	0	
08 権利取得支出	0	0	0	
09 ソフトウェア取得支出	0	0	0	
99 その他の固定資産取得支出	0	10,000	-10,000	
513 固定資産除却・廃棄支出	0	0	0	
01 固定資産除却・廃棄支出	0	0	0	
514 ファイナンス・リース債務の返済支出	0	0	0	
01 ファイナンス・リース債務の返済支出	0	0	0	
515 その他の施設整備等支出	0	0	0	
01 その他の施設整備等支出	0	0	0	
*** 施設整備等支出計 ***	16,130,822	8,714,000	7,416,822	
524 積立資産支出	1,797,960	21,497,760	-19,699,800	
01 退職給付引当資産支出	1,797,960	1,497,760	300,200	
02 長期預り金積立資産支出	0	0	0	
03 保育所繰越積立資産支出	0	0	0	
04 保育所施設設備整備等積立	0	0	0	

令和 6年度歳出当初予算書

社会福祉法人 光塩福祉会
クローバー学園

令和 6年 4月 1日

科 目	予 算 額	前 年 度 補正後予算額	差引増減額	摘 要 (積算内訳)
05 措置施設繰越積立資産支出	0	20,000,000	-20,000,000	
412 拠点区分間繰入金支出	100,000	100,000	0	
01 拠点区分間繰入金支出	100,000	100,000	0	
529 その他の活動による支出	0	0	0	
01 移行に伴う過年度修正額	0	0	0	
02 長期前払費用支出	0	0	0	
10 その他の活動による支出	0	0	0	
その他の活動支出計	1,897,960	21,597,760	-19,699,800	
531 予備費支出	0	0	0	
01 予備費支出	0	0	0	
歳 出 合 計	271,100,000	268,700,000	2,400,000	

2024(令和6)年度
事業計画

社会福祉法人 光塩福祉会
保育所型認定こども園
塩山愛育園

令和6年度 認定こども園 塩山愛育園事業計画書

1. 保育目標

- (1) 愛情豊かで、思いやりのある子ども
- (2) 意欲を持って何にでも取り組む子ども
- (3) いつも元気に友達とあそぶ子ども
- (4) くつろいだ雰囲気の中で、伸び伸びと表現できる子ども
- (5) 園生活を思い出いっぱい

2. 園児習得目標 (調和のとれた人柄の土台作り)

- (1) あいさつは自分から先にする
(明るい人間関係を開く土台)
- (2) 返事は「はい」とはっきりとする
(素直な行動が身につく土台)
- (3) 履物をそろえよう、いすを入れる
(行動に責任を持つ、けじめの土台)

3. 施設詳細

開園時間	7:00～19:00
受け入れ年齢	生後3か月から
定員	1号認定 15名 2号認定 61名 3号認定 49名

4. クラス編成 (令和 6 年 4 月)

クラス名	年齢	児童数 (1号認定)	児童数 (2号認定)	児童数 (3号認定)
たんぽぽ	0歳児	—	—	4名
たんぽぽ	1歳児	—	—	20名
すみれ	2歳児	—	—	25名
ふたば	3歳児	5名	15名	—
はな	4歳児	5名	26名	—
ほし	5歳児	5名	14名	—
計		15名	55名	49名

5. 利用定員ごとの教育・保育の提供する曜日・時間・休園日

【1号認定子ども(教育標準時間認定)】

提供する曜日	月曜日から金曜日まで
教育標準時間	午前10時00分から午後15時00分
預かり保育	月曜日～金曜日:午前7時～10時・午後15時～18時 (別途追加料金なし) 土曜日:9時～15時 (別途料金なし)
休園日	<夏休み> 8月13日～8月19日
	<冬休み> 12月23日～12月28日
	<春休み> 3月25日～3月31日
	年末年始(12月29日～1月3日)及び日曜日・祝日・土曜日

【2号認定子ども・3号認定子ども(保育認定)】

提供する曜日	月曜日から土曜日まで
保育時間	【保育標準時間認定を受けた方】 午前7時～午後18時(11時間) 【保育短時間認定を受けた方】 午前8時30分～午後16時30分(8時間)
延長保育	【保育標準時間認定を受けた方】 午後18時～午後19時 (別途料金なし) 【保育短時間認定を受けた方】 午前7時～8時30分・午後16時30分～午後18時 (別途料金なし)
休園日	年末年始(12月29日～1月3日)及び日曜日・祝日

6. 教育及び保育方針

- (1) 園では子どもが充分遊びきれ環境を作り、援助していくことで自主性や積極性を育て心の成長を促す。
- (2) 子ども同士がお互いに生き生きと育ち合うための、仲間とのつながりを考えながら、保育者同士のさまざまな配慮や援助の方法を考えていく。
- (3) 子どもを取り巻く自然や社会の中で、子どもたちの感動や驚き、興味や好奇心を引き出し、感性の幅を広げ、質を高めていく。
- (4) 子ども自身の「からだ」とおして、体験的に物事を確かめることを大切にする教育及び保育内容を創造していく。
- (5) 園と家庭が連携し、子どもたちの「食」に関する望ましい基本的生活習慣の確立に向け取り組んでいく。
- (6) 一人一人が体作りの基礎である生活習慣を整えることの重要性をより深く認識しながら、生活リズムの確立に向けた取り組みを進める。
- (7) 安心して甘えられ、愛される関係、自分の思っていることが言え、人のことも聞ける、そんな「しなやかさ」を育てるために保育の内容として「わらべうた」や「遊び」を重視していく。
- (8) 園における活動の組み立てに当たっては、自然環境との出会いを大切に、工夫して保育の内容に自然を取り込むようにしていく。
- (9) 子どもたちが遊びをとおり、子どもを取り巻くさまざまなものや事象と向き合って体ごとぶつかり、生き生きとした豊かな生活ができるための環境を作り、生きた言葉が育てられる取り組みを進めていく。
- (10) 子どもたちが絵本やお話から培うイメージする力や工夫する力、物事を考える力が「生きる力」につながると考えていく。
- (11) 一人一人の思いや考えを充分受け止め、認めながら、個々の子どもには感じかたや考えかたの相違があることを知らせたり、認識させたりしていくような環境づくりや援助を大切にしていく。
- (12) 子どもたちの現状を知り、子どもの置かれている状況を理解し、また、保護者が自らを語る中に込められた願いを受け止め、教育及び保育課題として実現する。

7. 特別保育事業

- (1) 延長保育事業・一時預かり(幼稚園型)・一時預かり(一般型)
 病児保育(体調不良児対応型保育) 令和5年度より

8. 地域交流事業

(1) 世代間交流事業

- ① 地域の高齢者や小学生との交流（随時）
- ② 幼保小連携事業
- ③ 地域子育て支援事業

(2) 地域子育て支援事業

- ① 園庭開放（随時）
- ② 育児相談 月～金 9時～15時
- ③ 子育て支援事業 甲州市ホットスペース 月1回程度実施 10時～14時

(3) ボランティア、就業体験受け入れ事業

- ① 保育士養成機関実習生受け入れ
- ② 就業体験中・高校生受け入れ

9. 職員構成

・職種別の職員の数（資格保有者の数）

職 種	勤務形態別人数	資 格 保 有
園 長	常勤 1名	社会福祉主事任用資格
副 園 長	常勤 1名	幼稚園教諭免許、保育士資格
主幹保育教諭	常勤 2名	幼稚園教諭免許、保育士資格
保育教諭	常勤 14名	幼稚園教諭免許、保育士資格14名
	非常勤保育士 7名	幼稚園教諭免許、保育士資格 2名
栄養士	常勤 2名	栄養士
	非常勤 1名	栄養士
調理師	常勤 1名	調理師
養護教諭	常勤 2名	保健師・看護師
学校医	非常勤 1名	塩山市民病院 小児科医
学校歯科医	非常勤 1名	高木歯科医院
計	33名	

学校医及び学校歯科医は、乳児期の診断治療に当たるとともに、健康管理・保健衛生について助言指導する。

学校医	塩山市民病院	甲州市塩山西広門田 433-1
学校歯科医	高木歯科	甲州市塩山上於曾 388

10. 職務内容

- (1) 園長は、職員及び業務の管理を一元的に行い、職員に対し法令等を遵守させるため、必要な指揮命令を行うとともに、園児を全体的に把握し、園務をつかさどる。
- (2) 副園長は、園長の職務を代理し、園長が欠けたときはその職務を行う。
- (3) 主幹保育教諭は、園児及び地域の就学前の子どもの保護者等に対する子育て支援活動等を行うとともに、園長及び副園長を助け、その命を受けて園務の一部を整理し、並びに園児の教育及び保育をつかさどる。
- (4) 主幹保育教諭は、園児の教育及び保育をつかさどり、並びに保育教諭、その他の職員に対して、教育及び保育の改善及び充実のために必要な指導及び助言を言う。

- (5) 保育教諭は、園児の教育及び保育について、その計画の立案、実施、記録及び家庭連絡等の業務を行う。
- (6) 栄養士は、献立に基づき、給食及びおやつを調理する。
- (7) 学校医は、本園における保健管理に関する専門的事項に関し、学校保健安全法施行規則第 22 条に基づいて、技術及び指導に従事する。
- (8) 学校歯科医は、本園における保健管理に関する専門的事項に関し、学校保健安全法施行規則第 23 条に基づいて、技術及び指導に従事する。

1 1. 健康管理

(1) 健康診断

年 2 回 (5 月・11 月)

(2) 歯科検診

年 2 回 (5 月・11 月)

(3) 尿検査

年 2 回 (5 月・11 月)

1 2. 行事予定

月	行事内容
4	入園式 おめでとう給食 ハーブ庭園散策 (3 歳以上児) サッカー教室 巡回訪問
5	端午の節句こども会 こどもの日給食 親子遠足 (3 歳以上児) 園外保育 (未満児) 健康診断 ありがとうの日 苗植え、種まき ソフトボール教室 フルーツ公園収穫体験 (梅もぎ・ふたば組) お城ランド (ほし組)
6	衣替え 誕生会・懇談会・保育参観 花の日 着衣泳体験 ジャガイモ堀 歯科検診、試食会 (はな組)
7	七夕会、七夕給食 プール開き 納涼祭 マジックショー 巡回訪問 フルーツ公園収穫体験 (梨狩り・はな組)
8	プール遊び 試食会 (ふたば組)
9	誕生会・懇談会・保育参観 引き渡し訓練 お城ランド (はな組)
10	衣替え 運動会 秋の遠足 およっちょい祭り参加 サツマイモ堀り 園外保育 祖父母との交流会 お城ランド (ふたば組) フルーツ公園収穫体験 (柿獲・ほし組)
11	健康診断 七五三 枯露柿作り 餅つき会 大根堀り 試食会 (ほし組)
12	クリスマスお遊戯会 クリスマス会 誕生会・懇談会・保護者参観
1	七草粥 蕪玉作り かるたとり大会 ほし組お別れ遠足 さちかぜ号
2	節分会 誕生会・懇談会・保護者参観 親子で作ろう 英語参観 人形劇鑑賞会 入園、進級説明会
3	ひな祭り会 スイミング参観 年長児親子遠足 園外保育 わくわくレストラン お別れ会 卒園式
年 間	身体測定 防火避難訓練 交通安全教室 絵本の日 ダンス、体育教室 スイミング 英語教室 ルクミー日々の保育撮影

13. 衛生管理

- (1) 感染症対応マニュアルに基づいた対応とマニュアルの見直しを定期的に行う。

14. 安全管理

- (1) 交通安全指導

年 12 回

- (2) 避難訓練

非常災害対策訓練年間計画表に沿って実施（毎月）

- (3) AED の設置

15. 食に対する取組

- (1) アレルギー対応の実施

- (2) 年間食育計画に基づいた取り組みの実施

- (3) 授乳・離乳の支援ガイドを基本とした離乳食

- (4) 給食衛生管理マニュアルに基づいた対応

- (5) 食の安全に対する取り組み(有機・無農薬米及び有機・無農薬野菜の使用)

16. 苦情処理

- (1) 苦情への適切な対応により、保育サービスに対する利用者の満足度を高めると共に、利用者が保育サービスを適切に利用する事が出来るように支援する事と、苦情を密室化せず社会性や客観性を確保し、一定のルールに沿った方法で解決を進めることにより、円滑・円満な解決の促進や当園の信頼と適正性を図る為に苦情解決規程を設けて、お知らせホームページなどで周知する。

17. 情報公開

- (1) ホームページの開設

実施されているサービス内容や経営内容などの情報について、透明性の確保に努める。

18. 研修計画

保育教諭等には、自分自身の資質の向上を意識し、業務に必要な基本知識や技能を高め、専門性を高める意識を持ち、研修で学んだことを日々の保育活動に生かしていく必要がある。

保育教諭等に求められる人間性と専門性について、次の3つの視点を挙げる。

- (1) 子どもたちの育ちを援助する力を身に付ける。

保育教諭等の意図を優先し、子どもたちに対して、一方的に自分自身の考えを押し付けたり、働きかけたりするのではなく、保育の中心は、子どもが主体であるという認識のもと、子どもの思い（心に寄り添うこと）を感じ取ることが大切である。援助の方法は、子ども一人ひとりの状態や状況によって違う。常に、その時々保育教諭等は、子ども自身が自ら、自分の課題を乗り越えていくことの出来るよう、援助を行うことが必要だと考える。

- (2) 保育教諭等が豊かな人間性を身に付ける。

子どもの理解や受容は決して一方的なものではなく、保育教諭等の心と子どもの心の相互的な営みであると考え。子どもの気持ちを受け止めようと、保育教諭等が一人の人間として、子どもと関わる時、子どもたちは、それを感じ取り、心を開き、自分らしさを表現する。この関係こそが、互いの信頼関係を生み出す基盤となると考える。

- (3) モデルとしての保育教諭等

保育教諭等が自覚しなければならないことは、自分の持つ文化や価値観の枠組みを、保育の場において、意図的、または無意識のうちに、子どもに示しているということである。その時、常に保育教諭等は、この枠組みや価値観を絶対視することなく、いつも柔軟な姿勢で見直し続ける必要があると考える。子どもに自分の価値観を押し付けるのではなく、子ども自身が主体的に、それを取り入れ、乗り越えて行けるようにすることが大切だと考える。

これらの視点から 令和6年度は以下の目的による研修を実施する。

具体的研修

・山梨県保育士等キャリアアップ研修（副主任保育士・専門リーダー対象）

- ① 乳児保育
- ② 幼児保育
- ③ 障害児保育
- ④ 食育・アレルギー
- ⑤ 保健衛生・安全対策
- ⑥ 保護者支援・子育て支援
- ⑦ 保育実践
- ⑧ マネジメント 他

19. 保育士キャリアアップ委員会

(1) 乳児保育委員会

乳児保育に関する理解を深め、適切な環境を構成し、個々の子どもの発達の状態に応じた保育を行う力を養い、他の保育士等に乳児保育に関する適切な助言及び指導を行う。

(2) 幼児教育委員会

幼児教育に関する理解を深め、適切な環境を構成し、個々の子どもの発達の状態に応じた幼児教育を行う力を養い、他の保育士等に幼児教育に関する適切な助言及び指導を行う。

(3) 障害児保育委員会

障害児保育に関する理解を深め、適切な障害児保育を計画し、個々の子どもの発達の状態に応じた障害児保育を行う力を養い、他の保育士等に障害児保育に関する適切な助言及び指導を行う。

(4) 食育・アレルギー対応委員会

食育及びアレルギー対応に関する理解を深め、適切に食育計画の作成と活用及びアレルギー対応ができる力を養うとともに他の保育士等に食育・アレルギー対応に関する適切な助言及び指導を行う。また、子どもたちが、食べることに興味を示して、みんなで一緒に楽しく給食の時間を過ごせるように取り組む。

(5) 保健衛生・安全対策環境委員会

保健衛生及び安全対策に関する理解を深め、適切に保健計画の作成と活用と安全対策に関する適切な対策を講じることができる力を養うとともに他の保育士等に保健衛生・適切な助言及び指導を行う。また、保育環境の整備、向上とともに、施設内外の設備及び用具等の衛生に注意し、活動する。

(6) 保護者支援・子育て支援委員会

保護者支援・子育て支援に関する理解を深め、適切な支援を行うことができる力を養い、他の保育士等に保護者支援・子育て支援に関する適切な助言及び指導を行う。

20. 職員会議

- (1) 定例会議（毎月） リーダー会議 園内研修 給食部会（随時）

21. 福利厚生

- (1) 職員健康診断（年1回）
(2) 細菌検査（調理担当・調乳担当）（毎月）
(3) インフルエンザ予防接種（12月）
(4) 職員研修（年1回）
(5) 福祉医療機構退職共済加入

22. 令和5年度の重点項目

(1) 保育内容の継承

- ① 保育所保育指針を基本とし、保育内容を継承していく。
② それぞれの子どもの最善の利益を考慮した保育を行う。

(2) 保護者意見の反映

- ① 保護者会の活動を積極的に支援していく。
② 保護者からの意見・要望などについては実現に努めるとともに、実現の可否にかかわらず、その対応について説明を行う。
③ 保護者の方々を対象としたアンケート調査を実施し、その結果を保護者の方々に報告する。

(3) 保育教諭等のあり方

相手（子ども・保護者・職員）の理解や受容は決して一方的なものではなく、お互いの心と心の相互的な営みであるとする。

相手の気持ちを受け止めようと、自分が一人の人間として相手とかかわる時、相手は、それを感じ取り、心を開き、自分らしさを表現する。この関係こそが、互いの信頼関係を生み出す基盤となると考える。

- ① 一人一人の子どもを大切にし、「自分は愛されている」「大切にされている」思いを育む。
- ・ 一人一人に丁寧に、ゆっくり、ゆったりと接する。
 - ・ 子どもの目線に立ち、子どもの思いをしっかりと受け止め、子どものことばに耳を傾ける。
 - ・ 子どもの性差や個人差、個性を肯定し、留意して接する。
 - ・ 指示、命令、強制のことばをつかわない。
 - ・ 友だち同士で思いや体がぶつかったときは、お互いの気持ちに寄り添いながら、友だちの思いや痛みに 気づけるよう、丁寧にとかかわるとともに、子どもたちが自分たちで気づくことができるよう見守る。
 - ・ 子どもの固有の感性を引き出して豊かに育み、育んだ豊かな感性を保てるよう、子どもの感じ方や考え を積極的に受容する。
 - ・ 自分の意図を優先し、子どもに対して、一方的に自分自身の考えを押し付けたり、働きかけたりするのではなく、保育の中心は、子どもが主体であるという認識のもと、子どもの思いを感じ取る。
- ② 保護者との関係づくり
- ・ 保護者の家庭状況、家庭環境を十分に理解し、日ごろから子どもの様子を伝えたり、家庭での様子を聞いたりして、保護者の思いを受け止め、信頼関係を築く。
 - ・ 子どもの思い、保育教諭等の思いをしっかり伝え、現状を理解してもらう。

③ 職員の協力体制

- 職員間で情報を共有する。
- 保育園全体をひとつのクラス、または家庭と捉え、担任以外の全ての子どもにも目を向け、一人一人の子どもの状況などについて共通理解できるようにする。
- それぞれの役割を自覚し、責任を果たすとともに、他の職員の立場や状況を十分に理解し、お互いに協力しあい、助け合う。
- 職員それぞれの思いを受け止め、信頼関係を築く。
- クラス内外で積極的にコミュニケーションをとり、子どもにとってより良いかかわりを一緒に見出していく。

④ 職員の資質向上

- 子どもたち一人一人をしっかりと理解することに務め、気になることなどは、ケース検討会議などの場において、全員で考える。
- 専門性を高めるため、自らの人間性や社会性、専門職としての向上に努め、自己研鑽する。

⑤ 子ども目線の環境づくり

- 限られたスペースの中で、子どもたちが自分の空間を見つけ、落ち着いて過ごせる場所づくりをする。
- 「遊・食・寝・」の環境を用意し、子どもたちが心地よく過ごせる場にする。
- 子どもがいつでも休息できる場所を用意しておく。
- 子どもが自由に遊べるよう、また、子ども自身が主体的に遊べるよう、育ちにふさわしい環境、玩具を準備しておく。
- 子どもの感覚を大事にし、子どもが好きな色を選び、画用紙なども好きな色が選べるように工夫する。
- 家庭的な雰囲気づくりにつとめる。
- 一時預かり保育、延長保育、土曜日の保育は、特に落ち着いて過ごせるように配慮する。

令和 6 年度歳入当初予算書

社会福祉法人 光塩福祉会
塩山愛育園

令和 6 年 4 月 1 日

科 目	予 算 額	前 年 度 補正後予算額	差引増減額	摘 要 (積算内訳)
103 児童福祉事業収入	0	0	0	
01 措置費収入	0	0	0	
01 事務費収入	0	0	0	
02 事業費収入	0	0	0	
02 私的契約利用料収入	0	0	0	
99 その他の事業収入	0	0	0	
01 補助金事業収入(公費)	0	0	0	
03 補助金事業収入(一般)	0	0	0	
02 受託事業収入(公費)	0	0	0	
04 受託事業収入(一般)	0	0	0	
10 その他の事業収入	0	0	0	
104 保育事業収入	179,730,000	188,480,000	-8,750,000	別紙添付
01 委託費収入	0	0	0	
02 私的契約利用料収入	0	0	0	
03 私立認定保育所利用料収入	0	0	0	
04 施設型給付費収入	163,810,000	168,100,000	-4,290,000	
01 施設型給付費収入	154,450,000	160,000,000	-5,550,000	
02 利用者負担金収入	9,360,000	8,100,000	1,260,000	
06 利用者等利用料収入	3,800,000	4,280,000	-480,000	
01 利用者等利用料収入(	930,000	800,000	130,000	
02 利用者等利用料収入(	2,870,000	3,480,000	-610,000	
03 その他の利用料収入	0	0	0	
99 その他の事業収入	12,120,000	16,100,000	-3,980,000	
01 補助金事業収入(公費)	2,920,000	6,900,000	-3,980,000	
03 補助金事業収入(一般)	0	0	0	
02 受託事業収入(公費)	8,800,000	8,800,000	0	
04 受託事業収入(一般)	400,000	400,000	0	
10 その他の事業収入	0	0	0	
115 借入金利息補助金収入	440,492	491,564	-51,072	県利子補給
01 借入金利息補助金収入	440,492	491,564	-51,072	
116 経常経費寄附金収入	0	0	0	
01 経常経費寄附金収入	0	0	0	
117 受取利息配当金収入	2,508	2,436	72	
01 受取利息配当金収入	2,508	2,436	72	
201 その他の収入	37,000	106,000	-69,000	
01 受入研修費収入	20,000	20,000	0	
02 利用者等外給食費収入	0	0	0	
99 雑収入	17,000	86,000	-69,000	
*** 事業活動収入計 ***	180,210,000	189,080,000	-8,870,000	
121 施設整備等補助金収入	0	0	0	
01 施設整備等補助金収入	0	0	0	
02 設備資金借入金償還補助金	0	0	0	
122 施設整備等寄附金収入	0	0	0	
01 施設整備等寄附金収入	0	0	0	
02 設備資金借入金償還寄附金	0	0	0	
211 設備資金借入金収入	0	0	0	
01 設備資金借入金収入	0	0	0	
219 その他の施設整備等収入	0	0	0	
01 その他の施設整備等収入	0	0	0	
*** 施設整備等収入計 ***	0	0	0	
224 積立資産取崩収入	0	948,000	-948,000	
01 退職給付引当資産取崩収入	0	948,000	-948,000	
02 長期預り金積立資産取崩	0	0	0	
03 保育所繰越積立資産取崩	0	0	0	
04 保育所設備整備積立取崩	0	0	0	
05 措置施設繰越積立資産取崩	0	0	0	
133 拠点区分間繰入金収入	0	0	0	
01 拠点区分間繰入金収入	0	0	0	
229 その他の活動による収入	0	0	0	
01 移行に伴う過年度修正額	0	0	0	

令和 6年度歳入当初予算書

社会福祉法人 光塩福祉会
塩山愛育園

令和 6年 4月 1日

科 目	予 算 額	前 年 度 補正後予算額	差引増減額	摘 要 (積算内訳)
02 長期前払費用収入	0	0	0	
10 その他の活動による収入	0	0	0	
その他の活動収入計	0	948,000	-948,000	
299 当期末支払資金残高	0	0	0	
01 前期末支払資金残高	0	0	0	
歳 入 合 計	180,210,000	190,028,000	-9,818,000	

令和 6 年度歳出当初予算書

社会福祉法人 光塩福祉会
塩山愛育園

令和 6 年 4 月 1 日

科 目	予 算 額	前 年 度 補正後予算額	差引増減額	摘 要 (積算内訳)
401 人件費支出	135,890,000	142,838,000	-6,948,000	
01 役員報酬支出	0	0	0	
02 職員給料支出	78,945,000	81,610,000	-2,665,000	
01 俸給	65,650,000	65,650,000	0	
02 管理職手当	433,000	433,000	0	
03 特殊業務手当	1,830,000	1,830,000	0	
04 特別手当	0	0	0	
05 住宅手当	0	0	0	
06 扶養手当	240,000	240,000	0	
07 通勤手当	836,000	836,000	0	
08 時間外手当	30,000	30,000	0	
09 夜勤手当	0	0	0	
10 役職手当	4,135,000	4,135,000	0	
11 処遇改善Ⅰ手当	2,217,000	2,217,000	0	
12 処遇改善Ⅲ手当	3,574,000	3,574,000	0	
13 物価高騰手当	0	2,665,000	-2,665,000	本年度は本俸に加えている
03 職員賞与支出	27,360,000	30,360,000	-3,000,000	
01 職員賞与支出	27,360,000	30,360,000	-3,000,000	
05 非常勤職員給与支出	10,460,000	10,640,000	-180,000	
01 本俸	9,485,000	9,485,000	0	
02 住宅手当	0	0	0	
03 通勤手当	194,000	194,000	0	
04 時間外手当	0	0	0	
05 夜勤手当	0	0	0	
06 賞与	455,000	455,000	0	
07 宿直者本俸	0	0	0	
08 宿直者通勤手当	0	0	0	
09 宿直者賞与	0	0	0	
10 嘱託医手当	65,000	65,000	0	
11 扶養手当	0	0	0	
12 嘱託手当	0	0	0	
13 宿直者残業手当	0	0	0	
14 処遇改善Ⅲ手当	261,000	261,000	0	
15 物価高騰手当	0	180,000	-180,000	
16 宿直者物価高騰手当	0	0	0	
06 派遣職員費支出	0	0	0	
07 退職給付支出	1,150,000	1,998,000	-848,000	
10 法定福利費支出	17,975,000	18,230,000	-255,000	
402 事業費支出	17,890,000	18,670,000	-780,000	
01 給食費支出	7,500,000	7,600,000	-100,000	
05 保健衛生費支出	500,000	600,000	-100,000	
06 医療費支出	0	0	0	
07 被服費支出	0	0	0	
08 教養娯楽費支出	0	0	0	
09 日用品費支出	0	0	0	
10 保育材料費支出	2,300,000	2,500,000	-200,000	
11 本人支給金支出	0	0	0	
12 水道光熱費支出	3,500,000	3,700,000	-200,000	
13 燃料費支出	0	0	0	
14 消耗器具備品費支出	1,800,000	2,100,000	-300,000	
15 保険料支出	600,000	600,000	0	
16 賃借料支出	1,550,000	1,400,000	150,000	
17 教育指導費支出	0	0	0	
18 就職支度費支出	0	0	0	
19 葬祭費支出	0	0	0	
20 車輛費支出	80,000	100,000	-20,000	
99 雑支出	60,000	70,000	-10,000	
403 事務費支出	9,213,508	13,552,436	-4,338,928	
01 福利厚生費支出	710,000	800,000	-90,000	
02 職員被服費支出	110,000	130,000	-20,000	

令和 6 年度歳出当初予算書

社会福祉法人 光塩福祉会
塩山愛育園

令和 6 年 4 月 1 日

科 目	予 算 額	前 年 度 補正後予算額	差引増減額	摘 要 (積算内訳)
03 旅費交通費支出	80,000	90,000	-10,000	
04 研修研究費支出	100,000	120,000	-20,000	
05 事務消耗品費支出	50,000	50,000	0	
06 印刷製本費支出	40,000	40,000	0	
07 水道光熱費支出	0	0	0	
08 燃料費支出	0	0	0	
09 修繕費支出	5,000,000	9,000,000	-4,000,000	
10 通信運搬費支出	180,000	200,000	-20,000	
11 会議費支出	20,000	20,000	0	
12 広報費支出	100,000	110,000	-10,000	
13 業務委託費支出	1,480,000	1,500,000	-20,000	
14 手数料支出	200,000	300,000	-100,000	
15 保険料支出	0	0	0	
16 賃借料支出	0	0	0	
17 土地・建物賃借料支出	370,000	370,000	0	
18 租税公課支出	0	0	0	
19 保守料支出	650,000	700,000	-50,000	
21 諸会費支出	0	0	0	
99 雑支出	123,508	122,436	1,072	
408 支払利息支出	440,492	491,564	-51,072	
01 設備資金借入金利息支出	440,492	491,564	-51,072	
02 長期運営資金借入金利息	0	0	0	
03 短期運営資金借入金利息	0	0	0	
04 リース料利息支出	0	0	0	
99 その他利息支出	0	0	0	
501 その他の支出	0	650,000	-650,000	
01 利用者等外給食費支出	0	0	0	
99 雑支出	0	650,000	-650,000	
502 資産評価損等資金減少額	0	0	0	
01 有価証券売却損	0	0	0	
02 資産評価損	0	0	0	
01 有価証券評価損	0	0	0	
03 為替差損	0	0	0	
04 徴収不能額	0	0	0	
*** 事業活動支出計 ***	163,434,000	176,202,000	-12,768,000	
511 設備資金借入金元金償還	5,376,000	5,376,000	0	
01 設備資金借入金元金償還	5,376,000	5,376,000	0	医療機構
512 固定資産取得支出	10,000,000	7,050,000	2,950,000	
01 土地取得支出	10,000,000	0	10,000,000	
02 建物取得支出	0	0	0	
03 車両運搬具取得支出	0	0	0	
04 器具及び備品取得支出	0	4,550,000	-4,550,000	
05 構築物取得支出	0	2,500,000	-2,500,000	
06 機械及び装置取得支出	0	0	0	
07 建設仮勘定取得支出	0	0	0	
08 権利取得支出	0	0	0	
09 ソフトウェア取得支出	0	0	0	
99 その他の固定資産取得支出	0	0	0	
513 固定資産除却・廃棄支出	0	0	0	
01 固定資産除却・廃棄支出	0	0	0	
514 ファイナンス・リース債務の返済支出	0	0	0	
01 ファイナンス・リース債務の返済支出	0	0	0	
515 その他の施設整備等支出	0	0	0	
01 その他の施設整備等支出	0	0	0	
*** 施設整備等支出計 ***	15,376,000	12,426,000	2,950,000	
524 積立資産支出	1,300,000	1,300,000	0	
01 退職給付引当資産支出	1,300,000	1,300,000	0	
02 長期預り金積立資産支出	0	0	0	
03 保育所繰越積立資産支出	0	0	0	
04 保育所施設設備整備等積立	0	0	0	

令和 6 年度歳出当初予算書

社会福祉法人 光塩福祉会
塩山愛育園

令和 6 年 4 月 1 日

科 目	予 算 額	前 年 度 補正後予算額	差引増減額	摘 要 (積算内訳)
05 措置施設繰越積立資産支出	0	0	0	
412 拠点区分間繰入金支出	100,000	100,000	0	
01 拠点区分間繰入金支出	100,000	100,000	0	
529 その他の活動による支出	0	0	0	
01 移行に伴う過年度修正額	0	0	0	
02 長期前払費用支出	0	0	0	
10 その他の活動による支出	0	0	0	
その他の活動支出計	1,400,000	1,400,000	0	
531 予備費支出	0	0	0	
01 予備費支出	0	0	0	
歳 出 合 計	180,210,000	190,028,000	-9,818,000	

令和6年度歳入当初予算保育事業収入の内訳

基本保育単価		1号				
加算内訳	1号認定のみ	4. 5歳児	79,400	3歳児	86,650 満3歳児	
		2・3号	4. 5歳児	3歳児	1. 2歳児 乳児	
		標準	36,160	43,200	101,080	171,540
		短時間	31,800	38,840	96,720	167,180
		学級編制調整加配加算			34,530	
	満3歳児対応			51,720		
	講師配置加算			7,150		
	給食実施加算			16,100		
	処遇改善等加算Ⅰ		4. 5歳児	14,630 3歳児	15,960 満3歳児	
	処遇改善等加算Ⅱ	A = 8人	B = 5人	13,550	15,960	
処遇改善等加算Ⅲ	算定30		10,610			
療育支援加算			930			
2・3号のみ	処遇改善等加算Ⅰ			4. 5歳児	1. 2歳児 乳児	
			標準	6,450	7,790 16,910 30,210	
			短時間	5,510	6,480 16,150 29,450	
	処遇改善等加算Ⅱ	A = 8人	B = 5人	2,100		
	処遇改善等加算Ⅲ	算定30		1,640		
療育支援加算			190			
栄養管理	A		920			
共通	3歳児配置改善加算			8,370		
	チーム保育	2人		11,180		
	冷暖房費加算			120		